



ARCHITREND
リフォームエディション

リフォーム応用編

目次

1 介護リフォーム _____ 4

1-1 介護リフォームプラン _____	4
1-2 バリアフリーチェックの実行 _____	5
計画図を開く _____	5
チェックを実行する _____	5
段差を解消する _____	6
通路の幅員を広げる _____	6
戸の開口幅を広げる _____	7
手摺・介護部品を入力する _____	8
手摺シンボルを入力する _____	9
再チェックする _____	9
1-3 バリアフリーの外構設計 _____	10
スロープを入力する _____	10
アプローチと外部手摺を入力する _____	11
1-4 提案シートの作成 _____	12
介護リフォームの提案シートを作成 _____	12
データを保存する _____	12
[補足]「介護のリフォームのご提案」の レイアウトと連動する画像 _____	13

2 マンションリフォーム _____ 14

2-1 マンションリフォームプラン _____	14
2-2 新しい物件を開く _____	15
新しい工事を作成する _____	15
物件情報を設定する _____	15
部屋マスタを変更する _____	17
2-3 現況図の入力 _____	18
通り芯を入力する _____	18
作図芯を入力する _____	19
部屋を入力する _____	20
RC柱を入力する _____	21
建具を入力する _____	22
仕上を配置する _____	23
設備機器を入力する _____	23
立体を確認する _____	24
データを保存する _____	24

2-4 計画図データの作成 _____	25
計画図を開く _____	25
不要な設備機器を削除する _____	25
2-5 間取りの変更 _____	26
部屋を入力する _____	26
部屋を合成する _____	26
部屋名を変更する _____	27
部屋を入れ替える _____	27
2-6 壁・仕上の編集 _____	28
壁・腰壁を入力する _____	28
[補足] 配置基準を変更して壁を入力する _____	28
仕上を再配置する _____	29
2-7 内装の変更 _____	30
建具を入れ替える _____	30
建具を入力する _____	30
不要な建具を削除する _____	31
設備機器を入力する _____	31
現況図と比較する _____	32
データを保存する _____	31

3 内装シミュレーション _____ 33

内装をシミュレートする _____	33
図面に結果を反映する _____	34
データを保存する _____	34
[補足] 内装シミュレーションで よく使用する機能 _____	34
[補足] スタイルを編集するには _____	35
[補足] スタイルを他のマシンでも 使用するには _____	37

4 屋根・天井の入力例 _____ 38

4-1 「屋根」L字型の切妻屋根の作成 _____	38
ユニット切妻屋根を入力する _____	38
1階屋根を個別入力する _____	39
1階を折り返し屋根に変更する _____	39
軒先の納まりを変更する _____	41

4-2 「屋根」大屋根の作成 _____	42
ユニット切妻屋根を入力する _____	42
屋根の領域を広げる _____	42
勾配変更と屋根の高さ合わせ _____	43
天井仕上を再作成する _____	44
4-3 「屋根」陸屋根と3方向のパラペットの作成 _	45
4-4 「天井」屋根勾配に合わせた勾配天井の作成 _	47
4-5 「天井」段差・勾配天井の作成 _____	48
4-6 「天井」折上天井の作成 _____	49

5 オリジナルの図枠作成 _____ 50

5-1 図枠のデザイン _____	50
図枠を配置する _____	50
不要なデータを削除する _____	51
矩形枠を配置する _____	51
塗り潰し領域を配置する _____	51
文字列を入力する _____	52
会社ロゴの画像を配置する _____	52
5-2 図枠項目・図面の配置 _____	53
線分を入力する _____	53
図枠項目を配置する _____	53
現況図と計画図を配置する _____	54
マークを配置する _____	54
図枠を登録する _____	55
図枠の初期値を変更する _____	55

6 快適住まいシートの紹介 _____ 56

[補足] 点検シートについて _____	61
[補足] 快適住まいシートの レイアウトを作成するには _____	62
[補足] 出力された Excel データを編集するには _____	63
[補足] 表紙の物件名、 タイトルの連動元について _____	64

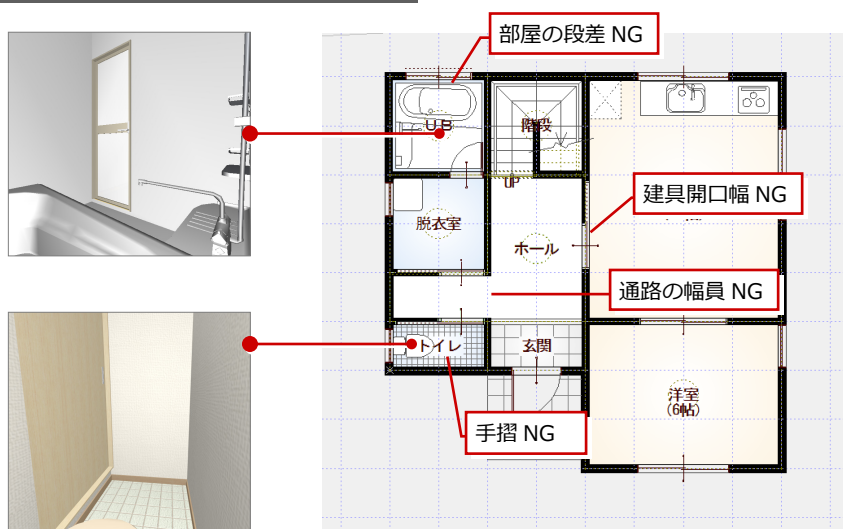
1 介護リフォーム

部屋間の段差、建具の開口幅、通路の幅員、手摺の有無などバリアフリーのチェックを行い、これらを解消する操作、介護用部品の入力、外構にスロープや手摺を入力する操作を解説します。

※ この章の解説用データと完成データを使用するには、リフォームエディションのヘルプから表示されるマニュアルサイトからファイルを一括ダウンロードして、ファイル内の「ReformEdition.mgdz」をマネージャーで取り込んでください（取り込み方法は、Manager 編 P.8「お客様データをリストアする」を参照）。

1-1 介護リフォームプラン

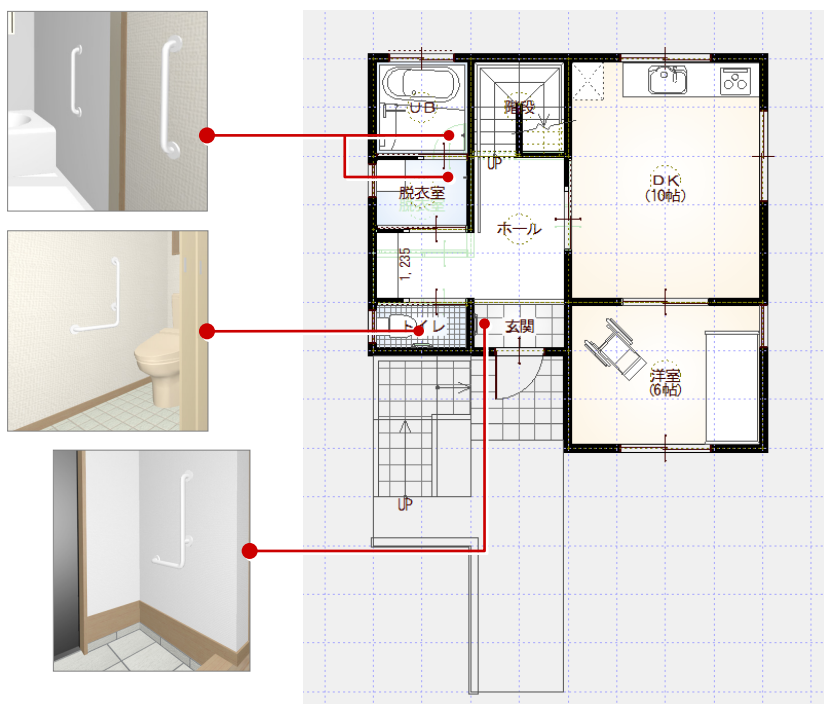
現況図



※ この現況図は、「水廻りのリフォーム編」「外装リフォーム編」で入力した現況図とは異なります。



計画図



1-2 バリアフリーチェックの実行

計画図を開く

現況図を開き、「計画図を開く」から現況図をコピーして計画図を作成します。

⇒ 操作については、「リフォームプラン作成編」P.11 参照



チェックを実行する

① 「内装リフォーム」タブの「バリアフリー」をクリックします。

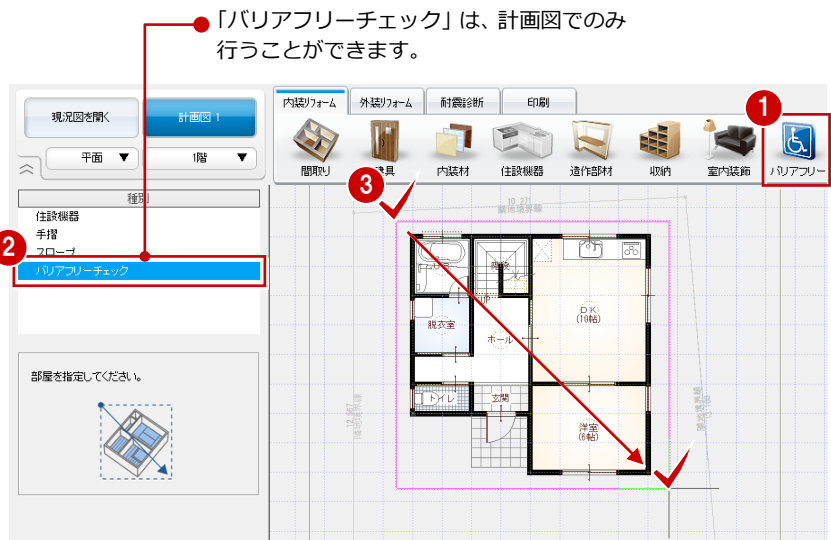
※ 「部品選択」ダイアログが開いた場合は閉じます。

② 「バリアフリーチェック」を選びます。

③ チェックする範囲を指定します。

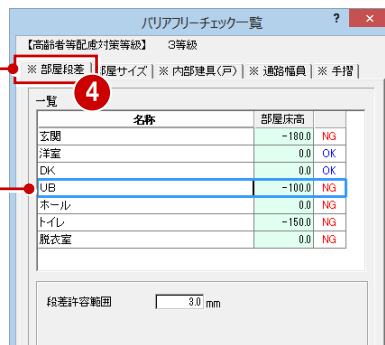
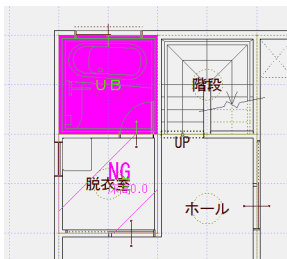
④ 「バリアフリーチェック一覧」ダイアログの各タブをクリックして、結果を確認します。

※ ここでは、「バリアフリーチェック一覧」ダイアログを開いた状態で、次の操作に進みます。

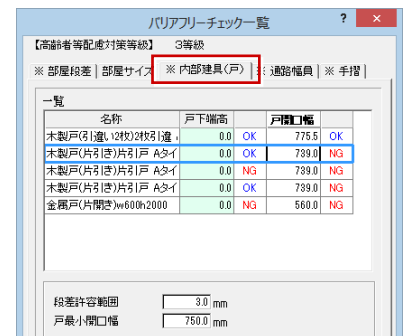


エラーがある場合、タブに「※」が表示されます。

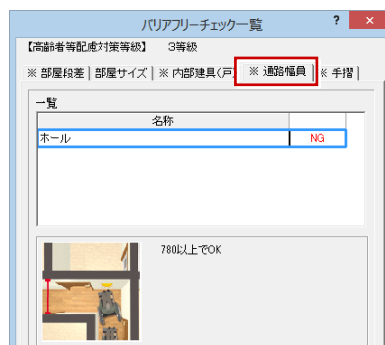
一覧でチェック箇所を選ぶと、CAD画面で該当する箇所を確認できます。



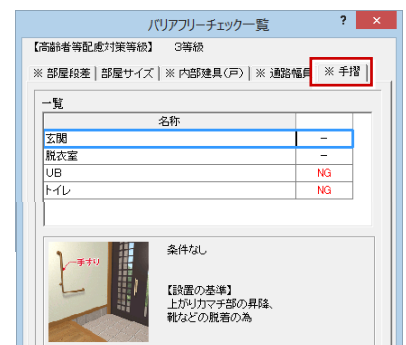
「部屋段差」タブ
部屋間の段差チェックの結果を表示します。



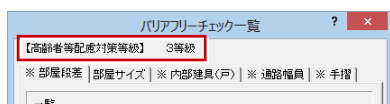
「内部建具(戸)」タブ
建具と部屋の段差、開口幅チェックの結果を表示します。



「通路幅員」タブ
通路の幅員チェックの結果を表示します。廊下・ホールが対象となります。



「手摺」タブ
手摺の有無と高さチェックの結果を表示します。

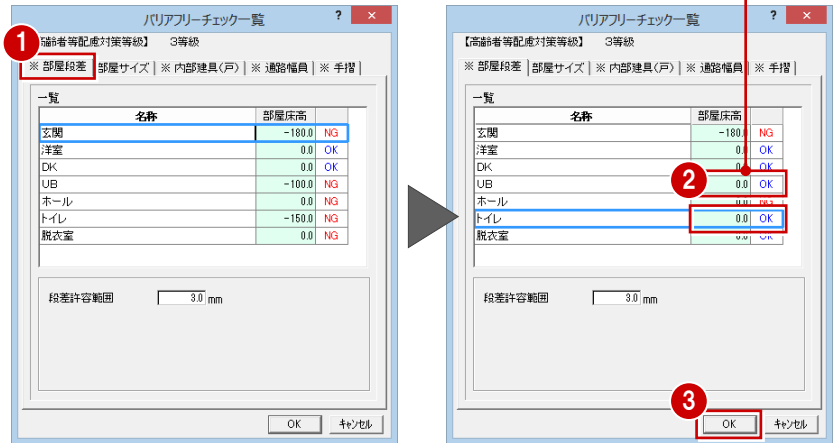


1 介護リフォーム

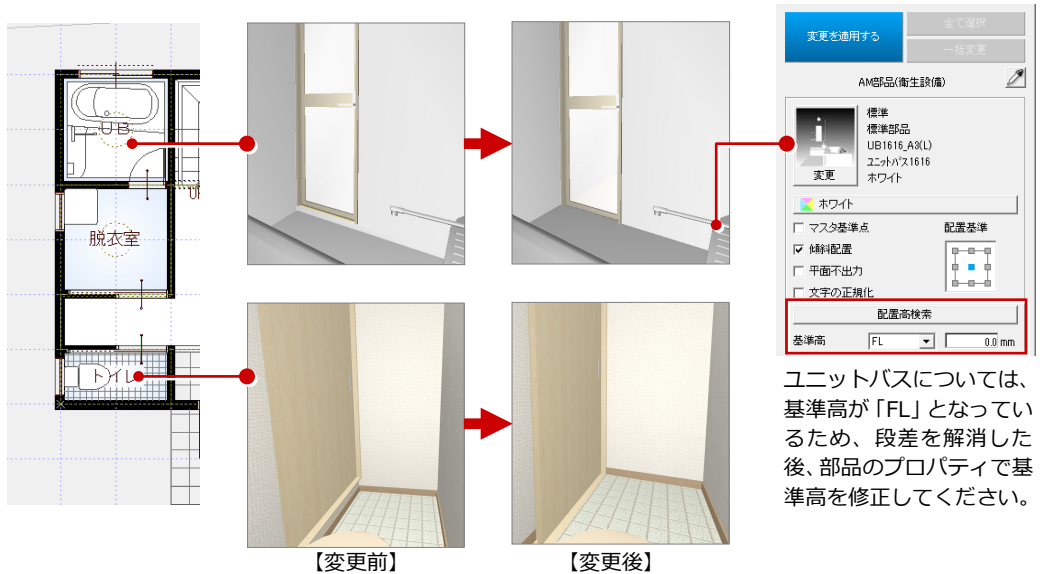
段差を解消する

ここでは、UB、トイレの床高をフラットにします。

- 1 「バリアフリーチェッカー一覧」ダイアログの「部屋段差」タブをクリックします。
- 2 「トイレ」「UB」の「部屋床高」を「0」に変更します。
- 3 「OK」をクリックします。
変更した部屋床高が図面に反映されます。



この時点では、まだ図面に反映されていません。

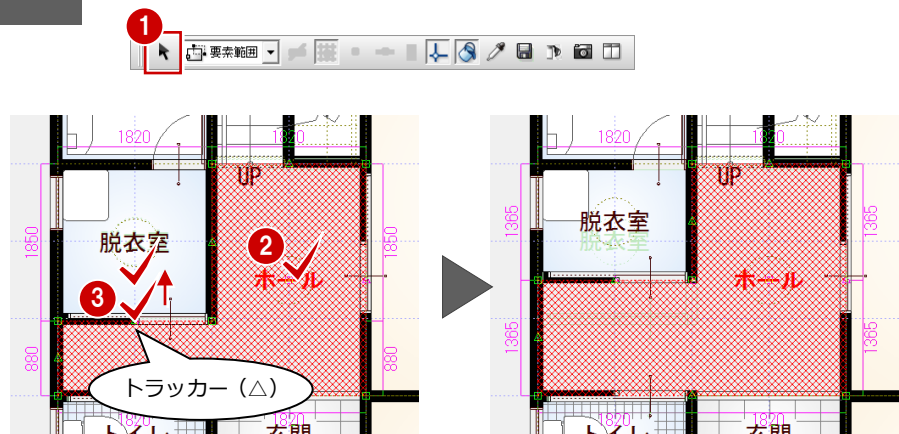


ユニットバスについては、基準高が「FL」となっているため、段差を解消した後、部品のプロパティで基準高を修正してください。

※ パースモニタを開いている場合は、立体データを再作成すると変更した部屋床高を確認できます。

通路の幅員を広げる

- 1 2 ホールを選択します。
- 3 ホールのトラック（△）をクリックして移動先を指定します。
部屋の領域が変更されて、仕上が再作成されます。



この操作は、「間取り」の「間取りツール」の「スパン変更」を選び、「マウス指定」を ON にしたときと同じ操作です。




※ 寸法線は、自動的に変更されません。

戸の開口幅を広げる

開口幅が750mm以上（等級3の場合）となる建具に入れ替えます。



⇒ 入力したい建具を選んで配置する操作については、「リフォームプラン作成編」P.6 参照

※  は、入力方向を示します。

※ 入力タイプは、 を選びます。

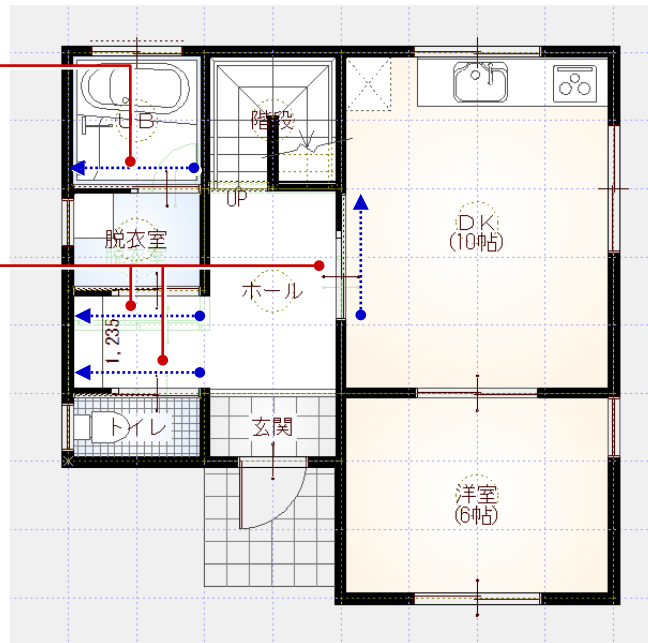
片引戸（アルミ）

「w1650h1800」



2枚引戸（木製）

「W2479_H2035」



[1階]



【変更前】



【変更後】

1 介護リフォーム

手摺・介護部品を入力する

「バリアフリー」の「住設機器」をクリックして、I・L型手摺、介護ベッド、車椅子といった介護部品を入力します。



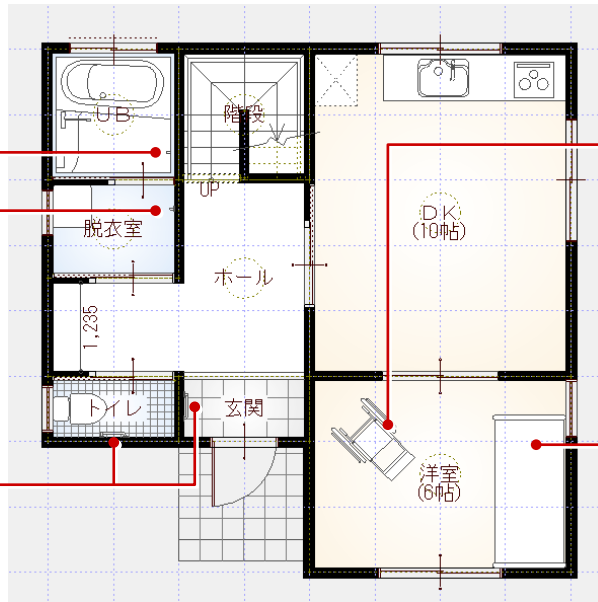
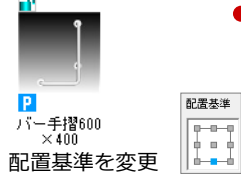
⇒ 設備機器の入力については、「リフォームプラン作成編」P.8 参照

I型手摺 (介護用品-手摺)
「バー手摺 500」

※ 下記「I型手摺の配置」を参照



L型手摺 (介護用品-手摺)
「バー手摺 600×400」



(介護用品-車椅子)
「車椅子」

※ 下記「方向を指定するには」を参照

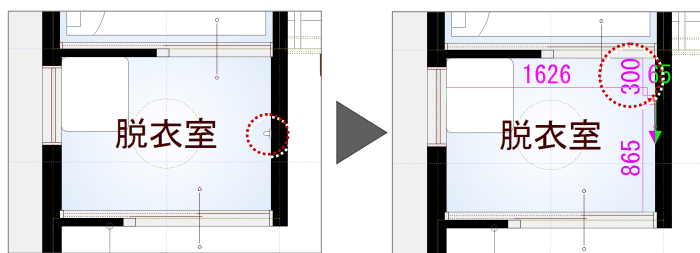


(介護用品-介護用ベッド)
「介護ベッド 1」



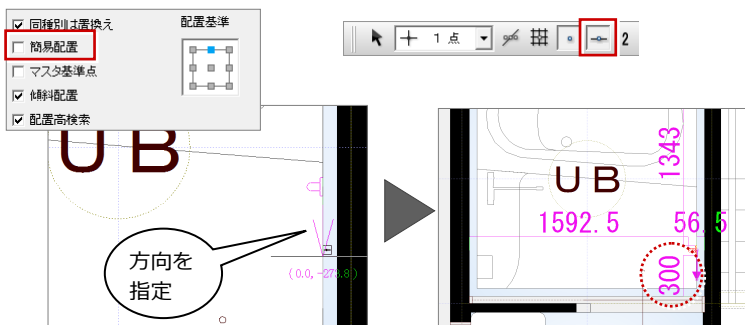
I型手摺の配置

脱衣室のI型手摺は、壁面中央に一旦配置した後、寸法エディットを使用して移動しています。



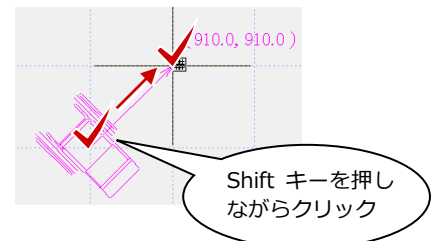
UBのI型手摺は、ユニットバスの線の上に方向を指定して配置した後、寸法エディットで移動します。

⇒ 方向指定については、右の「方向を指定するには」を参照



方向を指定するには

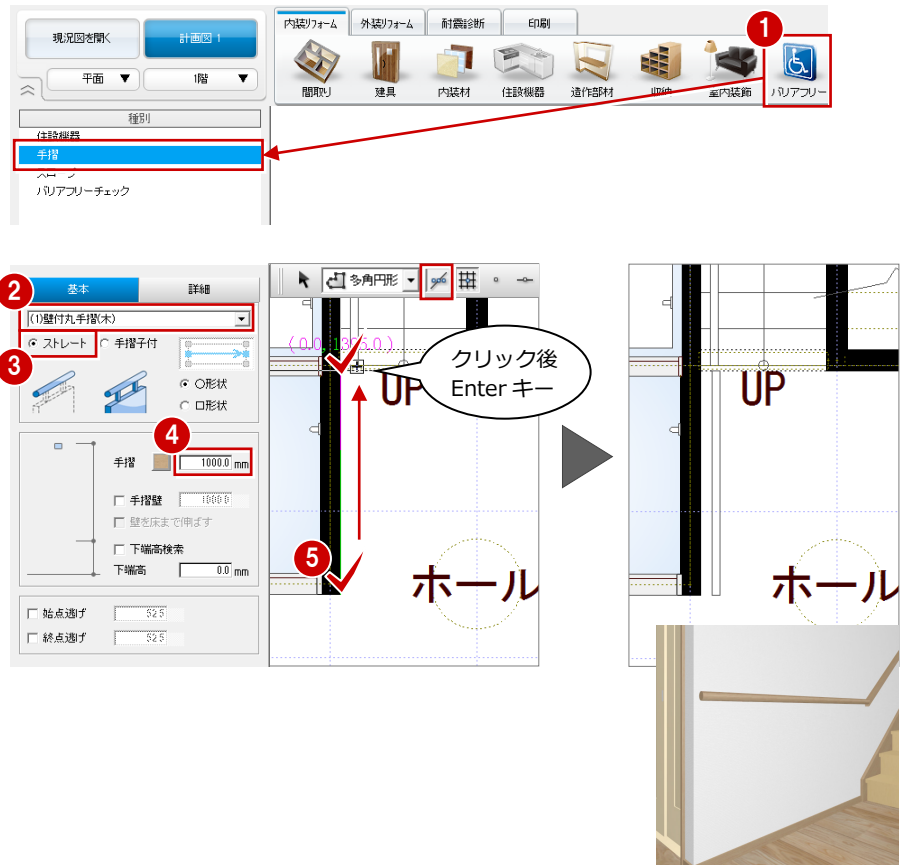
「簡易配置」をOFFにして、次のように操作すると、方向を指定できます。



手摺シンボルを入力する

ホールや廊下の手摺はチェック対象外ですが、壁付き手摺を入力する操作を紹介します。

- 1 「バリアフリー」をクリックして、「手摺」を選びます。
- 2 「(1) 壁付丸手摺 (木)」が選ばれていることを確認します。
- 3 「ストレート」がONであることを確認します。
- 4 手摺高を変更します。
ここでは「手摺」を「1000」に変更します。
- 5 手摺の入力点を指定して、Enterキーを押します。
(「端点・交点ピック」ON)
ここでは、右図のように壁の端点、壁と開口の交点をクリックします。



再チェックする

再度、「バリアフリー」の「バリアフリーチェック」で、エラーがないことをチェックします。

※ 本書では、玄関の床高はフラットにしていなかったため、「NG」のままかまいません。



バリアフリーチェック一覧

【高齢者等配慮対策等級】 3等級

※ 部屋検査 | 部屋サイズ | 内部建具(戸) | 通路幅員 | ※ 手摺

名称	部屋床高	
玄関	-180.0	NG
洋室	0.0	OK
階段	0.0	OK
トイレ	0.0	OK
DK	0.0	OK
ホール	0.0	NG
脱衣室	0.0	OK
UB	0.0	OK

段差許容範囲 3.0 mm

バリアフリーチェック一覧

【高齢者等配慮対策等級】 3等級

※ 部屋検査 | 部屋サイズ | 内部建具(戸) | 通路幅員 | ※ 手摺

名称	戸下床高	戸開口幅	
木製戸(引き違い)2枚1連	0.0	775.5	OK
木製戸(引き違い)W2479_H2035	0.0	1043.3	OK
木製戸(引き違い)W2479_H2035	0.0	1043.3	OK
木製戸(引き違い)W2479_H2035	0.0	1043.3	OK
金属戸(引き違い)W1650x1800	0.0	785.0	OK

段差許容範囲 3.0 mm

戸最小開口幅 750.0 mm

バリアフリーチェック一覧

【高齢者等配慮対策等級】 3等級

※ 部屋検査 | 部屋サイズ | 内部建具(戸) | 通路幅員 | ※ 手摺

名称	
ホール	OK

780以上でOK

バリアフリーチェック一覧

【高齢者等配慮対策等級】 3等級

※ 部屋検査 | 部屋サイズ | 内部建具(戸) | 通路幅員 | ※ 手摺

名称	
玄関	-
脱衣室	-
UB	OK
トイレ	OK

条件なし

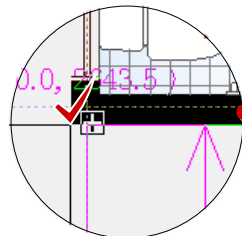
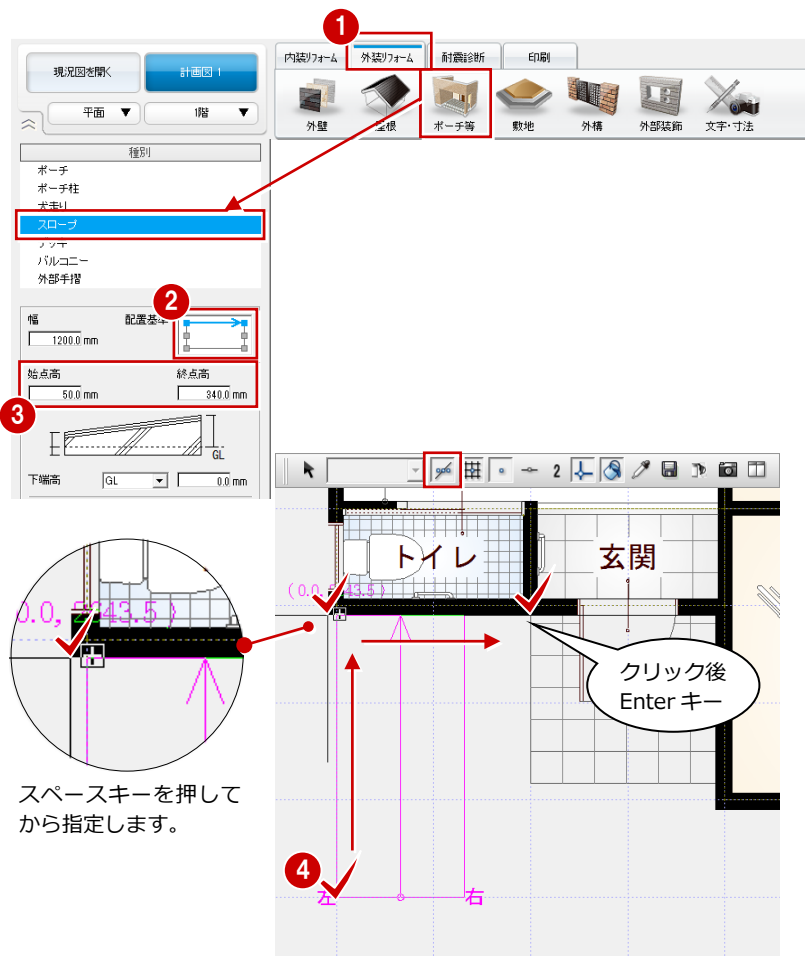
【設置の基準】

1-3 バリアフリーの外構設計

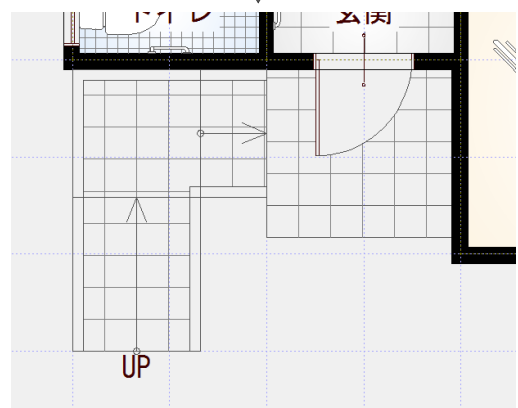
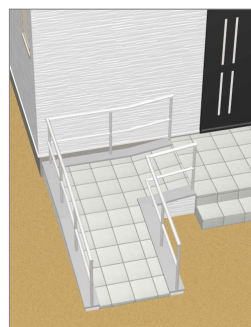
スロープを入力する

ポーチにつながるスロープを入力します。

- ① 「外装リフォーム」タブの「ポーチ等」をクリックして、「スロープ」を選びます。
- ② 「配置基準」を「左面」に変更します。
- ③ ここでは、次のように設定します。
「始点高」：50
「終点高」：340
- ④ スロープの入力点を指定して、Enter キーを押します。
（「端点・交点ピック」ON）
ここでは、スペースキーを押して水平・垂直方向を固定して、右図のように壁の端点を指定します。



スペースキーを押してから指定します。

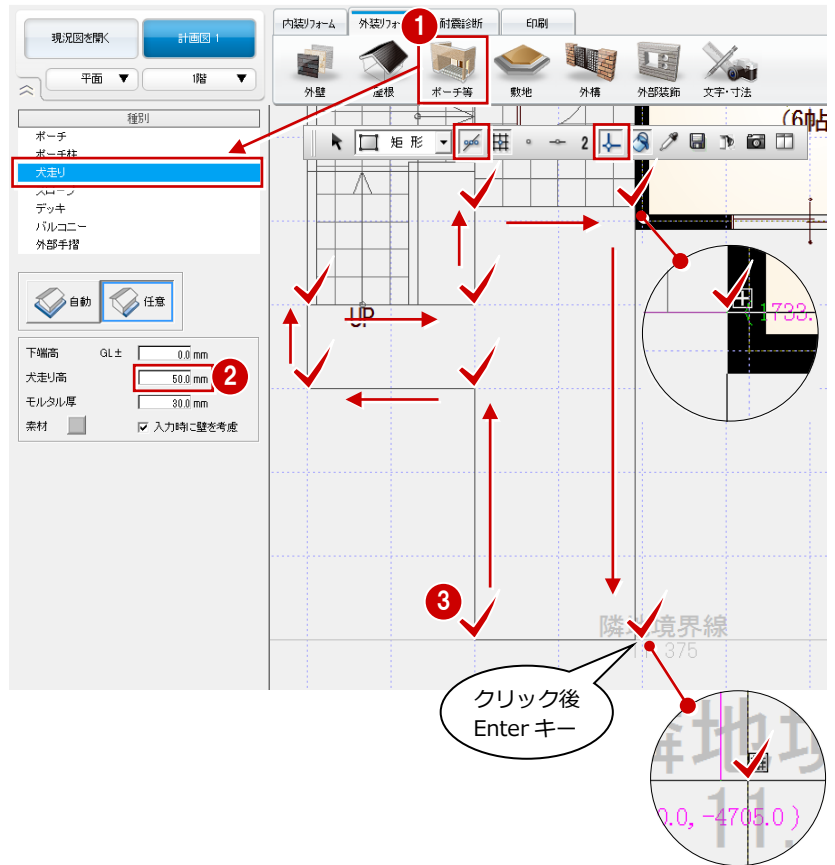
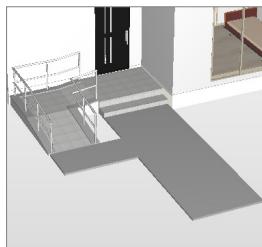


アプローチと外部手摺を入力する

スロープとポーチにつながるアプローチ
 (「犬走り」で入力) と外部手摺を入力します。

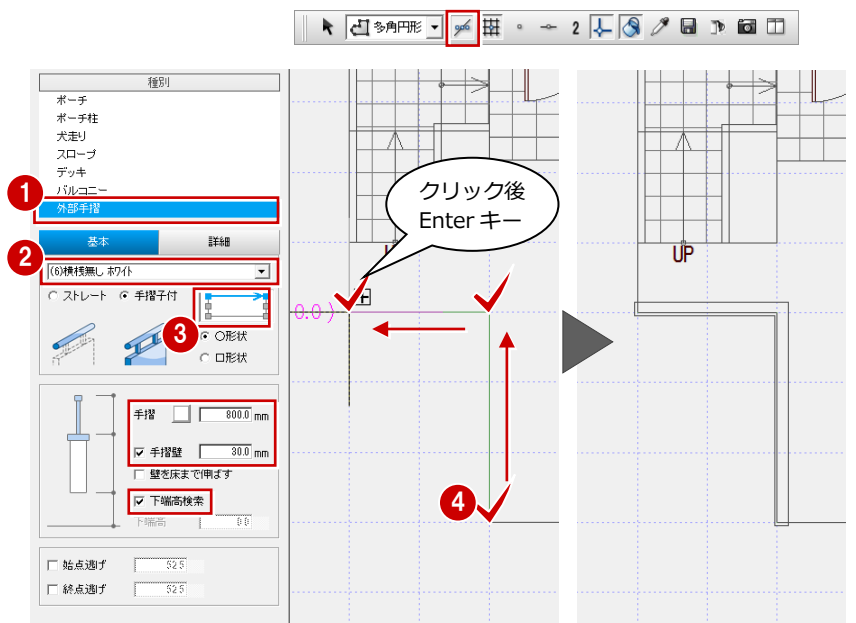
— 犬走りを入力する —

- ① 「ポーチ等」をクリックして、「犬走り」を選びます。
- ② ここでは「犬走り高」を「50」に変更します。
- ③ 犬走りの入力点を指定して、Enter キーを押します。
 (「端点・交点ピック」ON)
 ここでは、ドラフターが ON であることを確認して、右図のようにスロープ、ポーチの端点を指定します。



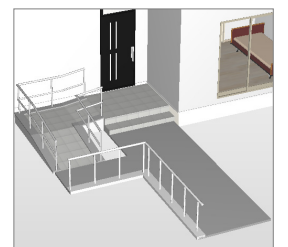
— 外部手摺を入力する —

- ① 「外部手摺」を選びます。
- ② 「(6) 横棧無し ホワイト」に変更します。
- ③ ここでは、次のように設定します。
 「配置基準」: 左面
 「手摺」: 800
 「手摺壁」: 30
 「下端高検索」: ON
- ④ 外部手摺の入力点を指定して、Enter キーを押します。
 (「端点・交点ピック」ON)



手摺の下端高検索

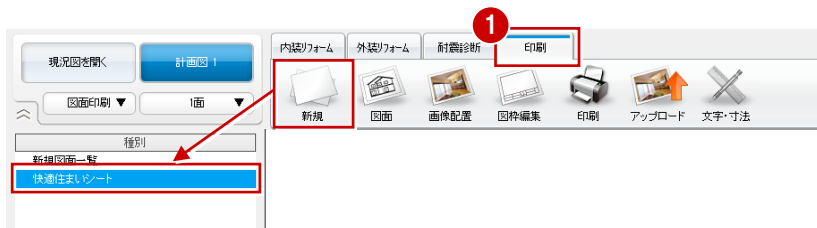
手摺の下端高検索の対象シンボルは、部屋、階段、ロフト、バルコニー、ポーチ、犬走り、ウッドデッキ、水平面・鉛直面です。



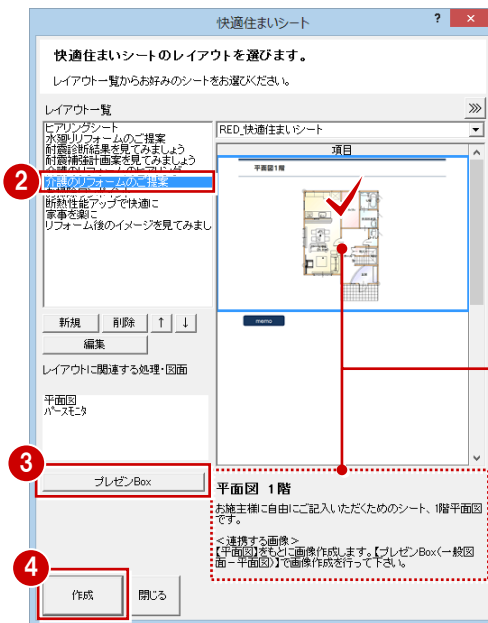
1-4 提案シートの作成

介護リフォームの提案シートを作成

- ① 「印刷」タブの「新規」をクリックして、「快適住まいシート」を選びます。
- ② 「レイアウト一覧」から「介護のリフォームのご提案」を選びます。
- ③ 「プレゼン Box」で画像を登録します。



⇒ プレゼン Box の操作については、「水廻りのリフォーム編」P.36 参照



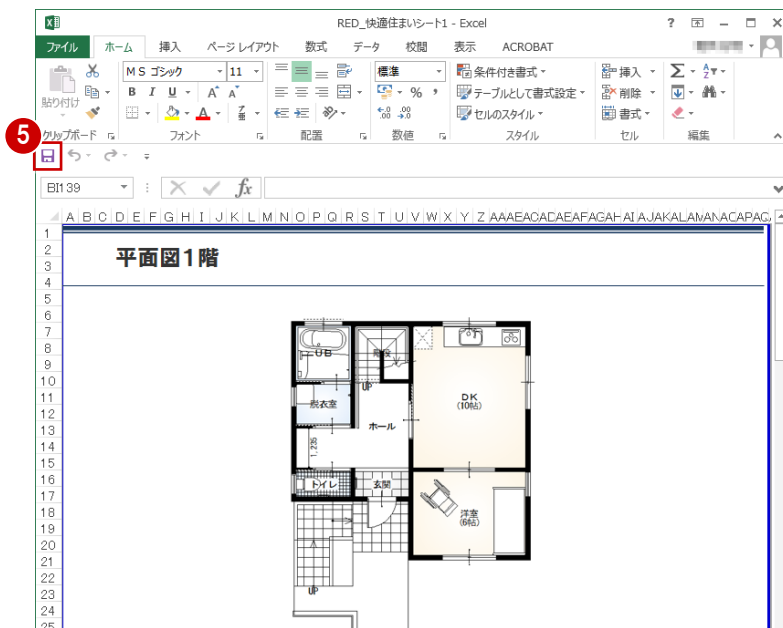
サムネイルをクリックすると、レイアウトに必要な画像、または図面データなどを確認できます。

※ プレゼン Box の（一般図面－平面図）の画像を使用




- ④ 「作成」をクリックします。
- ⑤ Excel データを保存します。

⇒ 「介護のリフォームのご提案」のレイアウトと連動する画像については、次ページ参照



データを保存する

フローティングバーの  をクリックして、データを保存します。



【補足】「介護のリフォームのご提案」のレイアウトと連動する画像

「介護のリフォームのご提案」で提案シート（目次等は除く）に連動する画像は、次のようになっています。

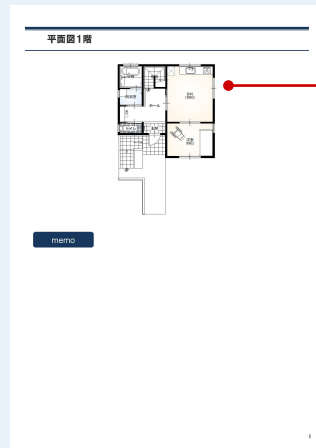


【表紙】

プレゼン Box「外観パース
-外観パース表紙」の画像
が連動します。



外観パース表紙



【平面図 1階】

プレゼン Box「一般図面－
平面図」の画像が連動しま
す。

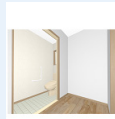


平面図
階



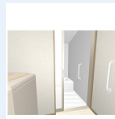
【トイレのご提案/浴室のご提案】

プレゼン Box「内観パース
-内観パース トイレ」の画
像が連動します。



内観パース
トイレ

プレゼン Box「内観パース
-内観パース 浴室」の画像
が連動します。



内観パース
浴室



【洗面脱衣室のご提案】

プレゼン Box「内観パース
-内観パース 洗面脱衣室」
の画像が連動します。



内観パース
洗面脱衣室

2

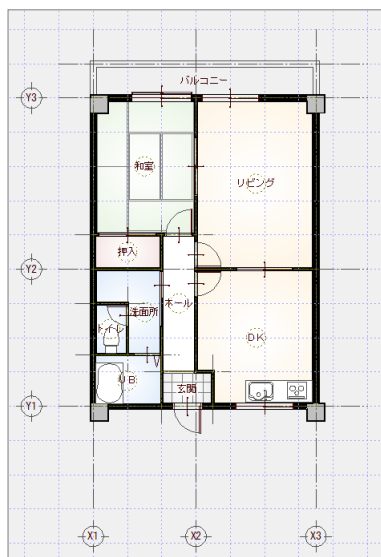
マンションリフォーム

RCマンションの一室を例に、通り芯や作図芯を使って現況図を作成し、それをもとに、リフォームプランを作成する流れを解説します。

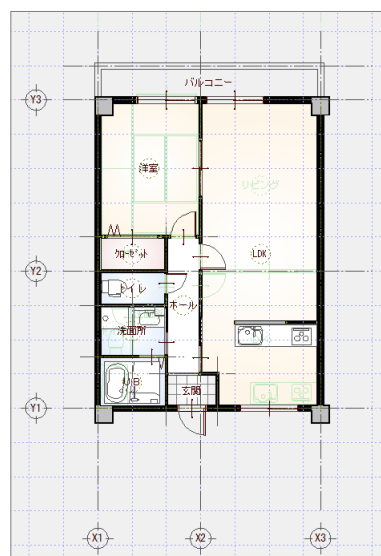
※ この章の解説用データと完成データを使用するには、リフォームエディションのヘルプから表示されるマニュアルサイトからファイルを一括ダウンロードして、ファイル内の「ReformEdition.mgdz」をマネージャーで取り込んでください（取り込み方法は、Manager 編 P.8「お客様データをリストアする」を参照）。

2-1 マンションリフォームプラン

現況図



計画図

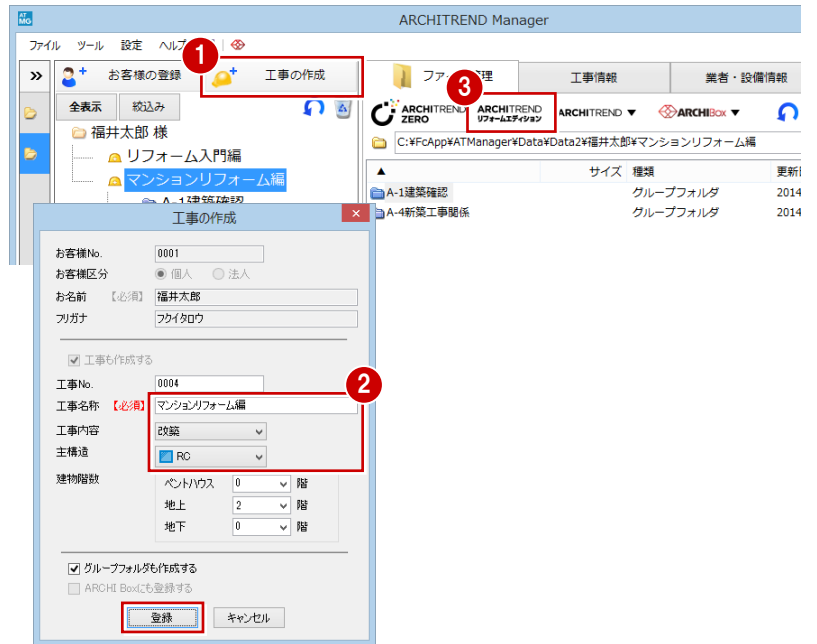


2-2 新しい物件を開く

マネージャーを起動して、新しい物件を作成しましょう。

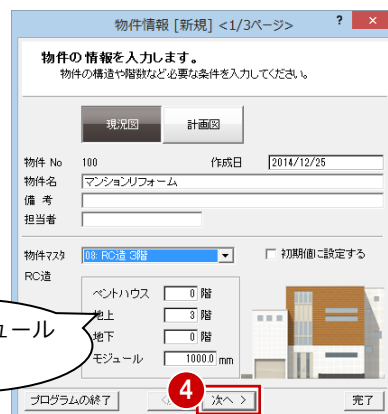
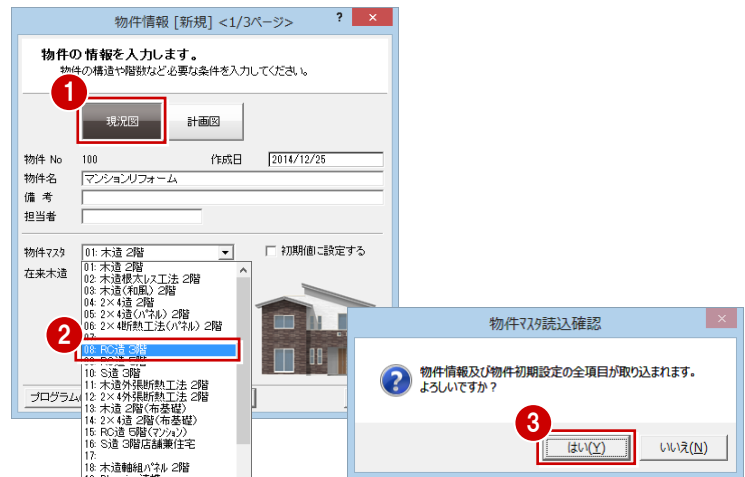
新しい工事を作成する

- 1 マネージャーで「工事の作成」をクリックします。
- 2 工事名称や工事内容などを設定して、「登録」をクリックします。
- 3 「ARCHITREND リフォームエディション」をクリックします。



物件情報を設定する

- 1 「物件情報」画面の<1/3 ページ>で、「現況図」が ON になっていることを確認します。
- 2 RC 造の建物を入力するため、物件マスタを変更します。ここでは「08 : RC 造 3 階」に変更します。
- 3 確認画面が表示されるので「はい」をクリックします。
- 4 階数やモジュールが切り替わったことを確認して、「次へ」をクリックします。

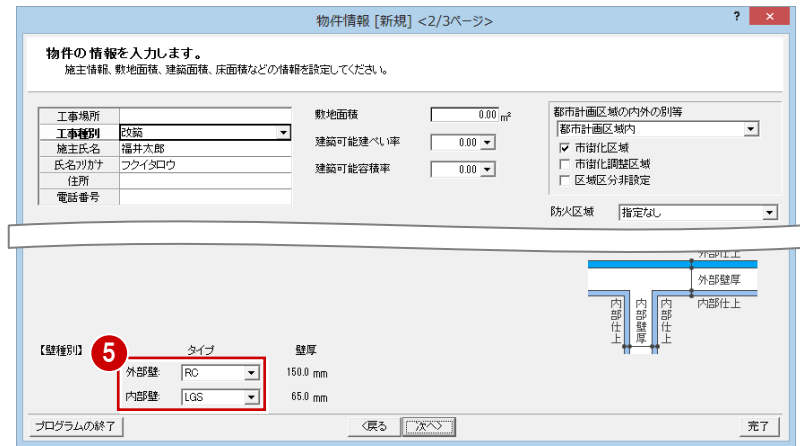


入力データ

ここでは、1階を利用してマンションの一室のリフォームデータを入力します。

2 マンションリフォーム

- ⑤ 壁の種別を確認します。ここでは、「内部壁」を「LGS」に変更します。

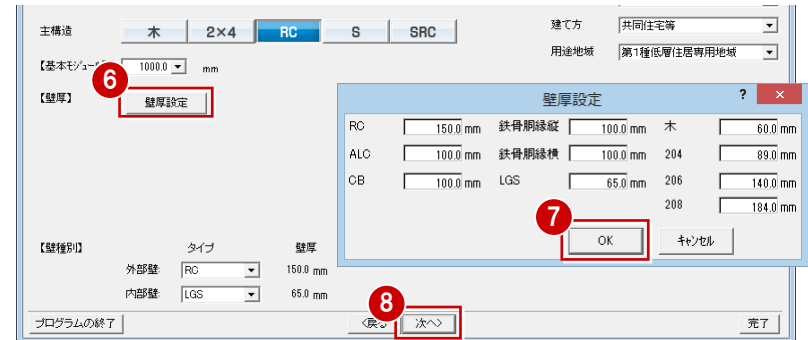


- ⑥ 「壁厚設定」をクリックします。

- ⑦ RC や LGS の壁の厚みを確認し、「OK」をクリックします。

- ⑧ 「物件情報」画面の<2/3 ページ>で、「次へ」をクリックします。

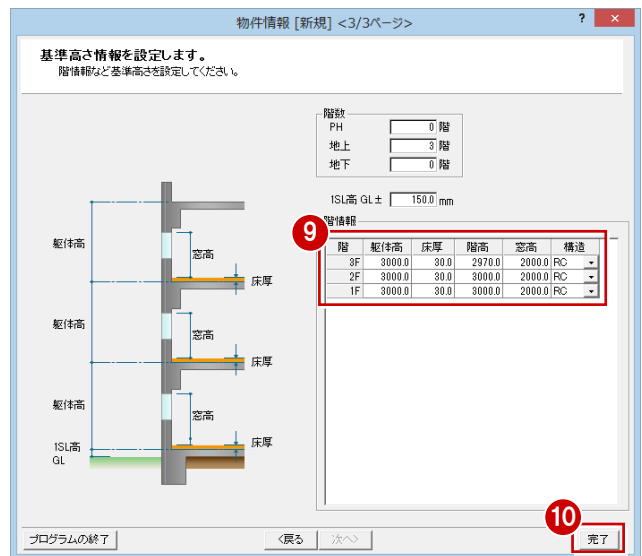
- ⑨ 「物件情報」画面の<3/3 ページ>で、床厚や階高、窓高などを確認します。



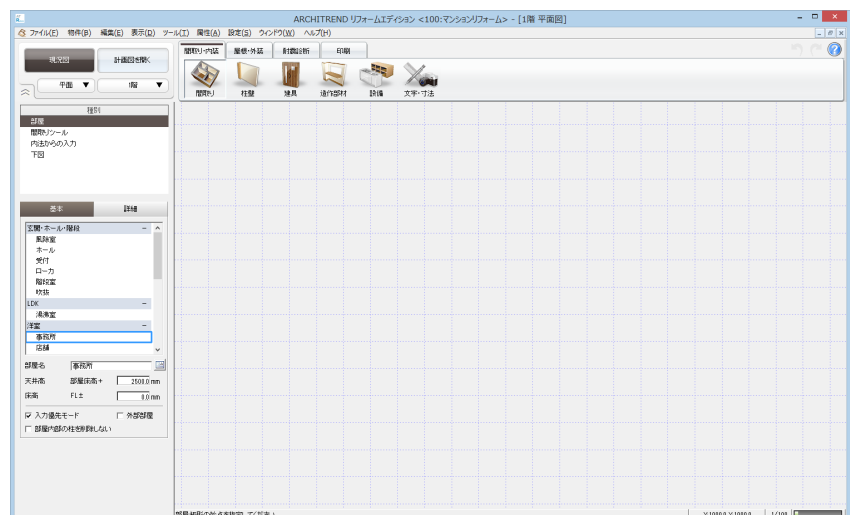
基準高さの連動先

基準高	基準高を参照する部材
GL	敷地、ポーチなどの下端高の基準
SL	柱壁の上端・下端基準
FL	部屋の床高の基準、たれ・腰壁の下端基準 内部階段の始点高・終点高の基準 建具の取付高（基準増減）の下端基準
窓高	建具の取付高（基準増減）の上端基準

- ※ 躯体高：下階の SL から上階の SL までの高さ
- ※ 階高：下階の FL から上階の FL までの高さ
- ※ 床厚によって、その階の FL が決まります。



- ⑩ 「完了」をクリックします。
リフォームエディションが起動します。



部屋マスタを変更する

目的にあった部屋や壁、床仕上が入力できるように、部屋マスタを変更します。

- 1 プルダウンメニューから「設定」の「設定」を選びます。
- 2 「設定」ダイアログの【内部・外部】を選びます。
- 3 「部屋」タブの「以外」をクリックします。
- 4 ここでは1階にマンションの一室を入力できるように「部屋マスタ初期グループ & ページ」の「1階_ (1)」を「4グループ：マンション」に変更します。
- 5 「設定」ダイアログの「OK」をクリックします。

1 属性(A) 設定(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

設定(I)...

レイヤ表示・検索設定(D)...

グリッド設定(S)...

作図原点(Q)

設定

設定
システム全体の設定及び物件単位での設定を行います。

【基本情報】
システムの基本となる設定ができます。

【パース・3D】
パースモニタの光源や背景の設定ができます。

【建物情報】
構造や高さ情報など建物の基本となる部分の設定ができます。

【文字・寸法】
文字・寸法のサイズや丸めの設定及び面積の設定ができます。

【建具】
建具厚み及び本体の詳細設定の他、入力や取り付けに関する設定ができます。

【配色・印刷】
画面色やペンNo.ごとの色の設定及び画面印刷の設定ができます。

【性能向上】
パリアフォーリフォームで目標とする性能等級の設定ができます。

2

3

4

5

設定

TOP 基本情報 建物情報 建具 内部・外部 パースモニタ 文字・寸法 配色・印刷 性能向上

部屋 壁紙・床材・フロア 窓 外部仕様 敷地 ポーチ・バルコニー 屋根の形状

木造 2×4 以外

部屋マスタ初期グループ&ページ

階	グループ
1階_ (1)	4グループ：マンション
(2)	1ページ：仕様A
1階以外_ (8)	3グループ：事務所・店舗
(4)	1ページ：仕様A

部屋を入力するときに使用する部屋マスタのグループとページの初期値の設定をします。

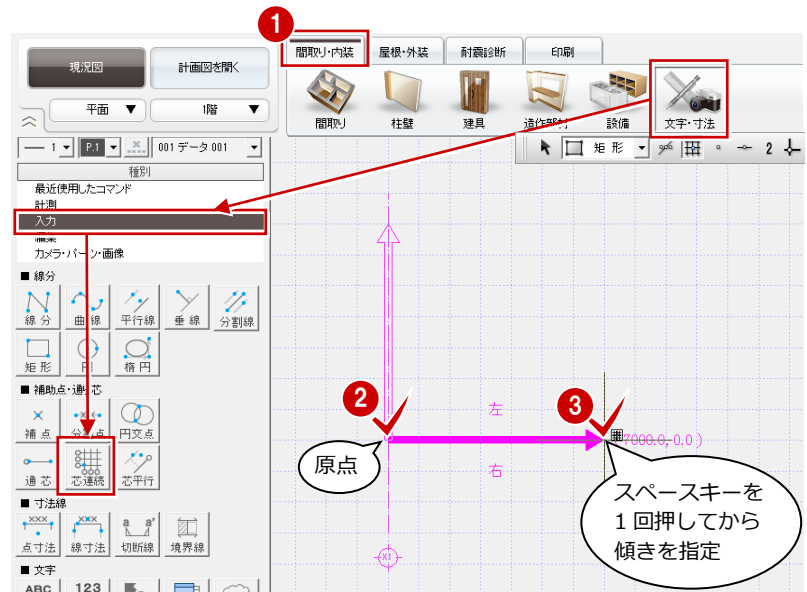
マスタ書込 マスタ読込 OK キャンセル

2-3 現況図の入力

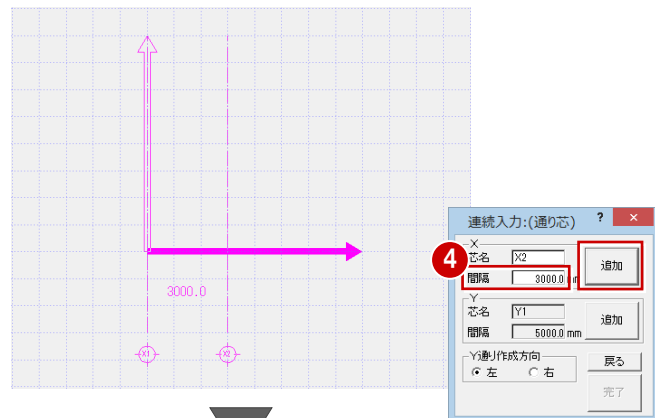
通り芯を入力する

まずは、X方向に通り芯を続けて3本入力します。

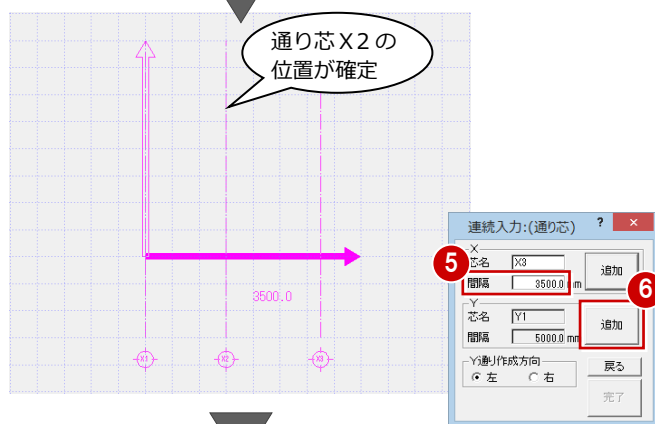
- ① 「間取り・内装」タブの「文字・寸法」をクリックして「入力」の「芯連続」を選びます。
- ② 通り芯の原点を指定します。
- ③ スペースキーを1回押して、ドラフタ機能を有効にし、通り芯の傾きをクリックして指定します。



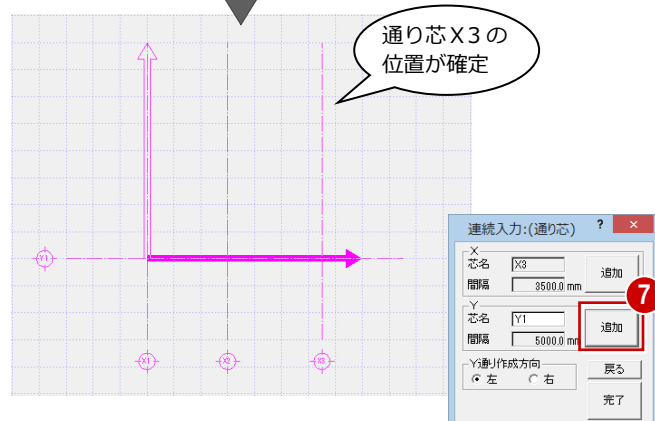
- ④ 「連続入力」ダイアログの「間隔」に「3000」と入力し「追加」をクリックします。通り芯X2の位置が確定します。



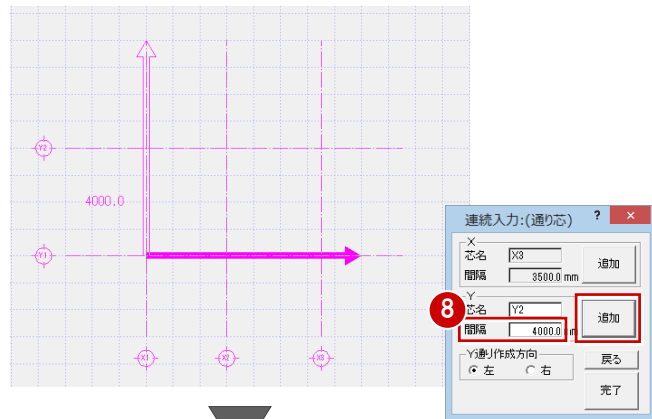
- ⑤ 続けて「間隔」に「3500」と入力します。
- ⑥ 次はY方向へ通り芯を入力するので、「Y」欄の「追加」をクリックします。通り芯X3の位置が確定し、Y方向への通り芯が入力できるようになりました。



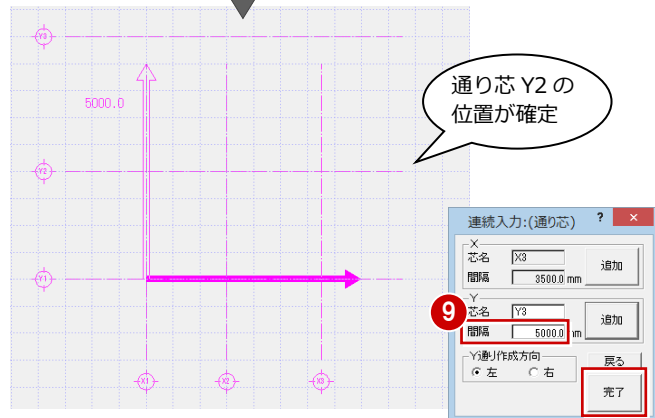
- ⑦ そのまま「追加」をクリックして、通り芯Y1の位置を確定します。



- 8 「間隔」に「4000」と入力し「追加」をクリックします。

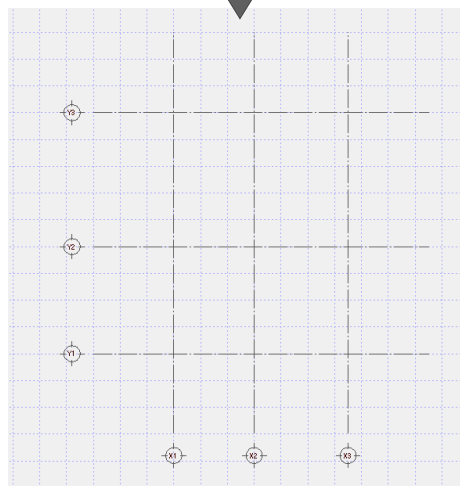


通り芯 Y2 の位置が確定しました。



- 9 「間隔」に「5000」と入力し「完了」をクリックします。

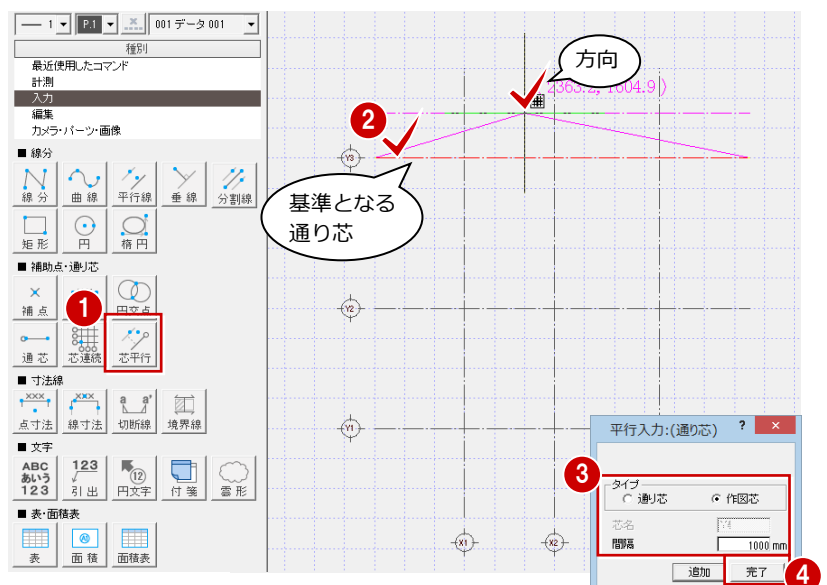
通り芯 Y3 の位置が確定し、すべての通り芯が入力されました。
再度スペースキーを押して、ドラフタ機能を解除しておきましょう。



作図芯を入力する

通り芯のほかに、間取りの入力位置となる作図芯を入力しましょう。まずは、通り芯と同じ長さの作図芯を入力します。

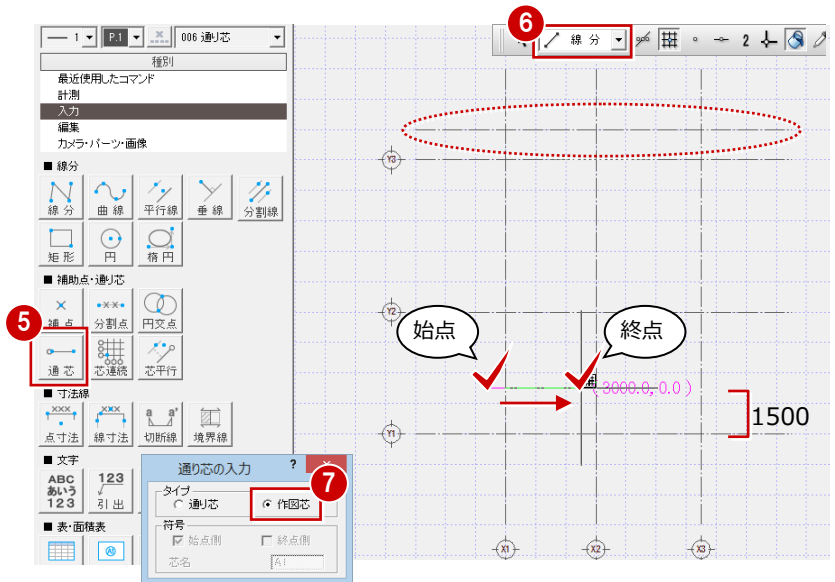
- 1 「入力」の「芯平行」を選びます。
- 2 基準となる通り芯（ここでは「通り芯 Y3」）をクリックし、作図芯の入力方向をクリックします。
- 3 「平行入力」ダイアログで次のように設定します。
「タイプ」：作図芯
「間隔」：1000 mm
- 4 「完了」をクリックします。



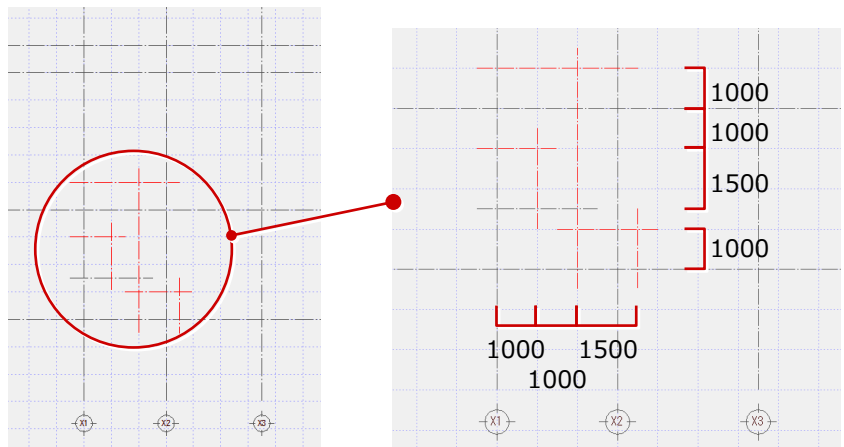
2 マンションリフォーム

通り芯 Y3 の上に作図芯が入力されました。
 続けて、通り芯と長さの違う作図芯を入力します。

- ⑤ 「通芯」を選びます。
- ⑥ 「入力方法」を に変更します。
- ⑦ 「通り芯の入力」ダイアログで「作図芯」を ON にして、通り芯 Y1 から 1500 mm離れた右図の位置に、作図芯の始点と終点をクリックします。



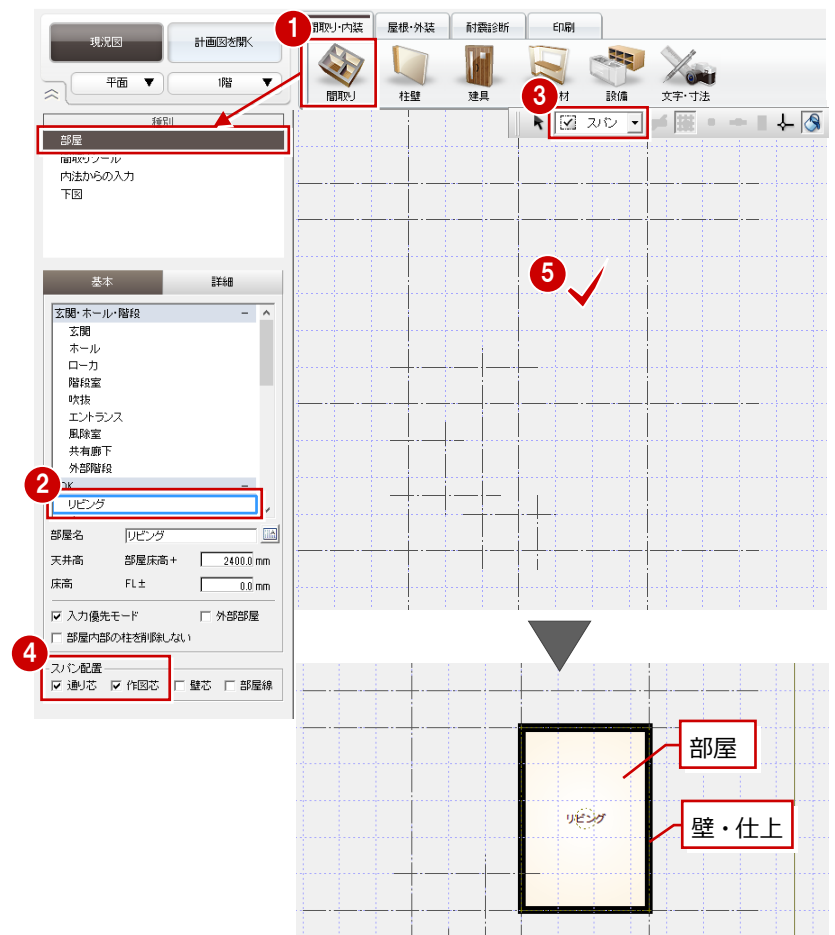
- ⑧ 同様にして、残りの作図芯も入力します。





部屋を入力する

通り芯や作図芯を利用して「スパン入力」で部屋を入力します。

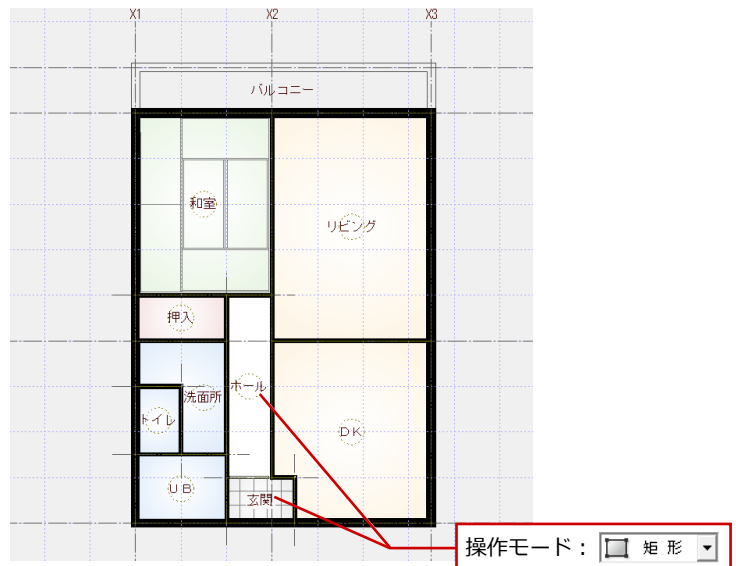
- ① 「間取り」をクリックして「部屋」が選択されていることを確認します。
- ② 入力したい部屋（ここでは「リビング」）を選びます。
- ③ 操作モードを スパン に変更します。
- ④ 「スパン配置」の「通り芯」と「作図芯」を ON にします。
- ⑤ 通り芯に囲まれた右図の位置をクリックします。
 リビングが入力されます。



- ⑥ 同様に、残りの部屋も入力しましょう。
- 「ホール」と「玄関」については、操作モードを  矩形 に変更して入力します。




⇒  矩形 で部屋の入力については、
「基本操作編」P.5 参照

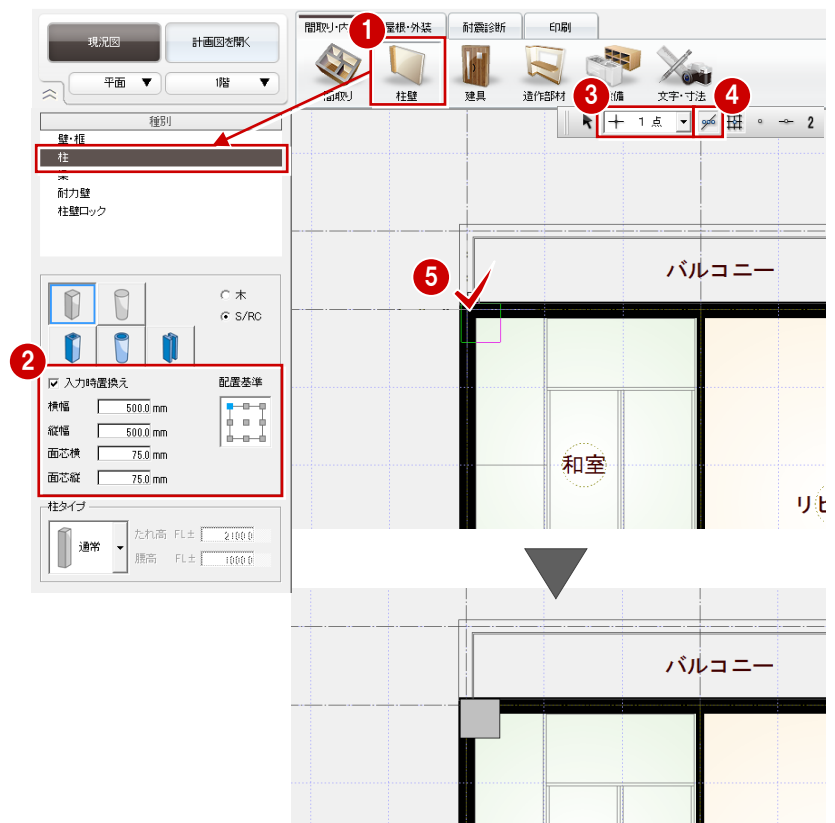
⇒ バルコニーの入力については、「外装リフォーム編」P.8 参照



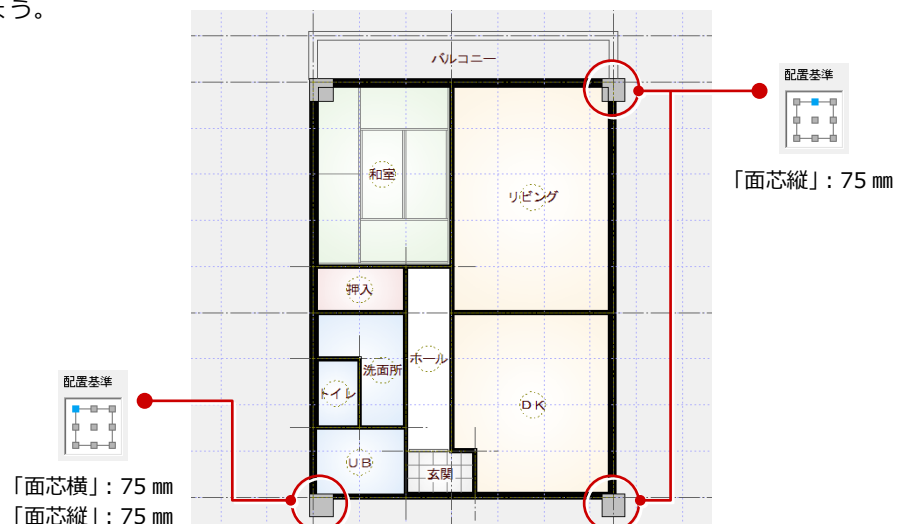
RC 柱を入力する

通り芯を利用して、RC 柱を配置します。

- ① 「柱壁」をクリックして「柱」を選びます。
- ② 配置条件を次のように設定します。
「配置基準」：左上
「面芯横」：75 mm
「面芯縦」：75 mm
- ③ 操作モードが  1点 であることを確認します。
- ④ 通り芯の交点がピックできるように、フローティングバーの  を ON  にします。
- ⑤ 通り芯 X1 と Y3 の交点をクリックします。



- ⑥ 同様に、残りの柱も入力しましょう。



建具を入力する

「建具」をクリックして、建具を入力します。

⇒ 建具入力については、「リフォームプラン作成編」P.6 参照

※ ●→ は、入カタイプが「始点寄せ」の場合の入点です。



片開ドア (ふすま)
「w805h2000」



W805_H2000

入カタイプ：中央
取付高：部屋床高参照

2 枚引違戸 (ふすま)
「w1715h2000」



W1715_H2000

入カタイプ：中央
取付高：部屋床高参照

片引戸 (木製)
「片引戸 A タイプ」



片引戸 Aタイプ

入カタイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照

片開ドア (木製)
「単体ドアトイレ用 A タイプ」



単体ドアトイレ用 Aタイプ

入カタイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照

2 枚引違戸 (アルミ)
「w1720h2000」



w1720h2000

入カタイプ：中央
取付高：部屋床高参照

2 枚引違戸 (アルミ)
「w1650h2000」



w1650h2000

入カタイプ：中央
取付高：部屋床高参照

2 枚引違戸 (ふすま)
「ふすま/木製 2000」



ふすま/木製 2000

入カタイプ：中央
取付高：部屋床高参照

2 枚引違戸 (木製)
「2 枚引違 A タイプ」



2枚引違 Aタイプ

入カタイプ：中央
取付高：部屋床高参照

片開ドア (木製)
「単体ドア A タイプ」



単体ドア Aタイプ

入カタイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照

折戸 (アルミ)
「w740h2000」



w740h2000

入カタイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照

片開ドア (アルミ)
「アパート用玄関ドア」



アパート用玄関ドア

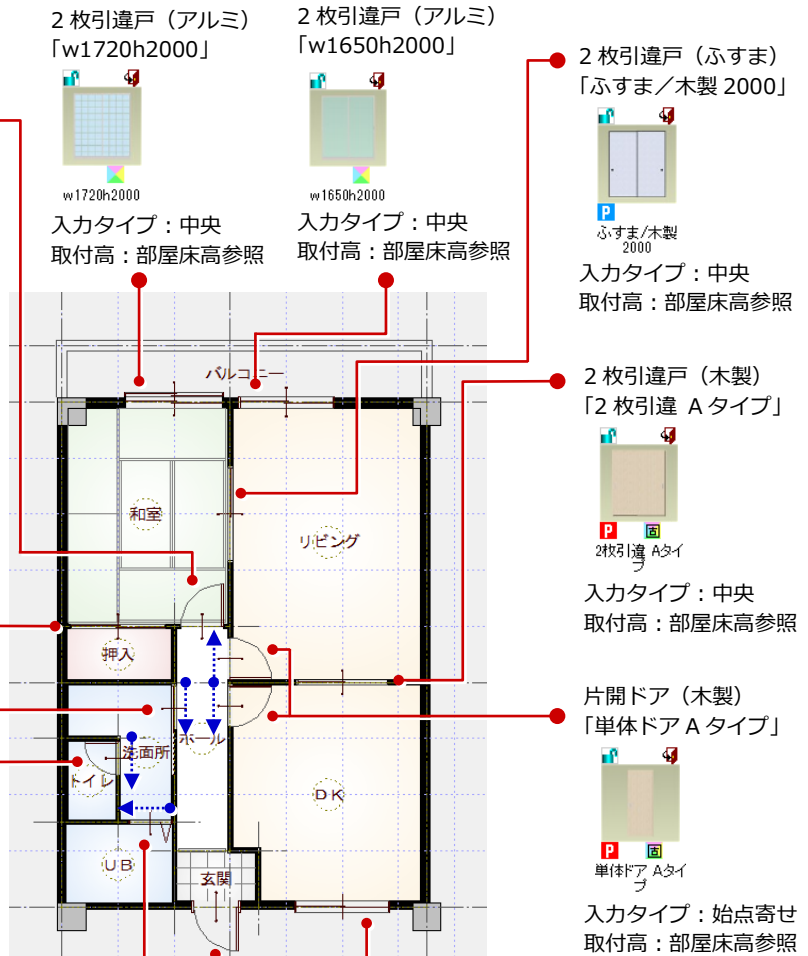
入カタイプ：中央
取付高：部屋床高参照

2 枚引違窓 (アルミ)
「w1650h700」



w1650h700

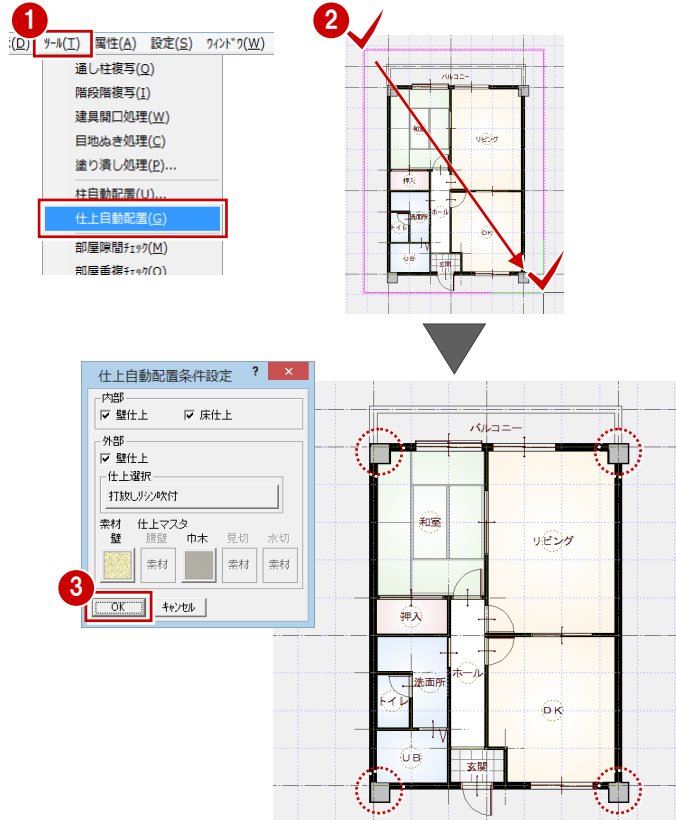
入カタイプ：中央
取付高：窓高 - 350



仕上を配置する

RC 柱に仕上をまわしましょう。

- 1 プルダウンメニューから「ツール」の「仕上自動配置」を選びます。
- 2 間取り全体が含まれるように範囲を指定します。
- 3 「OK」をクリックします。
RC 柱まわりに仕上が配置されます。



設備機器を入力する

「設備」をクリックして、住設機器を入力します。

⇒ 設備機器の入力については、「リフォームプラン作成編」P.8 参照



便器 (衛生設備 - トイレ)
「腰掛便器 1」



腰掛便器 1

配置基準 :

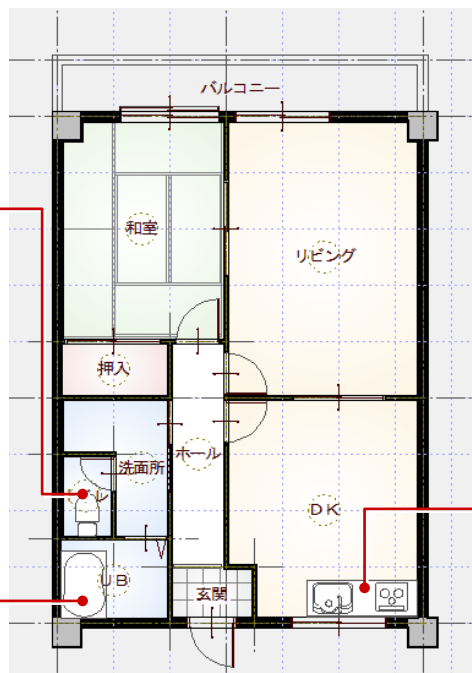


浴槽 (衛生設備 - 浴室)
「浴槽 A3 L1200」



浴槽 A3 L1200

配置基準 :



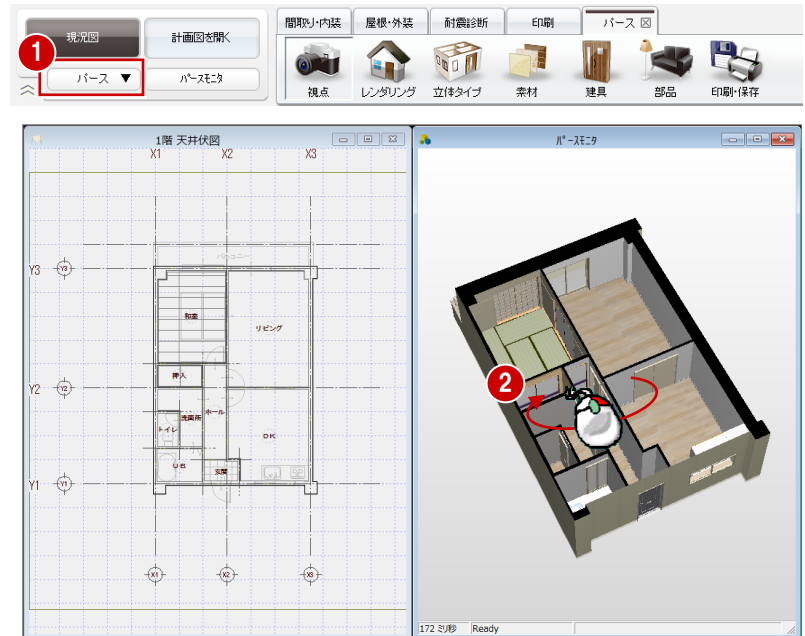
システムキッチン (厨房設備 - システムキッチン)
「I 型/食洗無/レール取手タイプ」の「間口 1950/ブラウン縦」

配置基準 :




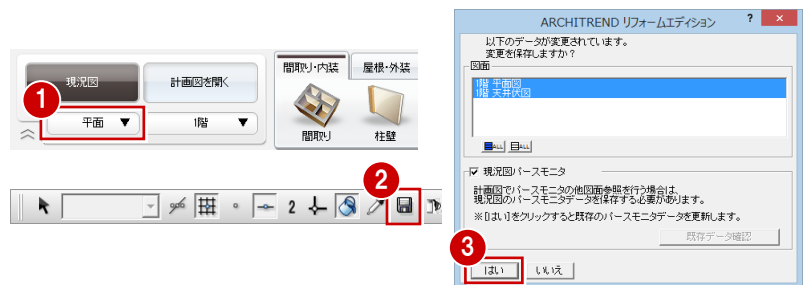
立体を確認する

- ① 「図面の切り替え」から「パース」を選んでパースモニタを開きます。
- ② カメラや視点を変更して、各部屋を確認しましょう。



データを保存する

- ① 「図面の切り替え」から「平面」を選んで図面に戻ります。
- ② フローティングバーの  をクリックします。
- ③ 確認画面で「はい」をクリックします。

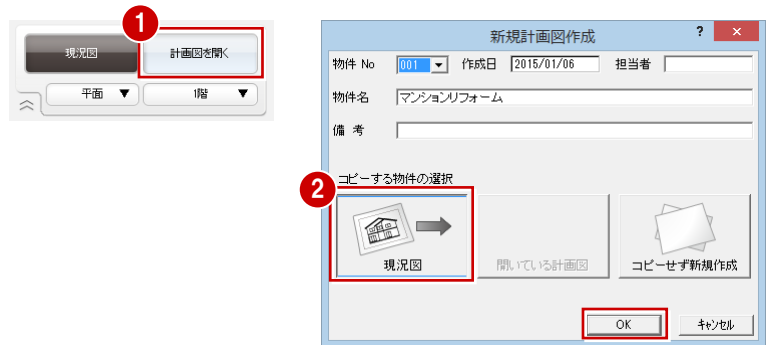


2-4 計画図データの作成

現況図ができれば、それをもとにリフォームの計画図を作成しましょう。現況図の図面を並べて表示しながら、計画図を作成していくこともできます。

計画図を開く

- 「計画図を開く」をクリックします。
- 「コピーする物件の選択」が「現況図」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。

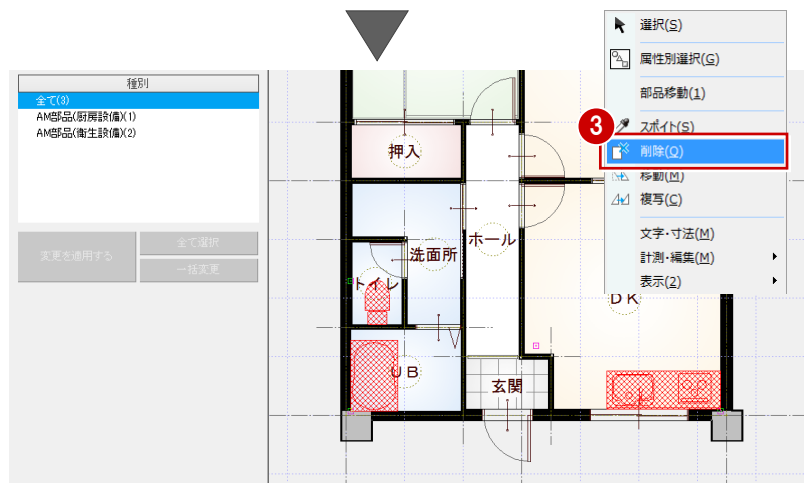


現況図がコピーされた状態で、計画図 1 が開きます。



不要な設備機器を削除する

- ポップアップメニューから「属性別選択」を選びます。
- 「AM 部品 (厨房設備)」「AM 部品 (衛生設備)」を選んで、「OK」をクリックします。
- ポップアップメニューから「削除」を選びます (または Delete キーを押します)。



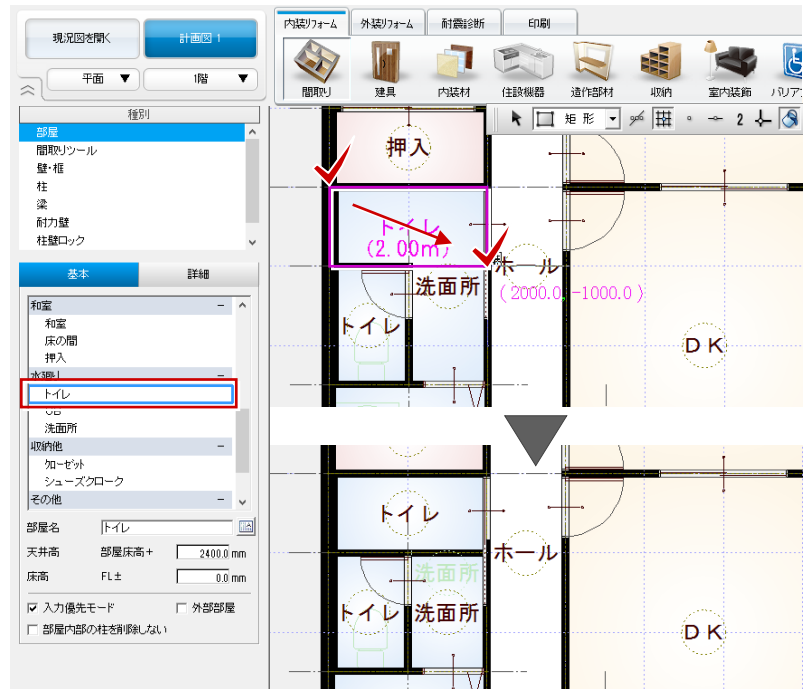
2-5 間取りの変更

新しく部屋を入力したり、既存の部屋を合成したりして間取りを変更しましょう。

部屋を入力する

右図のように「トイレ」を入力します。

⇒ 部屋入力については、「基本操作編」P.5
参照

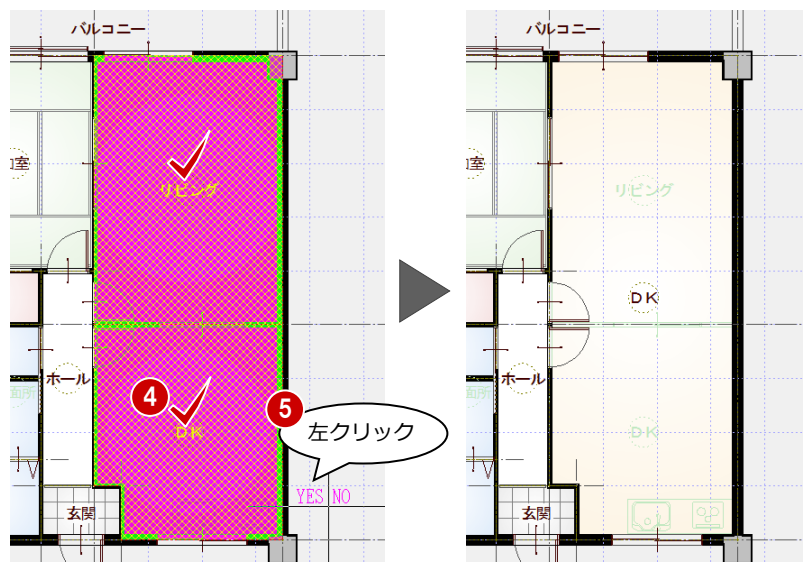
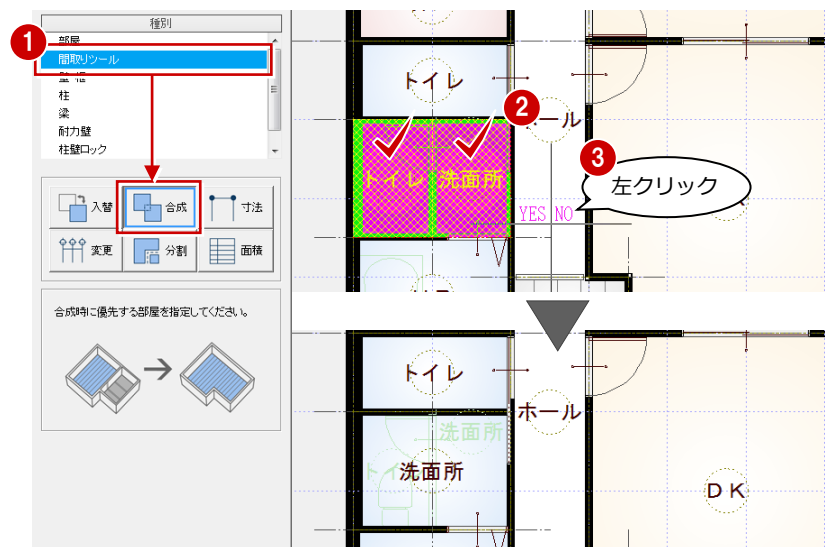


部屋を合成する

- ① 「間取りツール」の「合成」をクリックします。
- ② 合成したい部屋（ここでは「洗面所」と現況図で入力した「トイレ」）をクリックします。
このとき、部屋名などのプロパティを残す方の部屋を先に指定します。
- ③ カーソルに「YES/NO」が表示されたら左クリックします。
部屋が合成されます。


※ 左クリックで合成、右クリックでキャンセルになります。

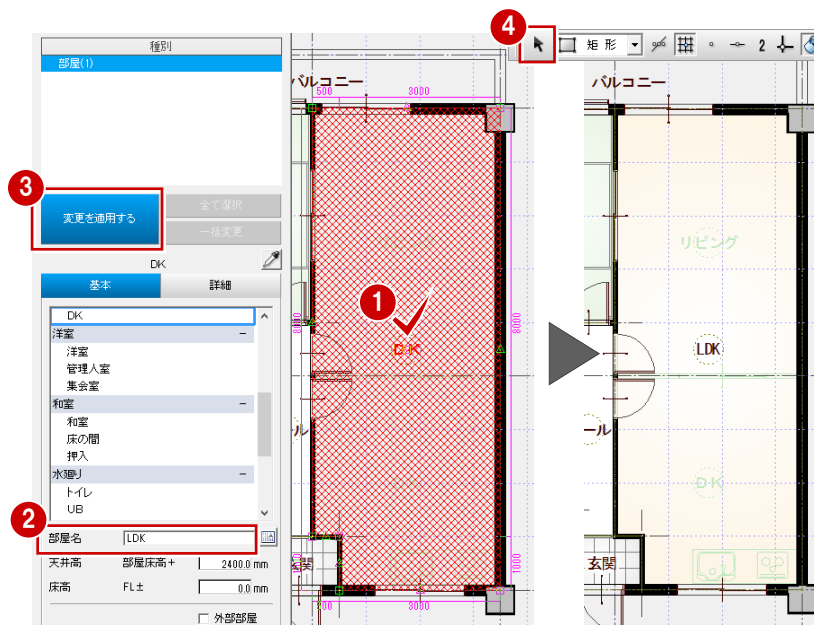
- ④⑤ 同様にして、「DK」と「リビング」も合成します。



部屋名を変更する

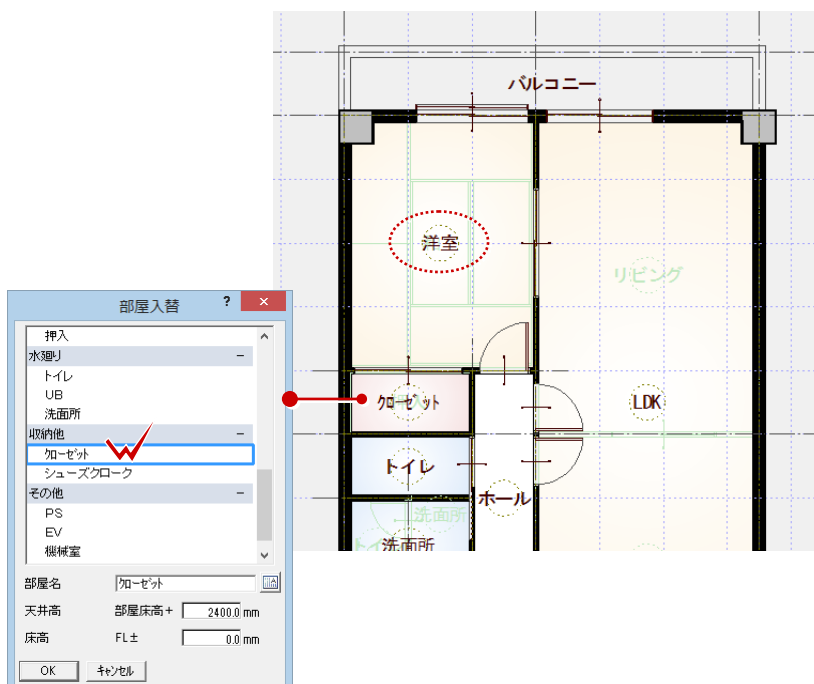
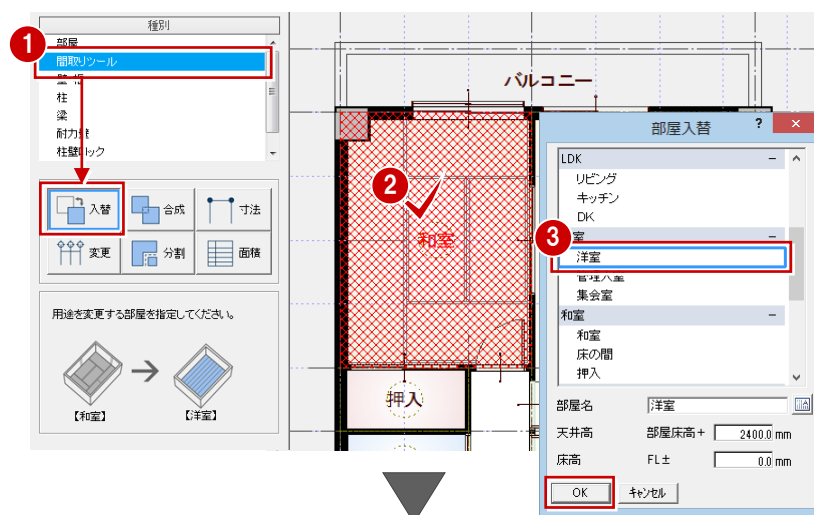
合成した部屋の名称を変更しましょう。

- 1 名称を変更したい部屋（ここでは「DK」）をクリックします。
- 2 プロパティの「部屋名」を変更します。ここでは「LDK」に変更します。
- 3 「変更を適用する」をクリックします。
- 4 フローティングバーの  をクリックして選択状態を解除します。



部屋を入れ替える

- 1 「間取りツール」の「入替」をクリックします。
- 2 入れ替えたい部屋（ここでは「和室」）をクリックします。
- 3 入力したい部屋（ここでは「洋室」）を選んで、「OK」をクリックします。ダブルクリックでも設定できます。
- 4 同様にして、「押入」を「クローゼット」に入れ替えます。



部屋の入れ替え

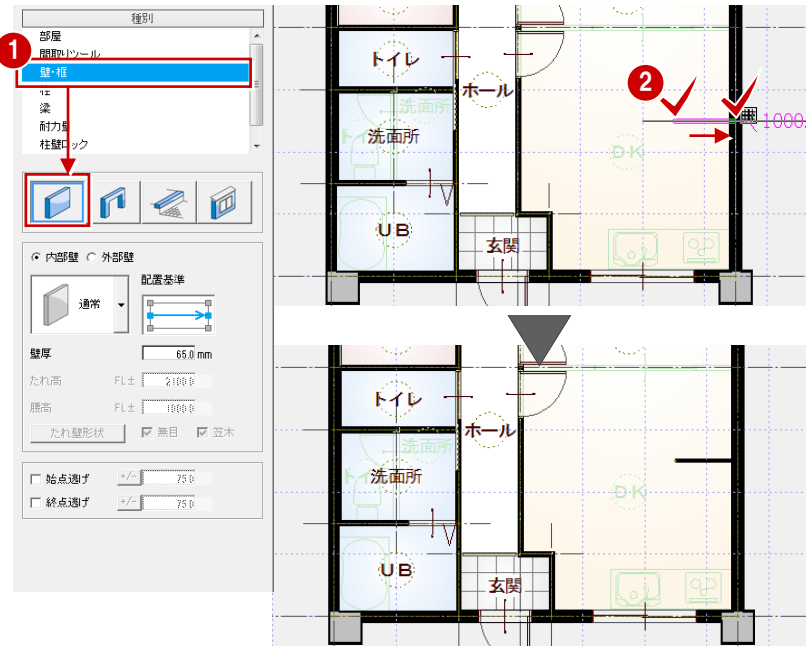
「入替」では、部屋の入れ替えと同時に、床・壁・天井の仕上仕様も変更されます。

2-6 壁・仕上の編集

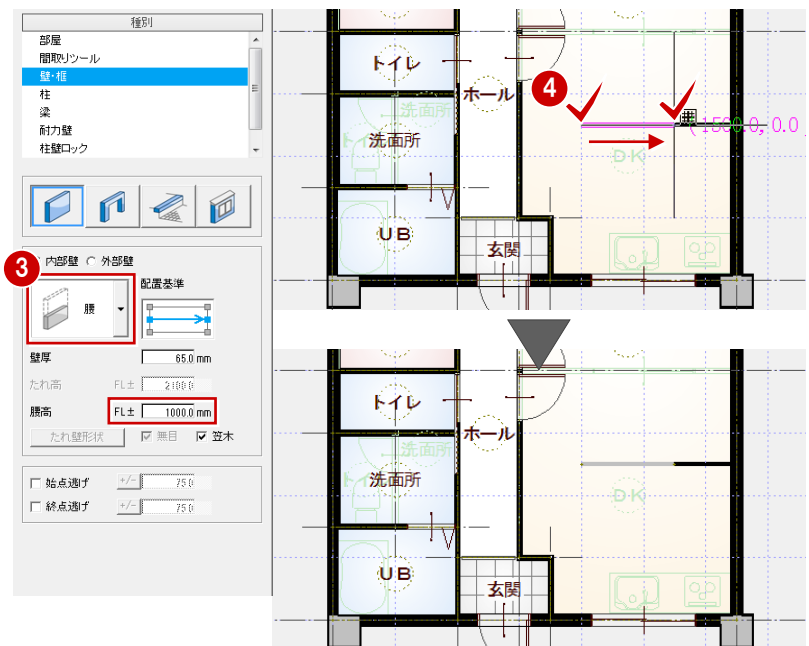
壁・腰壁を入力する

LDKの対面キッチン部分に壁と腰壁を入力しましょう。

- 1 「壁・框」の「壁」を選びます。
- 2 右図の位置に、壁の始点、終点をクリックします。

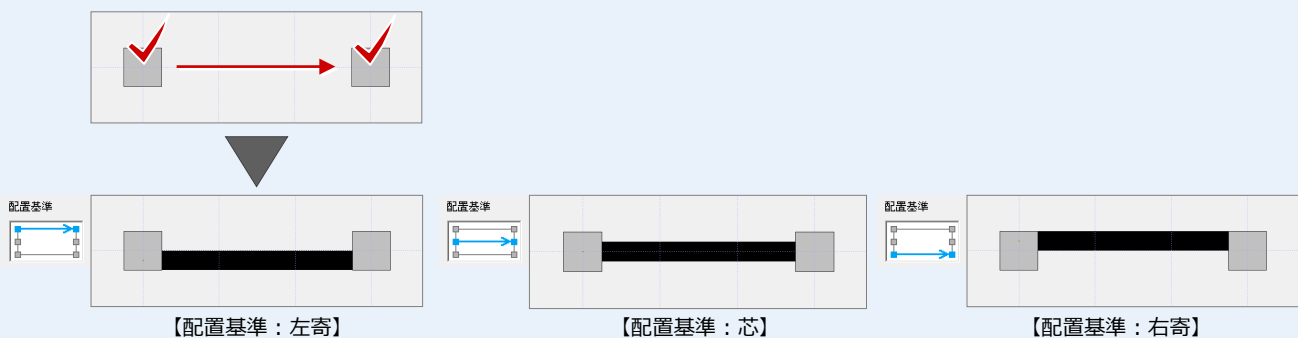


- 3 壁タイプを「腰」に変更します。
(ここでは、腰高は「1000」のまま)
- 4 右図の位置に、腰壁の始点、終点をクリックします。



【補足】配置基準を変更して壁を入力する

壁の面を柱や梁の面に合わせたいときは、配置基準を変更して壁を入力します。同じ位置をクリックして壁を入力しても、配置基準によって壁の配置される位置が異なります。

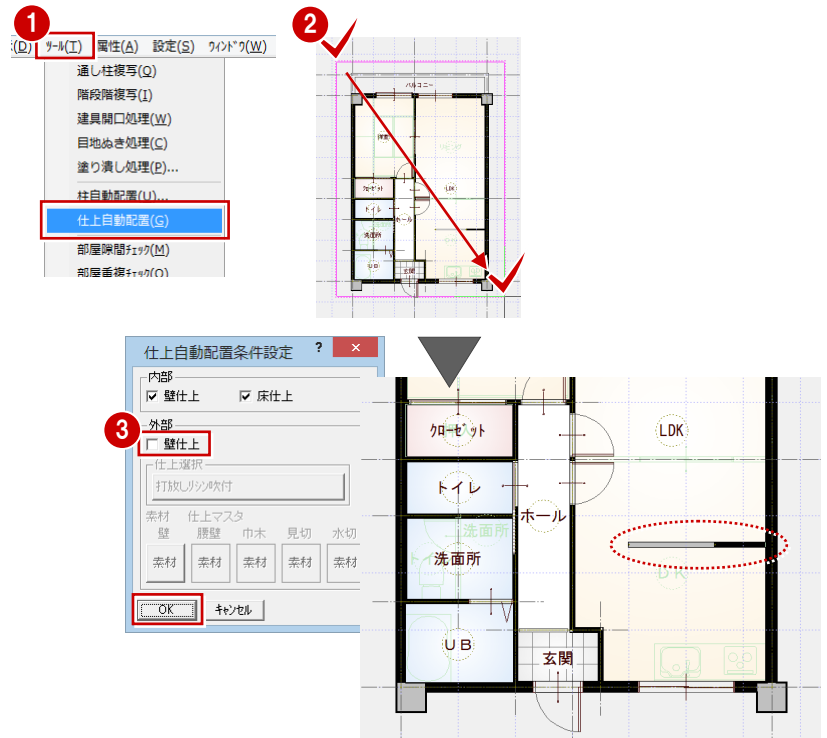


仕上を再配置する

壁を入力した部分に、仕上をまわしましょう。

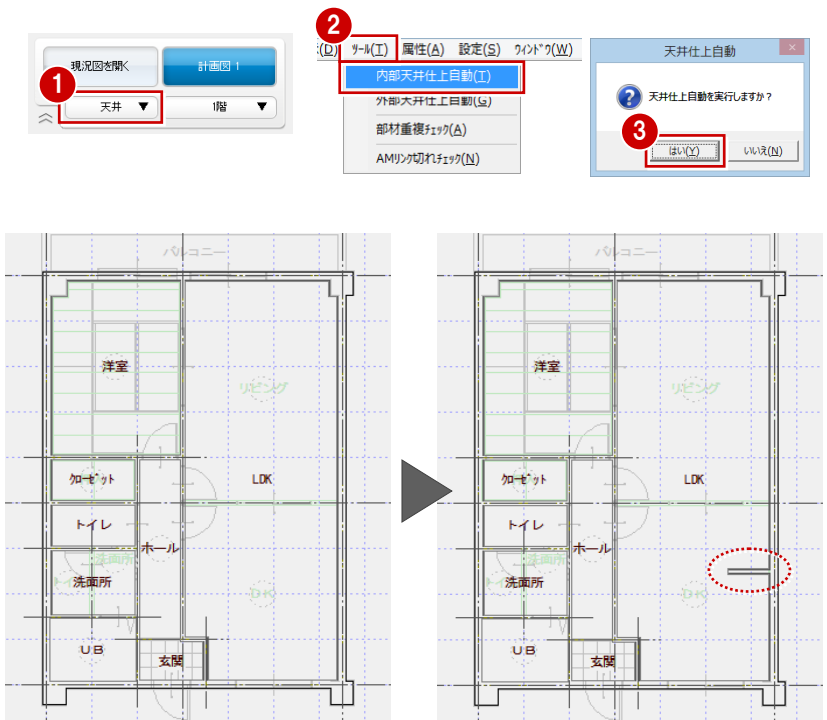
- 内壁仕上を再配置する -

- プルダウンメニューから「ツール」の「仕上自動配置」を選びます。
- 間取り全体が含まれるように範囲を指定します。
- 「外部」の「壁仕上」をOFFにして、「OK」をクリックします。
仕上が配置されます。



- 天井仕上を再配置する -

- 「図面の切り替え」から「天井」を選びます。
- プルダウンメニューから「ツール」の「内部天井仕上自動」を選びます。
- 確認画面で「はい」をクリックします。



2-7 内装の変更

建具を入れ替える

「建具」をクリックして、建具を入れ替えます。

⇒ 建具の入れ替えについては、「外装リフォーム編」P.17 参照

※ ●→ は、入カタイプが「始点寄せ」の場合の入点です。

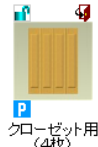


2枚引違戸（木製）
「2枚引違 Aタイプ」



入カタイプ：中央
取付高：部屋床高参照

折戸（木製）
「クローゼット用（4枚）」

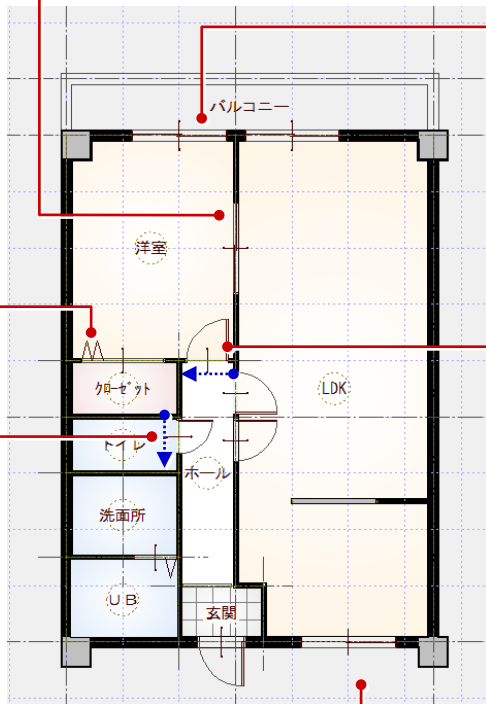


入カタイプ：中央
取付高：部屋床高参照

片開ドア（木製）
「単体ドアトイレ用 Aタイプ」



入カタイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照



2枚引違戸（アルミ）
「w1650h2000」



入カタイプ：中央
取付高：部屋床高参照

片開ドア（木製）
「単体ドア Aタイプ」



入カタイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照

ここからの解説図は、バック図面を非表示にしています。

⇒ バック図面については、「リフォームプラン作成編」P.14 参照

建具を入力する

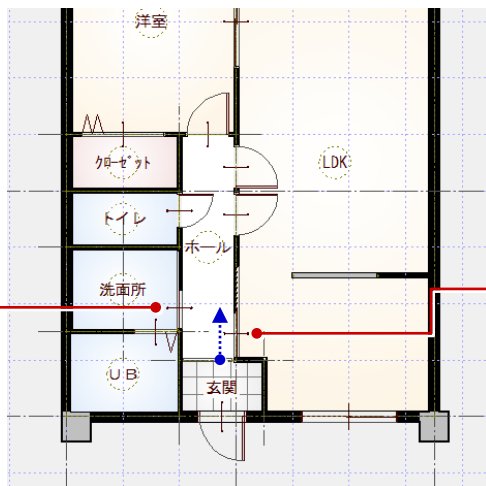
洗面所とLDKに建具を追加しましょう。

⇒ 建具入力については、「リフォームプラン作成編」P.6 参照

片引戸（木製）
「片引戸 Aタイプ」



入カタイプ：始点・終点逃げ
取付高：部屋床高参照



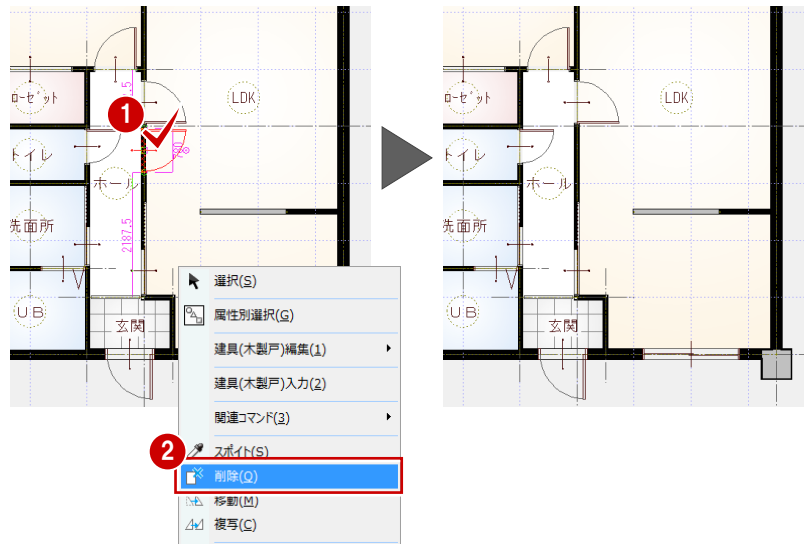
片引戸（木製）
「片引戸 Aタイプ」



入カタイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照

不要な建具を削除する

- 1 削除する建具を選択します。ここでは LDK の片開ドアをクリックします。
- 2 ポップアップメニューから「削除」を選びます（または Delete キーを押します）。



設備機器を入力する

「住設機器」をクリックして、設備機器を入力します。



⇒ 設備機器の入力については、「リフォームプラン作成編」P.8 参照

便器（衛生設備-トイレ）
「腰壁便器 4 / アイボリー」
配置基準：

洗濯機パン（衛生設備-衛生設備小物）
「洗濯機パン 2」
配置基準：


洗面化粧台（衛生設備-システム洗面化粧台）
「洗面化粧台 W900 / ホワイト」
配置基準：

システムキッチン（厨房設備-システムキッチン）
「2400 左シンク食洗有 C3」の「クリーム」
配置基準：

浴槽（衛生設備-ユニットバス）
「UB1216_A3 (L) / ホワイト」
配置基準：
部品の向きを回転して配置

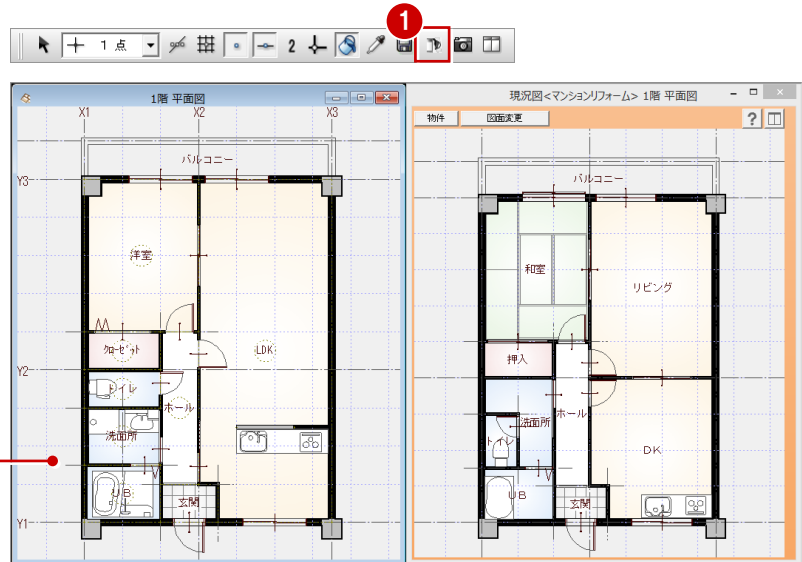
現況図と比較する

変更前と変更後のプランを確認しましょう。
まずは平面を確認します。

- 1 フローティングバーの  をクリックします。

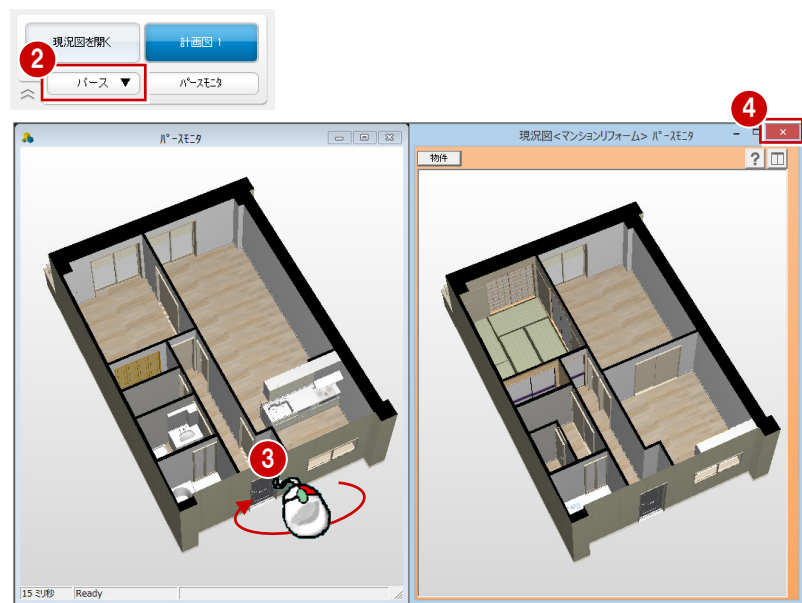
現況図が並べて表示されます。変更前と変更後のプランを確認しましょう。

現況図・計画図のどちらで拡大表示しても、他方が同様に表示されます。



次は立体を確認しましょう。

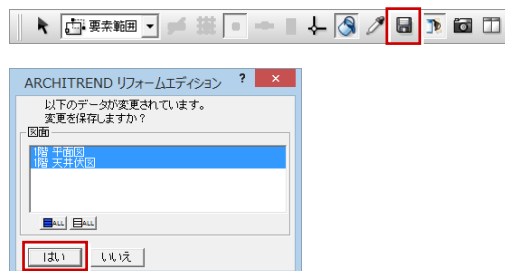
- 2 「図面の切り替え」から「パース」を選んでパースモニタを開きます。
- 3 カメラや視点を変更して、各部屋を確認しましょう。
- 4 確認が終了したら、「現況図」ウィンドウを閉じます。



データを保存する

必要に応じて図面化処理を実行し、データを保存しましょう。

⇒ 図面化処理については、「リフォームプラン作成編」P.15 参照



以降の操作について

その他の内装リフォームについては、「リフォームプラン作成編」「水廻りのリフォーム編」を参照してください。

また、以降のパースの作成、展開図の作成、図面の作成についても同マニュアルを参照してください。

3

内装シミュレーション

内装シミュレーションを使用すると、シンプルモダン、オーガニックといったスタイルを指定するだけで、壁・床・天井仕上、建具の色を簡単にシミュレートできます。

※「内装シミュレーション」は、計画図でのみ行うことができます。

内装をシミュレートする

- 1 「パース」タブをクリックして、内観のアングルを設定します。
- 2 「シミュレーション」をクリックします。「内装シミュレーション」ウィンドウが開きます。
- 3 ここでは、使用するマスタが「内装サンプルZERO:LDKタイプ」であることを確認して、スタイルを選びます。
- 4 「実行」をクリックします。



【「内装シミュレーション」ウィンドウ】

対象の部材

仕上、シンボル、建具、部品が変更の対象です。変更する部材は、「対象部材」でボタンをONの状態に、変更したくない部材はOFFの状態にします。



【クール】



【ジャパニーズ】



【アジアン】



【北欧風】



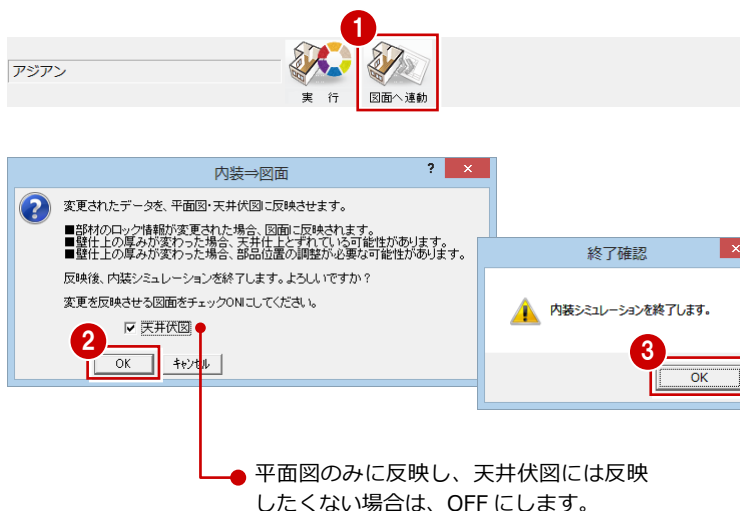
【シンプル】



【エレガント】

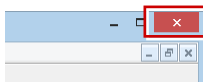
図面に結果を反映する

- 1 「図面へ連動」をクリックします。
- 2 図面へ反映させるかどうかの確認画面で「OK」をクリックします。
- 3 確認画面で「OK」をクリックします。




図面に反映しない場合

図面に反映しない場合、「内装シミュレーション」ウィンドウを閉じます。



データを保存する

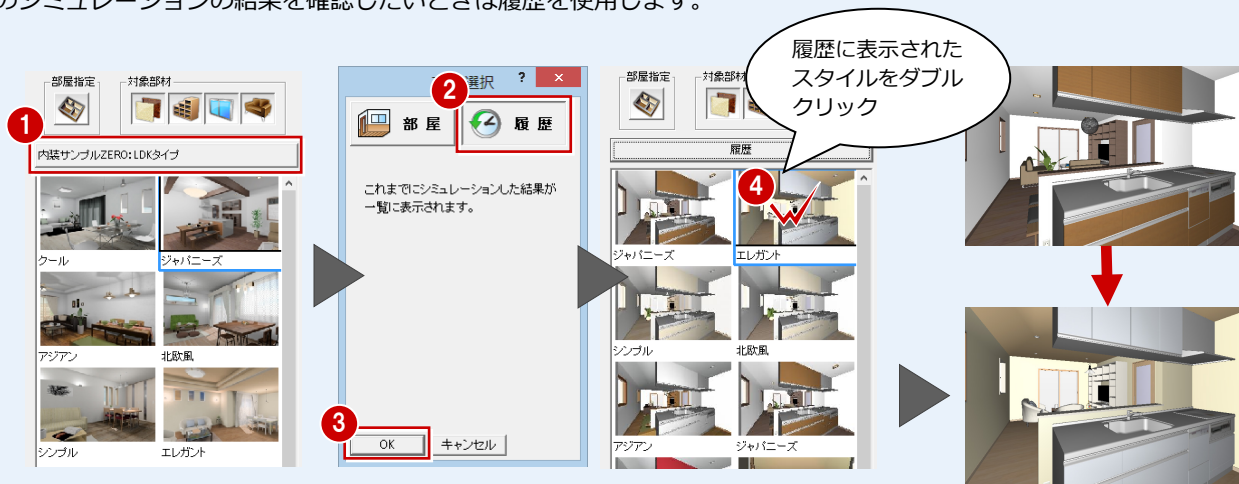
フローティングバーの  をクリックして、データを保存します。



【補足】内装シミュレーションでよく使用する機能

■ 履歴からスタイルを選ぶ

前のシミュレーションの結果を確認したいときは履歴を使用します。



■ 視点コントローラを使用する

パースモニターと同様に、視点コントローラを使用してアングルを変更したい場合は、プルダウンメニューから「表示」の「視点コントローラ表示」を選びます。

■ レンダリングを実行する

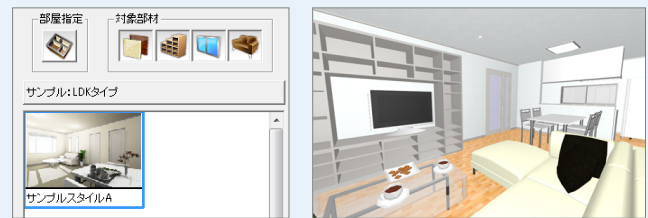
プルダウンメニューから「ツール」の「レンダリング」を選びます。ただし、品質レベルや太陽光は設定できません。なお、結果を画像に保存する場合は、プルダウンメニューから「ファイル」の「画像印刷/保存」を選びます。

⇒ 画像の保存の操作については、「リフォームプラン作成編」P.19 参照

【補足】スタイルを編集するには

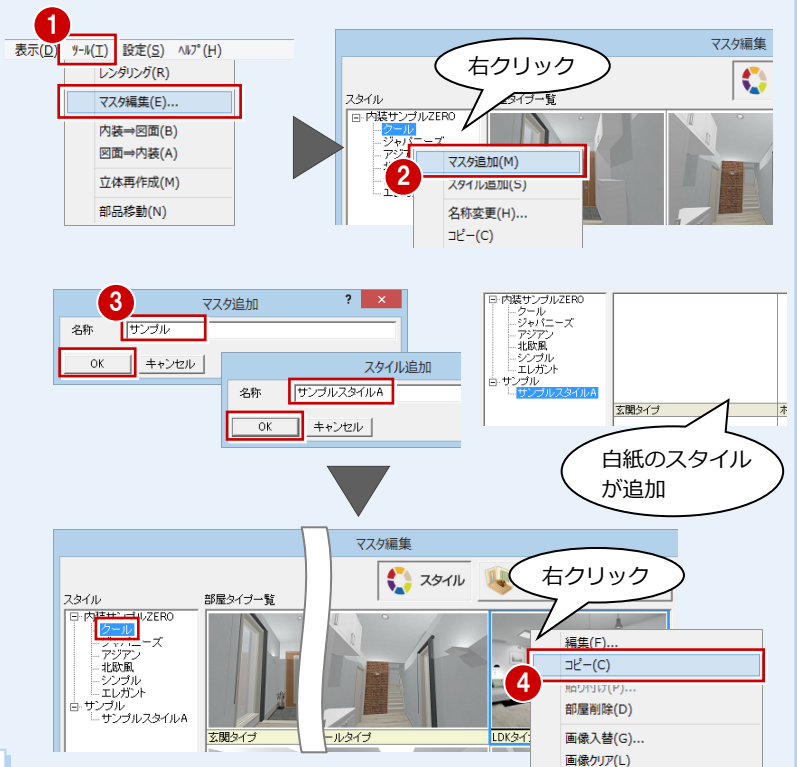
スタイルに登録されている内壁仕上の素材、建具、部品などを変更することができます。

ここでは、既存の LDK タイプのスタイルを複製して、素材を変更する操作を解説します。



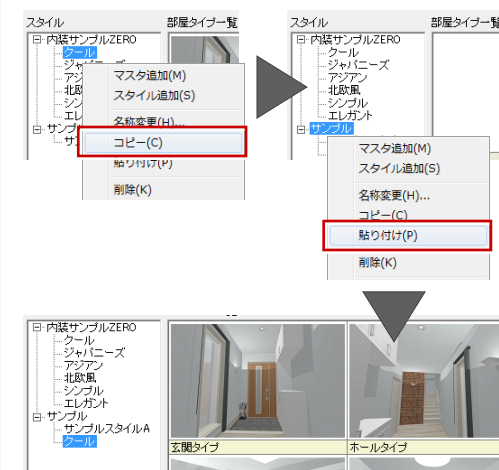
— 既存のスタイルを複製する —

- 1 プルダウンメニューから「ツール」の「マスタ編集」を選びます。
- 2 「スタイル」で右クリックして、「マスタ追加」を選びます。
- 3 ダイアログで追加するマスタ名称、スタイル名称を入力して、「OK」をクリックします。
- 4 複製するスタイルを右クリックして、「コピー」を選びます。
- 5 複製先となるスタイルで右クリックして、「貼り付け」を選びます。
- 6 設定を確認して、「OK」をクリックします。



スタイルごとのコピー

玄関、ホール、LDK などすべてのタイプをコピーしたい場合は、スタイルごとコピーします。



シミュレートした結果を取り込む

シミュレートした結果をスタイルとして保存することもできます。

登録するシミュレートの結果を表示している状態で、登録する部屋タイプを右クリックして、「内装パースからデータ取込」を選びます。

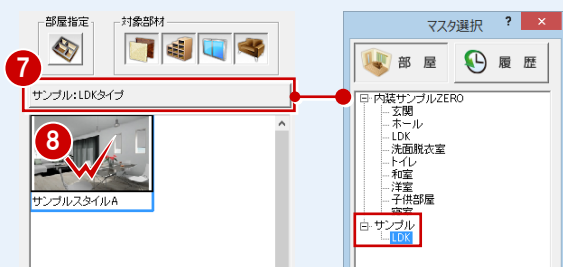


— スタイルの内容を編集する —

- 1 編集するスタイルを選び、「編集」をクリックします。
- 2 「仕上」タブで仕上を設定します。
ここでは、「天井」「壁」「床」の仕上を変更します。
- 3 「次へ」をクリックします。
- 4 「建具」タブで使用する建具、建具色を設定して、「次へ」をクリックします。
ここでは、確認のみとします。
- 5 「部品・シンボル」タブで使用する部品、造作部材などの素材を設定して、「完了」をクリックします。
ここでは、確認のみとします。
- 6 「OK」をクリックします。



- 7 8 登録したマスタのスタイルに切り替えて、シミュレートします。



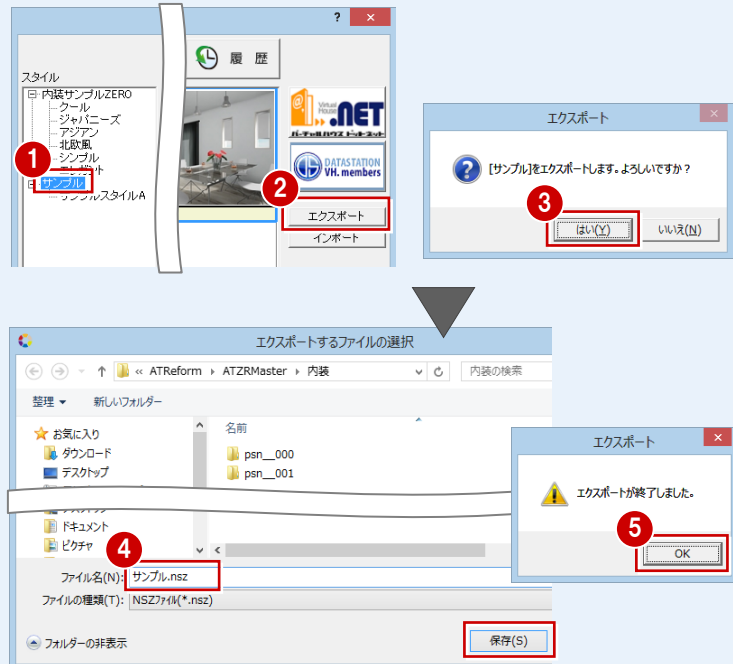
【補足】スタイルを他のマシンでも使用するには

作成したマスタを他のマシンで使用したい場合は、「エクスポート」「インポート」を使用します。

— マスタをエクスポートする —

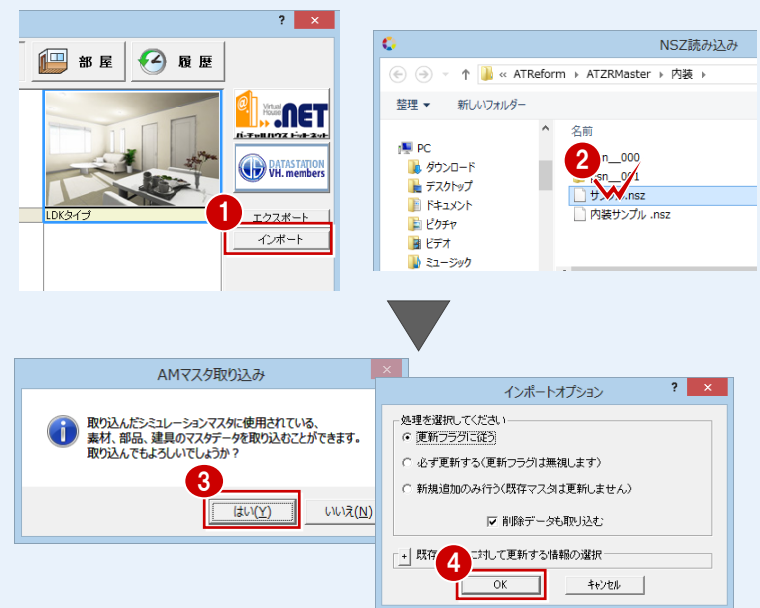
- 1 エクスポートするマスタを選びます。
- 2 「エクスポート」をクリックします。
- 3 確認画面で「はい」をクリックします。
- 4 ファイル名を入力して、「保存」をクリックします。
- 5 確認画面で「OK」をクリックします。

※ エクスポートしたファイルを使用するマシンにコピーします。



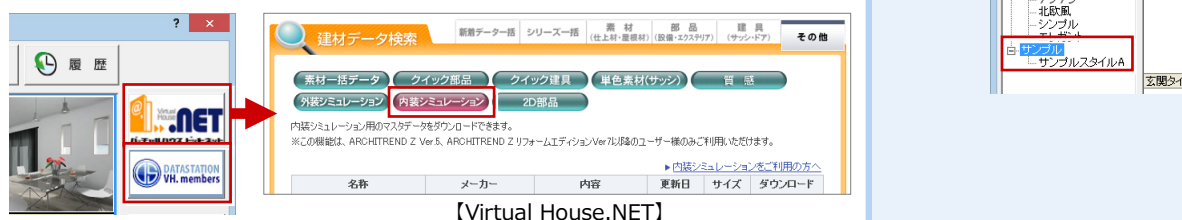
— マスタをインポートする —

- 1 「インポート」をクリックします。
- 2 マスタファイル (*.nsz) をダブルクリックします。
- 3 確認画面で「はい」をクリックします。
- 4 続けて、「更新フラグに従う」がONであることを確認して、「OK」をクリックします。
マスタがインポートされます。



Virtual House.NET と DATA STATION

「Virtual House.NET」(無料)、「DATA STATION」(有料)にも内装シミュレーションのマスタが用意されています。こちらをダウンロードし、インポートしてお使いください。



【Virtual House.NET】

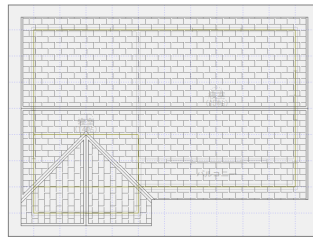
4

屋根・天井の入力例

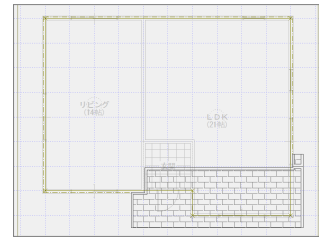
ユニット屋根、ユニット天井の入力、屋根・天井専用の編集機能を使用して、よくある屋根と天井の入力例を紹介します。

※ この章の完成データを使用するには、リフォームエディションのヘルプから表示されるマニュアルサイトからファイルを一括ダウンロードして、ファイル内の「ReformEdition.mgz」をマネージャーで取り込んでください（取り込み方法は、Manager 編 P.8「お客様データをリストアする」を参照）。

4-1 「屋根」 L字型の切妻屋根の作成



【屋根伏図 2階】

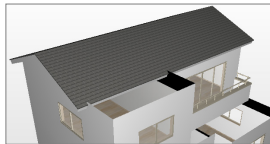


【屋根伏図 1階】

ユニット切妻屋根を入力する

－ 1つ目の屋根を入力する －

- ① 「外装リフォーム」タブの「屋根」をクリックします。
- ② 「軒線自動配置」ダイアログが表示されたら、「キャンセル」をクリックします。
- ③ 「ユニット屋根」の「切妻」を選びます。
- ④ L字型に組み合わせるため、「けらばの出」「軒の出」の値を揃えておきます。ここでは「455」に変更します。
外部標準マスタは、「18 コロニアル葺_サイディング横」を選択します。
- ⑤ 切妻屋根の妻側となる1点目と2点目、奥行をクリックします。



軒線自動配置

- 軒線
- 対象: 現階部屋
- 部屋線から軒線(勾配基準)までの距離

① 外装リフォーム

② キャンセル

③ ユニット屋根

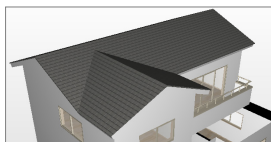
④ けらばの出 軒の出

けらばの出	軒の出
455.0 mm	455.0 mm

⑤

－ 2つ目の屋根を入力する －

- ① 「他の屋根と取り合う」がONであることを確認します。
- ② 切妻屋根を入力します。



軒高土 0.0 mm

勾配 4.00 / 10

けらばの出 軒の出

けらばの出	軒の出
455.0 mm	455.0 mm

① ②

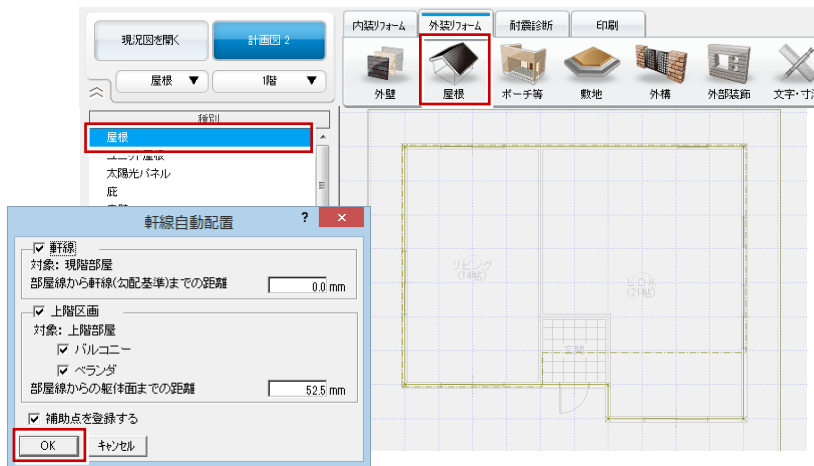
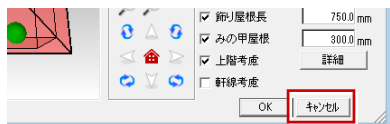
1 階屋根を個別入力する

「屋根」の「屋根」をクリックして、1階に軒線を自動配置します。

— 軒線を自動配置する —

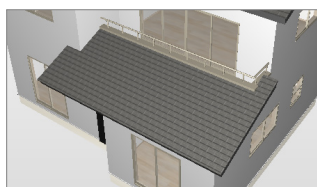
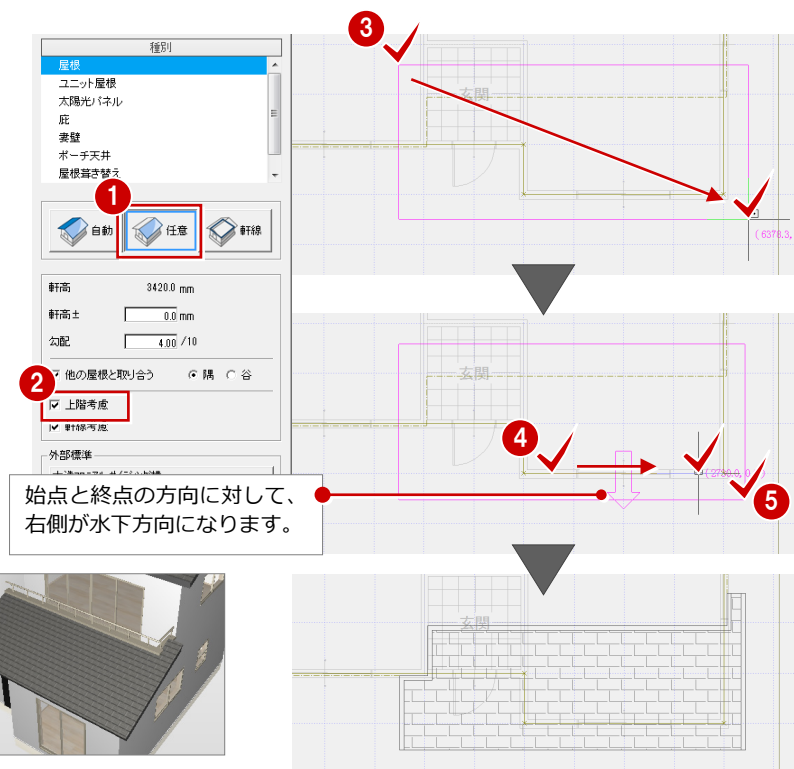
⇒ 操作については、「外装リフォーム編」P.9 参照

※ 「形状設定」ダイアログでは「キャンセル」をクリックします。



— 片流れ屋根を個別入力する —

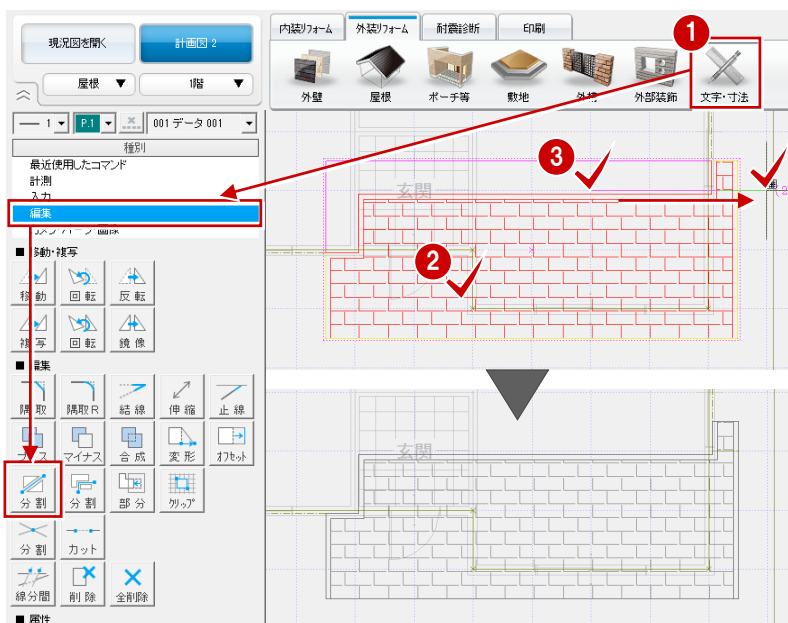
- 1 「任意」が ON の状態になっていることを確認します。
- 2 「上階考慮」を ON にします。
- 3 屋根の領域の範囲を指定します。
- 4 勾配基準の始点と終点をクリックします。
- 5 目地の基準点の位置をクリックします。



1 階を折り返し屋根に変更する

— 屋根を分割する —

- 1 「文字・寸法」をクリックして、「編集」の「分割」を選びます。
- 2 屋根をクリックします。
- 3 棟となるラインを指定して、屋根を分割します。

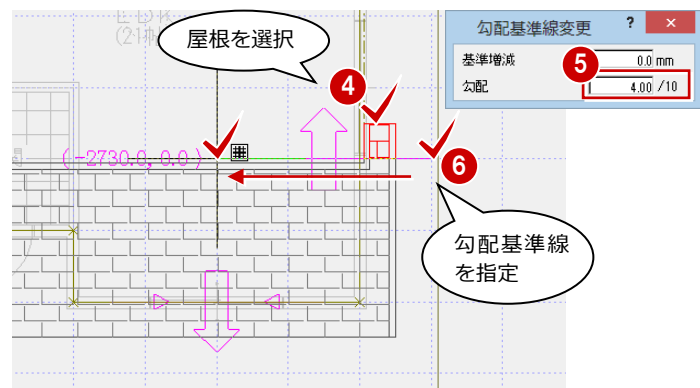
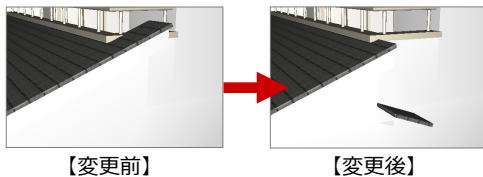
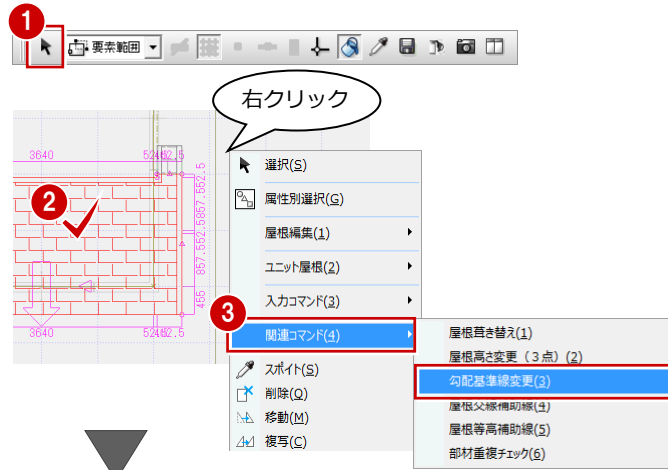


4 屋根・天井の入力例

— 屋根の勾配基準線を変更する —

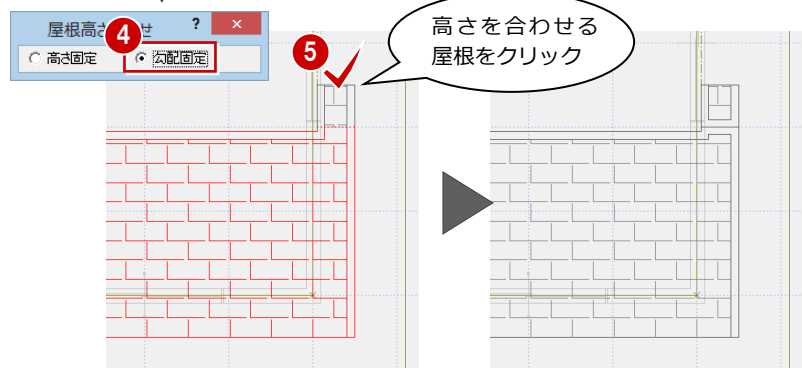
屋根の編集機能を使用するには、屋根を選ぶ必要があります。

- ①② 屋根を選択します。
- ③ 右クリックして、「関連コマンド」の「勾配基準線変更」を選びます。
- ④ 勾配を変更する屋根をクリックします。
- ⑤ 「勾配」が「4.00」であることを確認します。
- ⑥ 勾配基準線の位置を指定します。
屋根の勾配方向が変更されます。



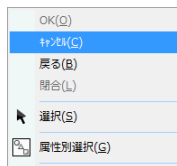
— 屋根の高さを合わせる —

- ①② 基準となる屋根を選択します。
- ③ 右クリックして、「屋根編集」の「屋根高さ合わせ」を選びます。
- ④ 「勾配固定」をONにします。
- ⑤ 合わせる屋根をクリックします。
屋根の高さが合わせられます。



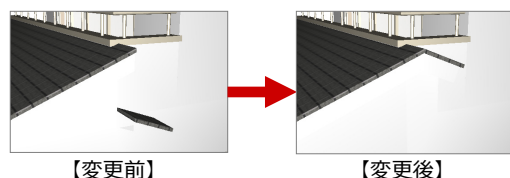
基準となる屋根の選択を解除するには

操作②の基準屋根の指定をやり直したい場合は、右クリックして「キャンセル」を選び、基準屋根 ⇒ 合わせる屋根を順に指定します。



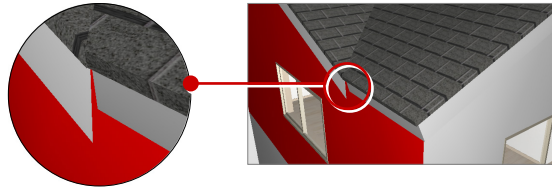
屋根の高さ合わせの方法

屋根の高さ合わせの「高さ固定」「勾配固定」については、P.43を参照してください。



軒先の納まりを変更する

立体を確認すると、軒先がうまく納まっていません。このようなときは、屋根の軒先形状を変更します。



※ パースモニタを確認した後は、「外装リフォーム」タブに戻り、「屋根」を選びます。

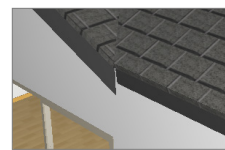
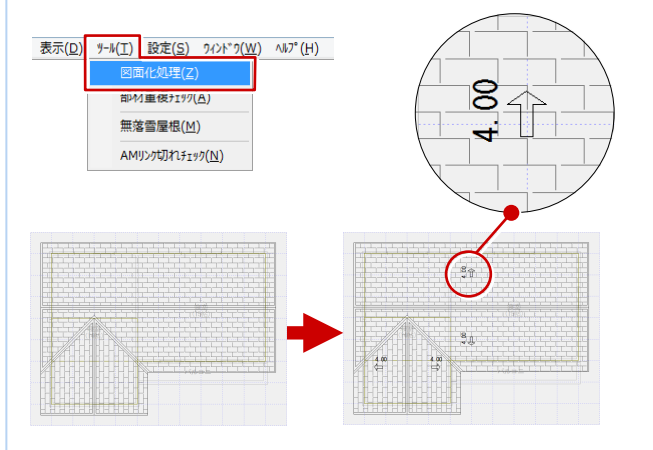
- 1 屋根データだけを選択します。
- 2 「軒先形状」の「鉛直」をONにします。
- 3 「一括変更」をクリックします。
- 4 「軒先形状」を選んで、「OK」をクリックします。



屋根に勾配を描画するには

「ユニット屋根」を使用して配置した屋根、個別に入力した屋根には、勾配が描画されません。

勾配は、プルダウンメニューの「ツール」の「図面化処理」で描画します。CAD画面で右ダブルクリックしても描画できます。

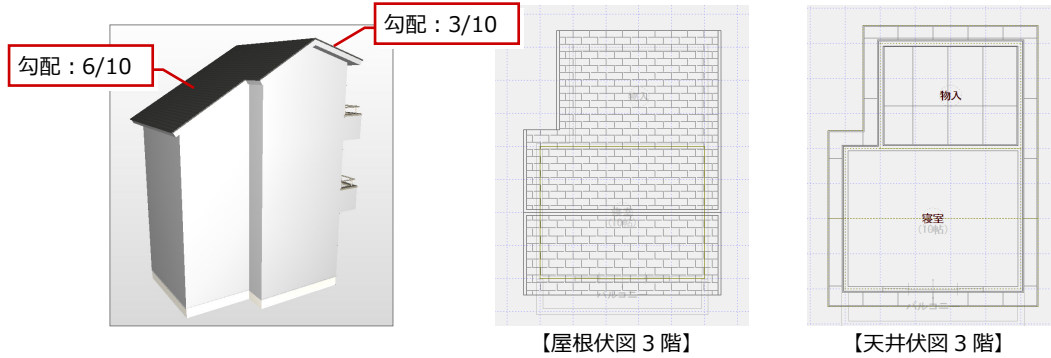


【変更前】



【変更後】

4-2 「屋根」大屋根の作成



ユニット切妻屋根を入力する

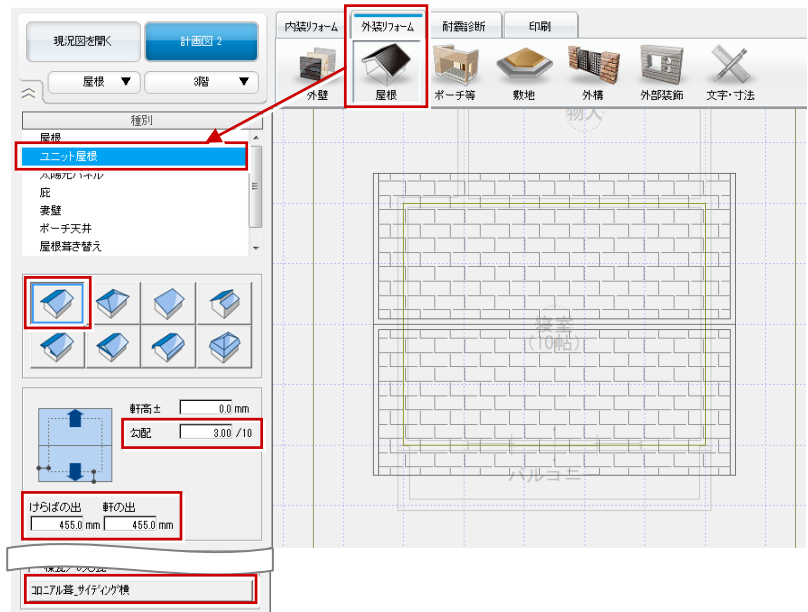
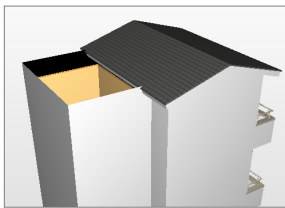
「外装リフォーム」タブをクリックして、「屋根」の「ユニット屋根」を選び、ユニット切妻屋根を入力します。

「勾配」: 3.0

「けらばの出」「軒の出」: 455

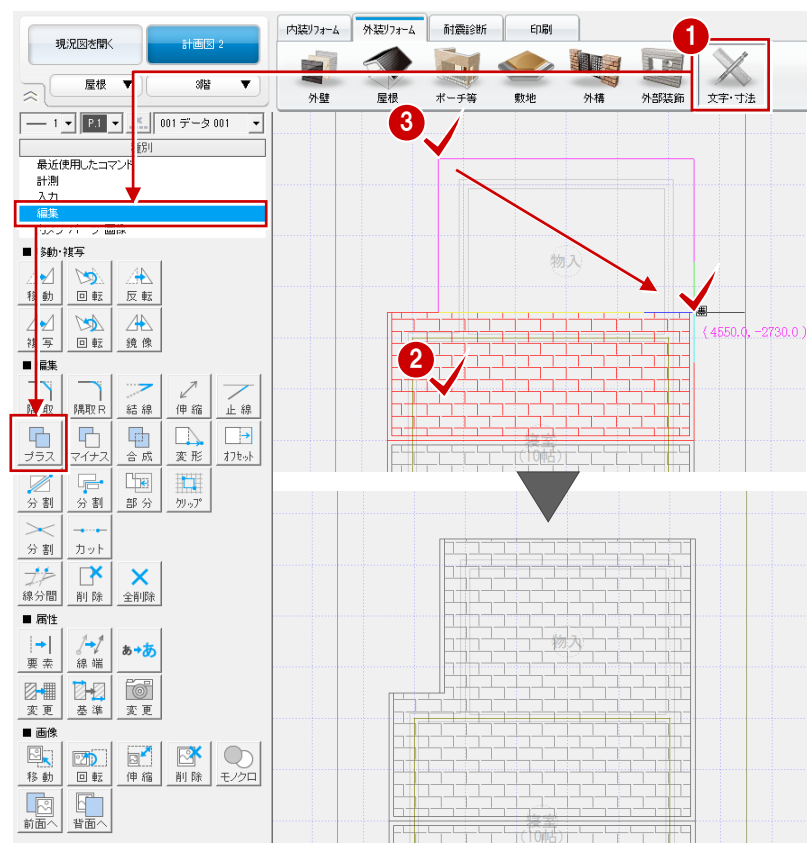
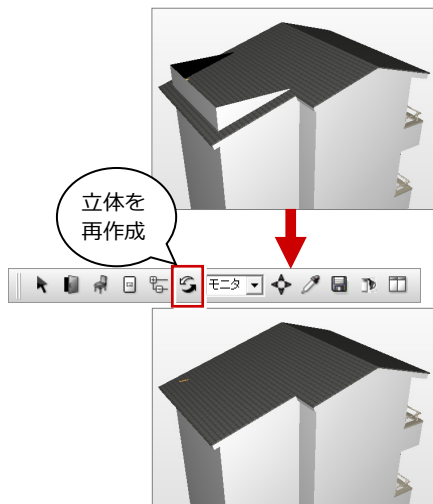
「外部標準マスタ」:

18 コロニアル葺_サイディング横



屋根の領域を広げる

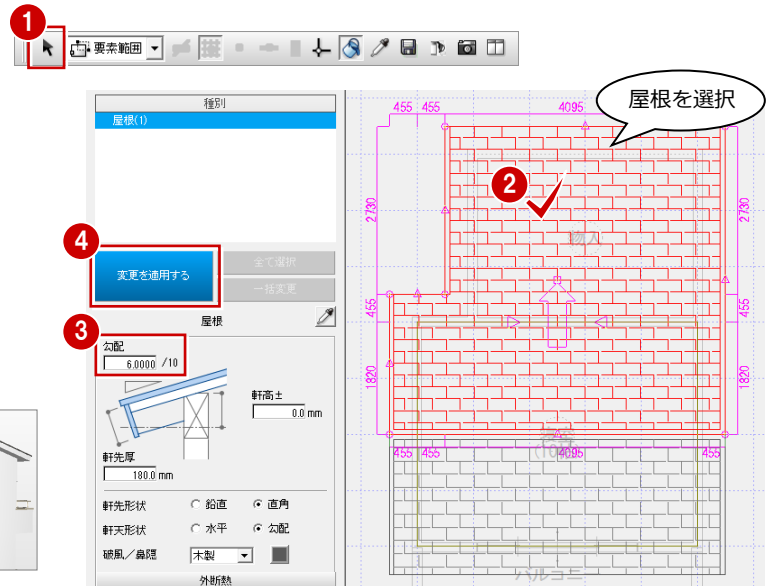
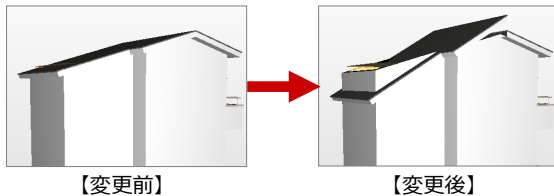
- 「文字・寸法」をクリックして、「編集」の「プラス」を選びます。
- 広げる側の屋根をクリックします。
- 追加する領域の始点 ⇒ 終点をクリックします。



勾配変更と屋根の高さ合わせ

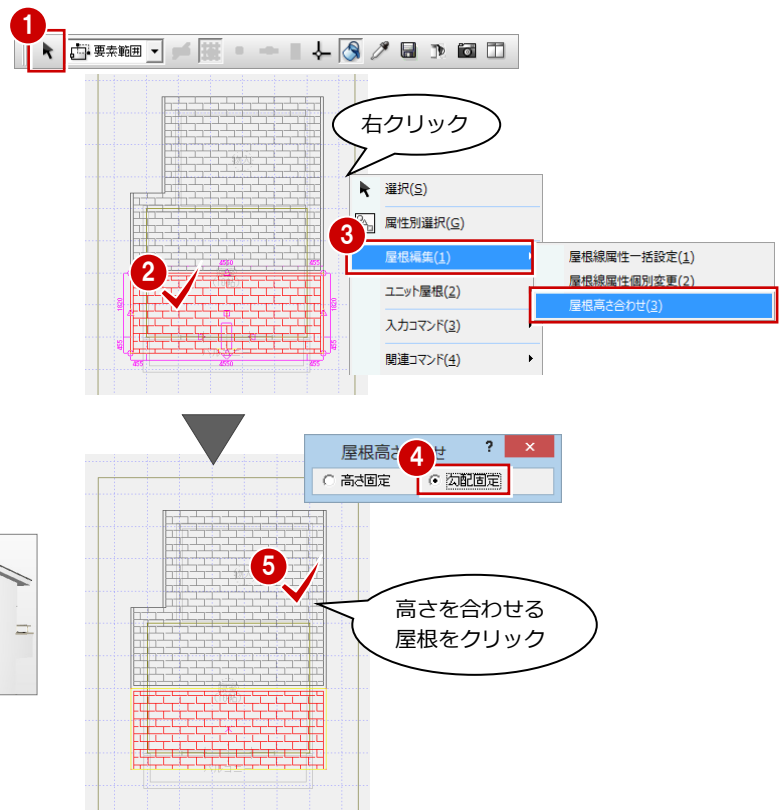
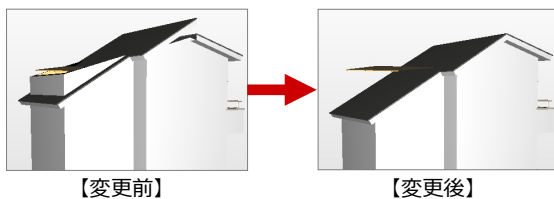
— 屋根の勾配を変更する —

- ①② 勾配を変更する屋根を選択します。
- ③ ここでは、「勾配」を「6.0」に変更します。
- ④ 「変更を適用する」をクリックします。



— 屋根の高さを合わせる —

- ①② 基準となる屋根を選択します。
- ③ 右クリックして、「屋根編集」の「屋根高さ合わせ」を選びます。
- ④ 「勾配固定」をONにします。
- ⑤ 合わせる屋根をクリックします。屋根の高さが合わせられます。



屋根の高さ合わせの方法

「屋根高さ合わせ」ダイアログの「高さ固定」「勾配固定」の設定について解説します。

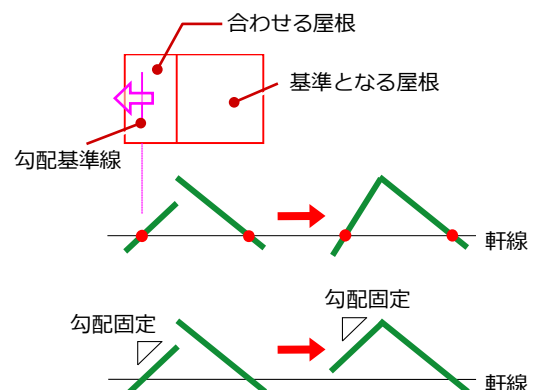


「高さ固定」

勾配基準位置の高さを固定して、屋根の高さを合わせます。そのため、屋根の勾配は変更されます。

「勾配固定」

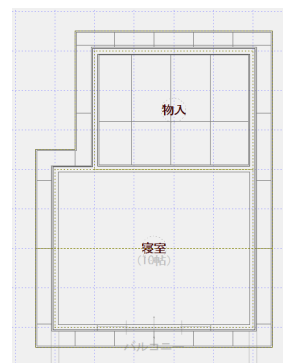
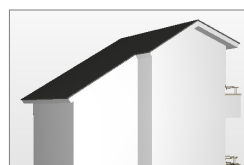
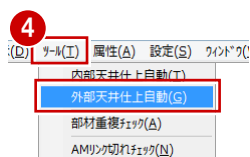
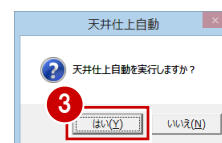
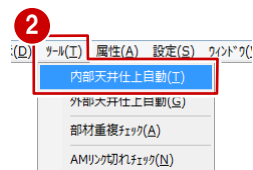
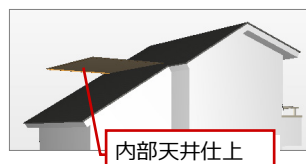
勾配を固定して屋根の高さを合わせます。そのため、屋根の勾配基準位置の高さは変更されます。



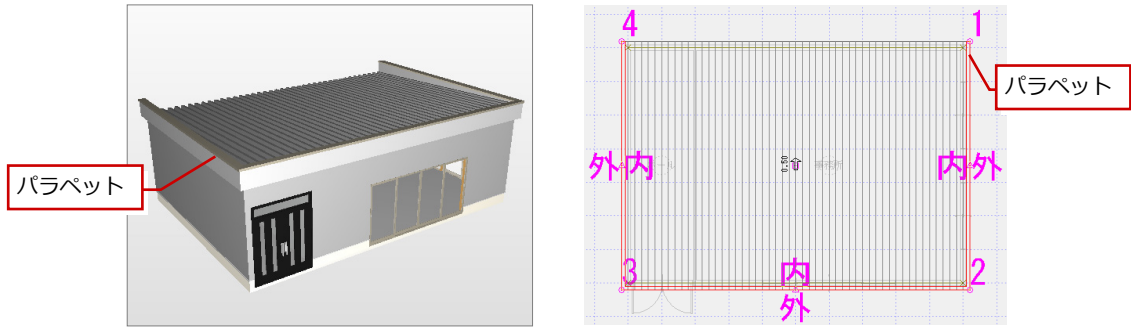
天井仕上を再作成する

ここでは、3階天井仕上を再作成します。

- ① 「図面の切り替え」から「天井」を選び、「3階」に変更します。
- ② プルダウンメニューから「ツール」の「内部天井仕上自動」を選びます。
- ③ 確認画面で「はい」をクリックします。
- ④ 続けて、「ツール」の「外部天井仕上自動」を選び、外部天井仕上を再作成します。



4-3 「屋根」陸屋根と3方向のパラペットの作成



陸屋根を入力する

- 1 「外装リフォーム」タブの「屋根」をクリックします。
- 2 「軒線自動配置」ダイアログの「OK」をクリックします。
- 3 「陸屋根切替」をクリックして、陸屋根タイプに切り替えます。
- 4 ここでは、次のように設定して「OK」をクリックします。

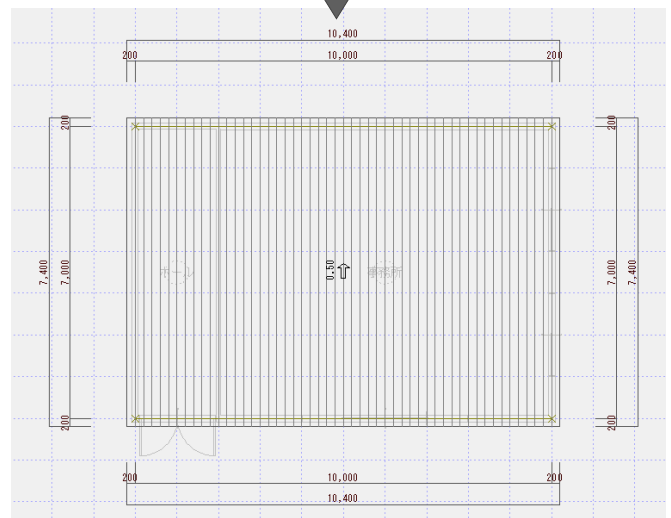
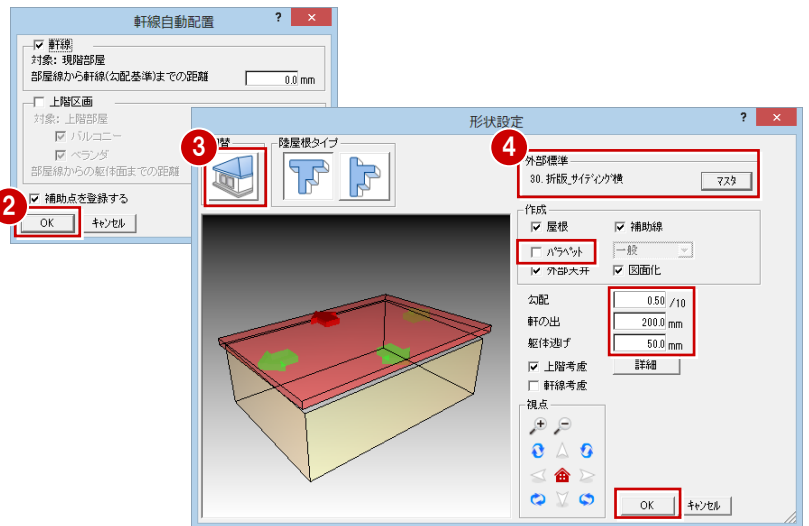
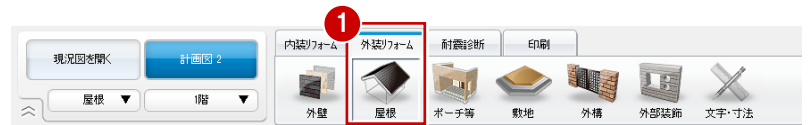
「外部標準」：30 折版_サイディング横

「パラペット」：OFF

「勾配」：0.5

「軒の出」：200

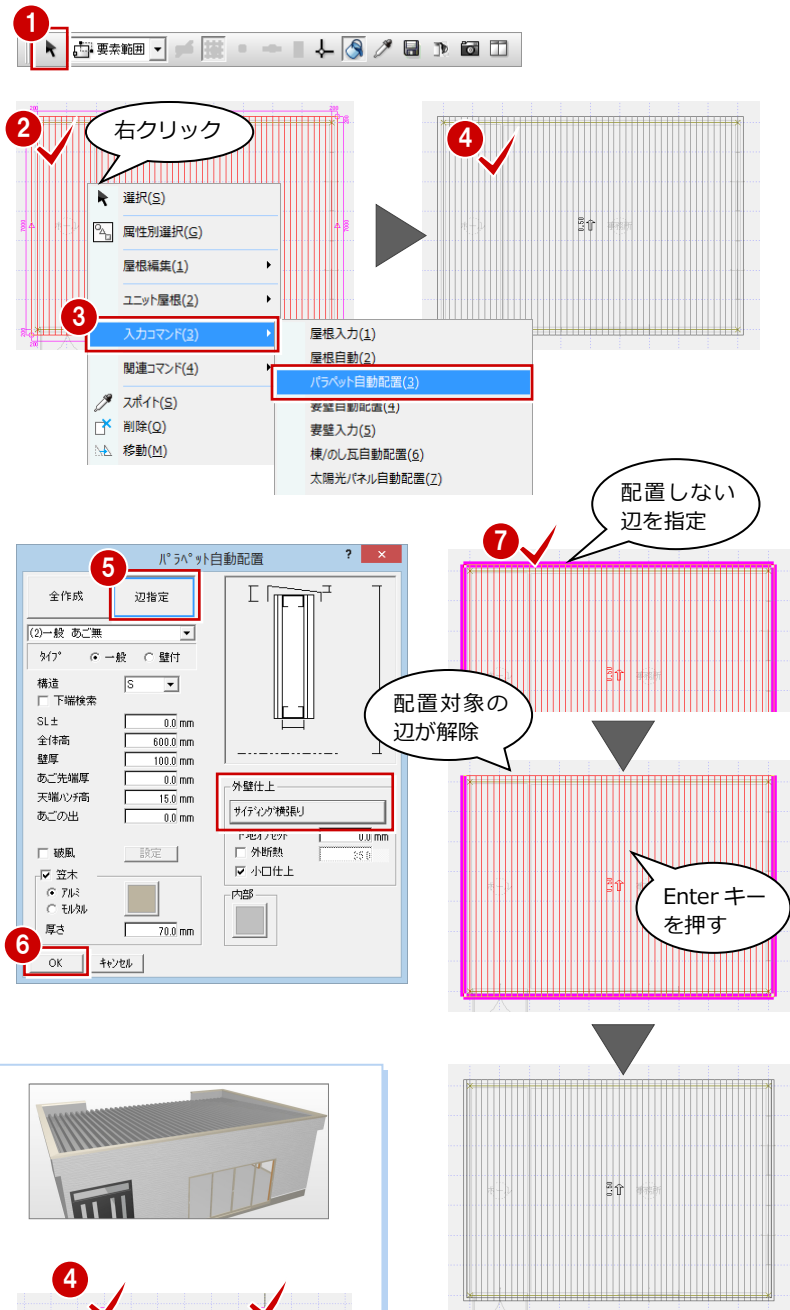
「躯体逃げ」：50



パラペットを入力する

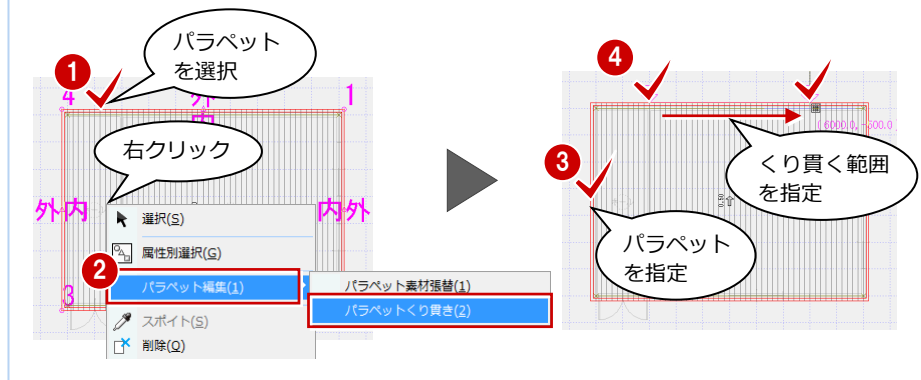
パラペットを入力するには、屋根を選ぶ必要があります。

- 1 2 屋根を選択します。
- 3 右クリックして、「入力コマンド」の「パラペット自動配置」を選びます。
- 4 再度、屋根をクリックします。
- 5 「辺指定」をクリックします。
- 6 パラペットの全体高や仕上などを設定して「OK」をクリックします。
- 7 パラペットを配置しない辺をクリックして、Enter キーを押します。



パラペットをくり貫くには

右図のようにパラペットの一部をくり貫くには、パラペットを右クリックして、「パラペット編集」の「パラペットくり貫き」を選びます。

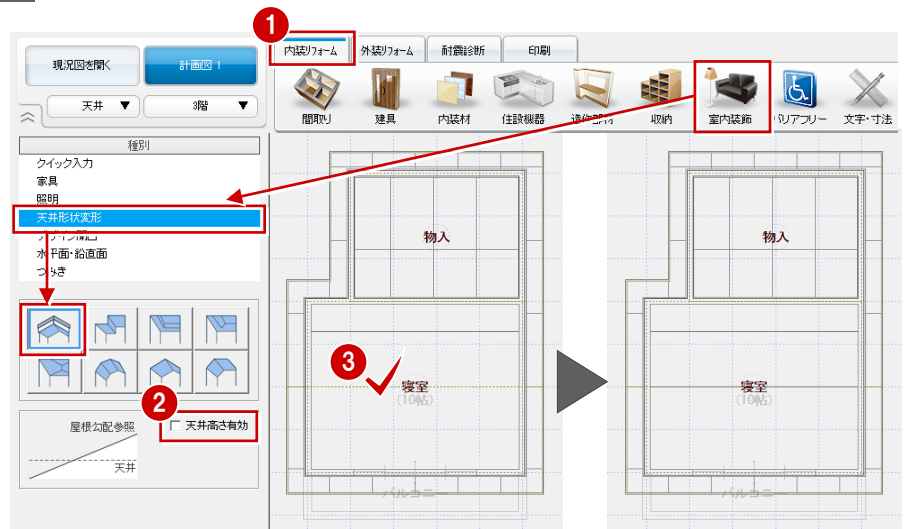


4-4 「天井」屋根勾配に合わせた勾配天井の作成



屋根勾配を参照する

- 1 「内装リフォーム」タブの「室内装飾」をクリックして、「天井形状変形」の「屋根」を選びます。
- 2 「天井高さ有効」がOFFであることを確認します。
- 3 勾配を変更する内部天井仕上の領域をクリックします。



勾配に沿って照明部品を入力するには

ダウンライトなどの照明部品を天井の勾配に沿って入力する場合は、「傾斜配置」をONにしてから入力します。「傾斜配置」がOFFの場合、天井仕上に埋もれてしまいます。

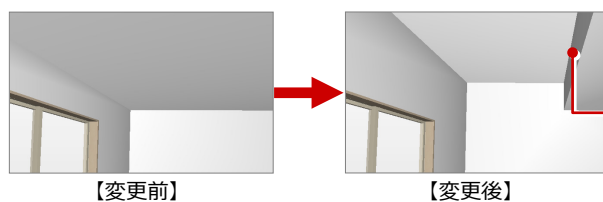
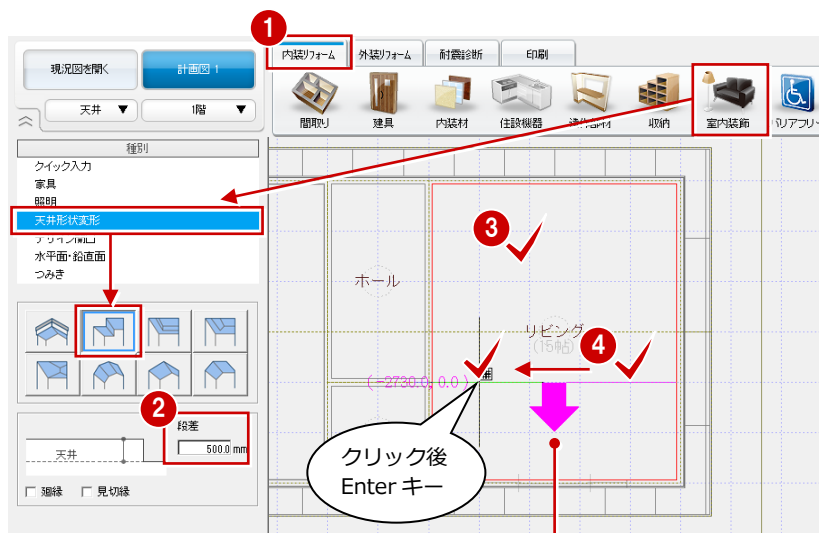


4-5 「天井」 段差・勾配天井の作成



段差天井を作成する

- ① 「内装リフォーム」タブの「室内装飾」をクリックして、「天井形状変形」の「段差」を選びます。
- ② ここでは「段差」を「500」に変更します。
- ③ 内部天井仕上げをクリックします。
- ④ 段差の基準となる切断線の始点 ⇒ 終点をクリックして、Enter キーを押します。



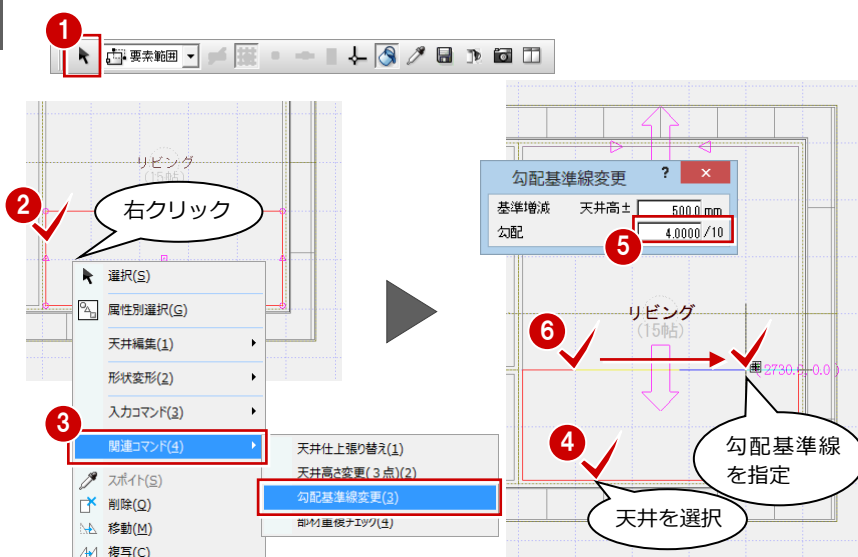
矢印の方向の天井に段差を付けます。

鉛直部分にも天井仕上がりが自動的に作成されます。

勾配天井を作成する

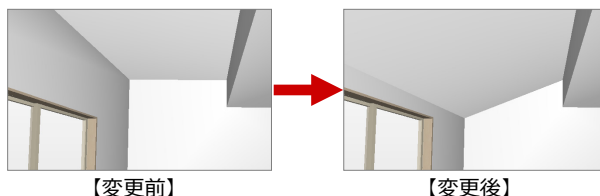
天井の編集機能を使用するには、天井仕上げを選ぶ必要があります。

- ①② 天井を選択します。
- ③ 右クリックして、「関連コマンド」の「勾配基準線変更」を選びます。
- ④ 勾配を変更する天井をクリックします。
- ⑤ ここでは「勾配」を「4.0」に変更します。
- ⑥ 勾配基準線の位置を指定します。天井の勾配方向が変更されます。

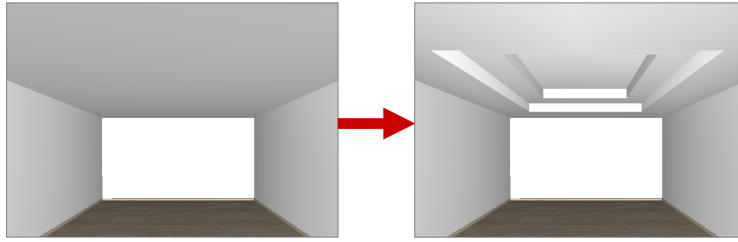


屋根参照

「室内装飾」の「天井形状変更」の「屋根」を使用すると、屋根勾配に合わせた勾配天井を作成することもできます (⇒ P.47)。

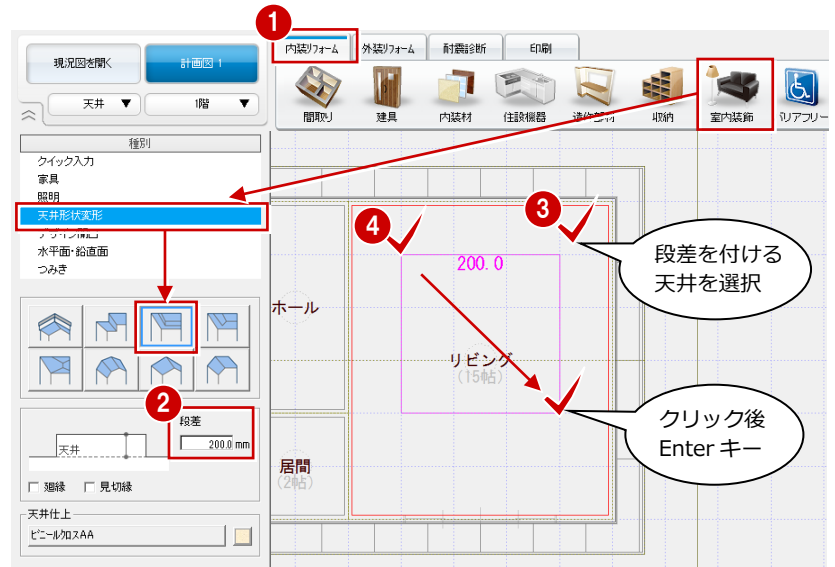


4-6 「天井」折上天井の作成




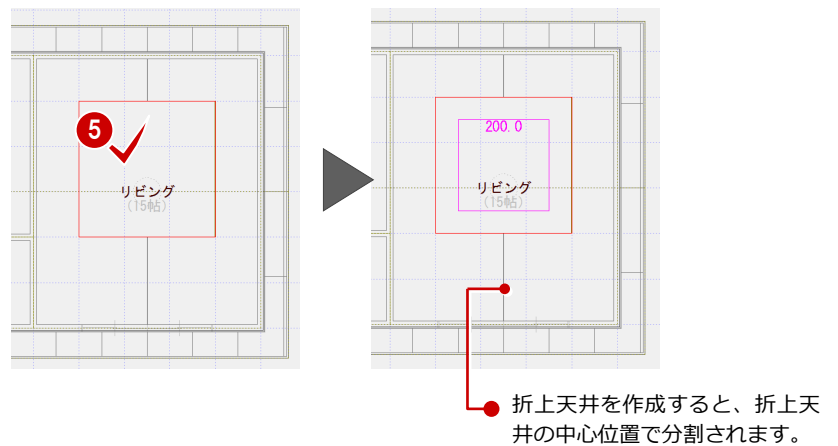
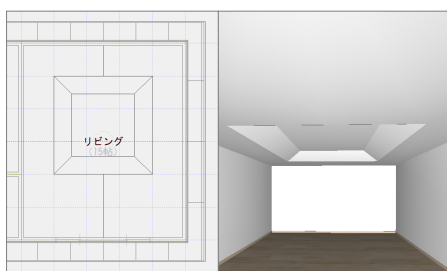
折上天井を作成する

- ① 「内装リフォーム」タブの「室内装飾」をクリックして、「天井形状変形」の「折上1」を選びます。
- ② ここでは「段差」を「200」に変更します。
- ③ 内部天井仕上をクリックします。
- ④ 折上天井の領域の始点 ⇒ 終点をクリックして、Enter キーを押します。
- ⑤ 2 段の折上天井としたい場合は、続けて天井仕上を指定して、同様に操作します。



勾配ありの折上天井

勾配ありの折上天井したい場合は、 「折上2」を使用します（操作は、「折上1」と同様）。



5

オリジナルの図枠作成

ここでは、オリジナルの図枠の作成方法とその図枠の登録方法を解説します。

【変更前の図枠 (スタンダード「A3_04」)】

【変更後の図枠】

5-1 図枠のデザイン

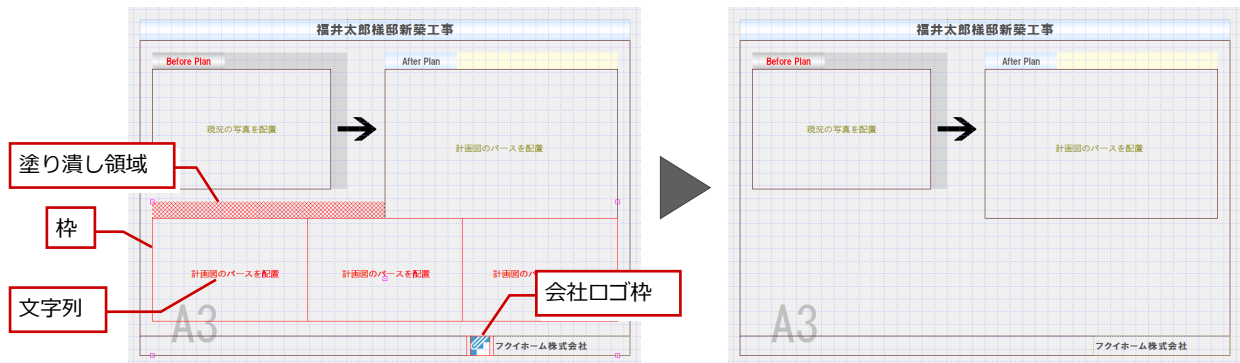
図枠を配置する

「印刷」タブをクリックして、「図面」の「図枠配置」を選んで図枠を配置します。
 ここでは、「2:スタンダード」タブの「A3_04」の図枠を使用します。

⇒ 図枠の配置については、「リフォームプラン作成編」P.26 参照

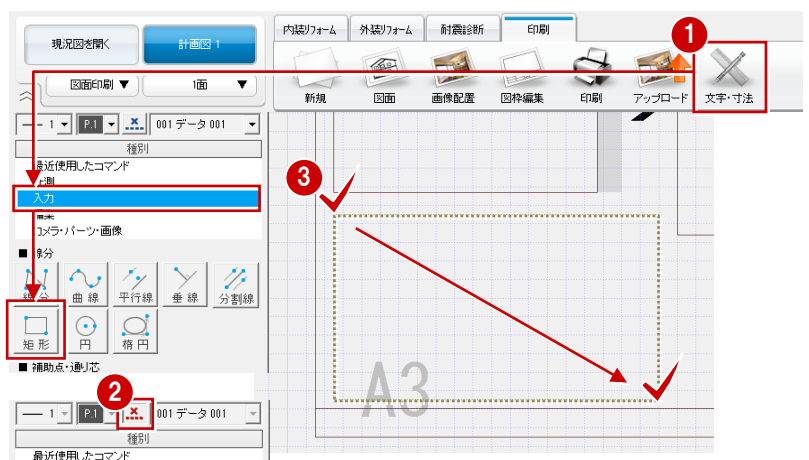
不要なデータを削除する

ここでは、次図に示す塗り潰し領域、枠、文字列、会社ロゴ枠を削除します。



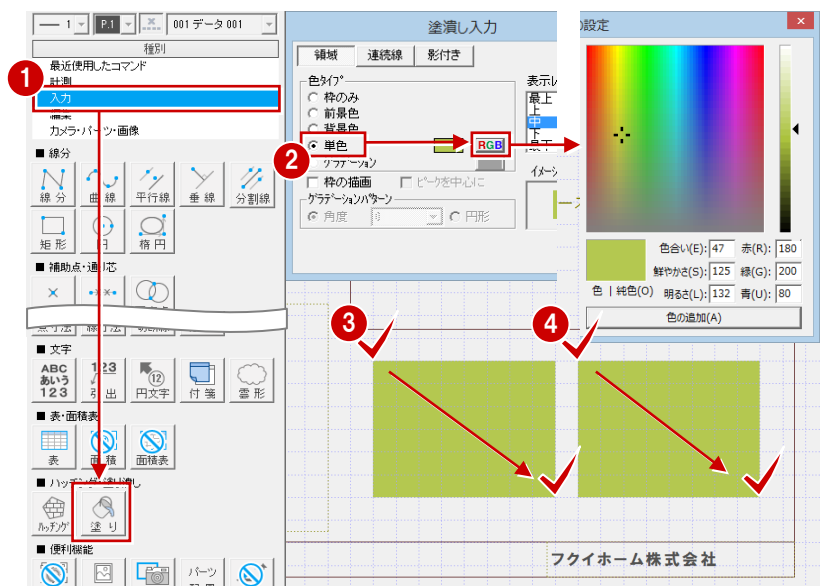
矩形枠を配置する

- 「文字・寸法」をクリックして、「入力」の「矩形」を選びます。
- をクリックして ON にし、補助線（不出力）に切り替えます。
- 矩形の始点と対角点をクリックします。矩形枠を配置し終わったら、 をクリックして OFF にしておきましょう。



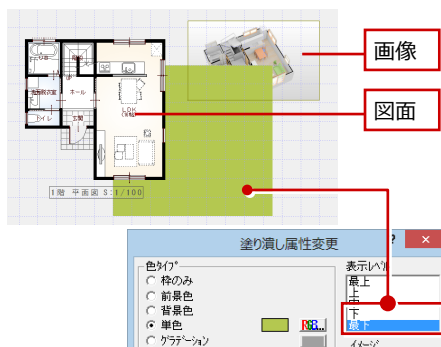
塗り潰し領域を配置する

- 「入力」の「塗り」を選びます。
- 「塗り潰し入力」ダイアログの「単色」を ON にして、「RGB」で色を設定します。
- 4 矩形の始点と対角点をクリックします。



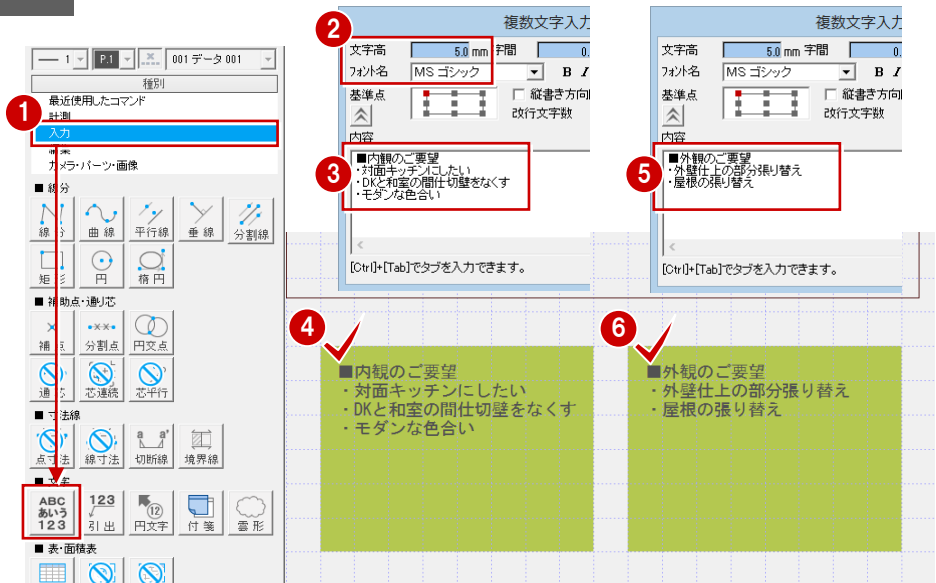
塗り潰しと図面・画像を重ねた場合

画像は、塗り潰し領域の上に表示できません。また、図面に部屋の塗り潰しがある場合は、塗り潰し領域の「表示レベル」を「下」または「最下」にすることで、図面を上に表示できます。



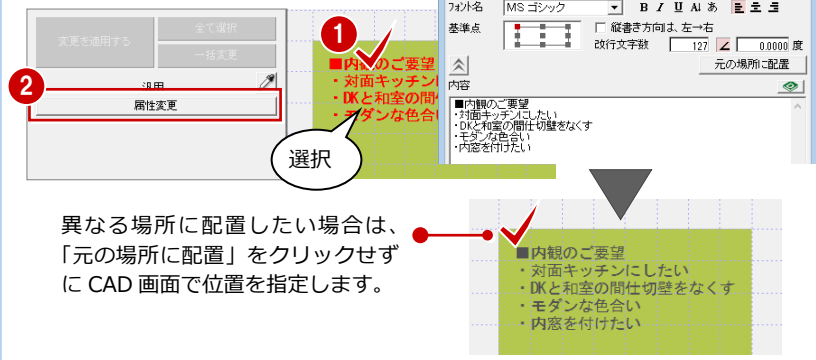
文字列を入力する

- 1 「入力」の「文字」を選びます。
- 2 「複数文字列入力」ダイアログで文字高、フォントなどを設定します。
- 3 「内容」に記載する内容を入力します。
- 4 文字列の配置位置をクリックします。
- 5 6 同様に、「内容」を変更して文字列を配置します。



配置した内容を変更するには

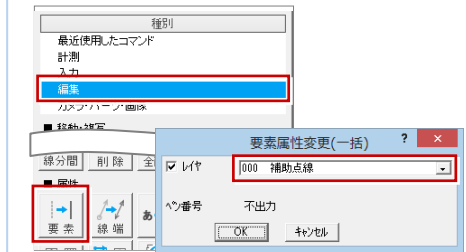
次のように操作します。



異なる場所に配置したい場合は、「元の場所に配置」をクリックせずにCAD画面で位置を指定します。

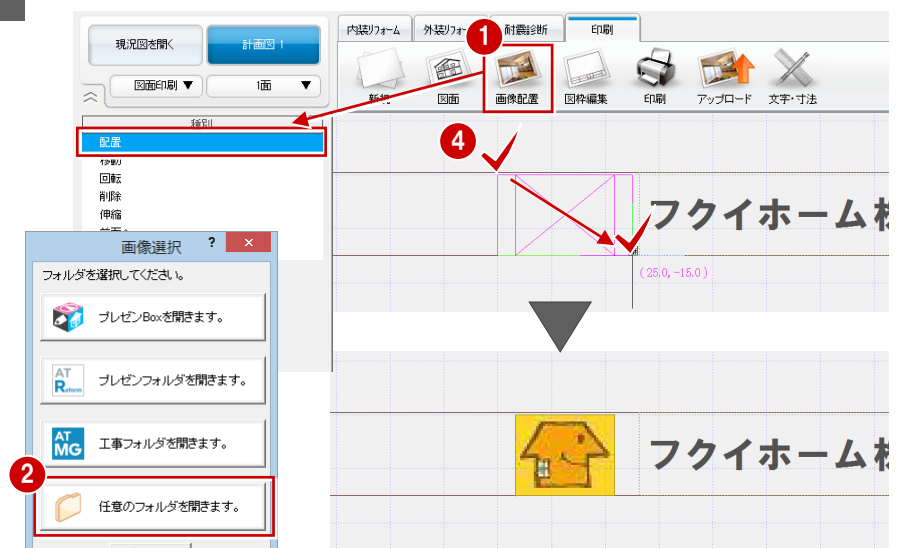
文字列を不出力にするには

要素「要素属性変更」を使用します。「要素属性変更」ダイアログの「レイヤ」で「補助点線」を選ぶと、不出カデータとなります。



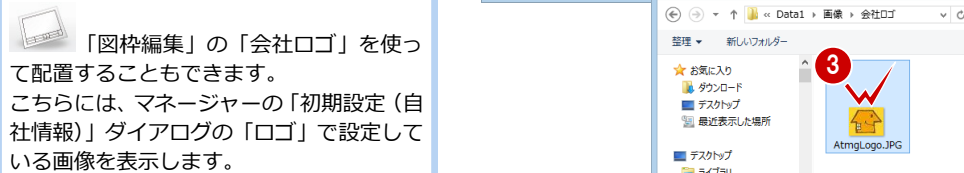
会社ロゴの画像を配置する

- 1 「画像配置」をクリックして、「配置」を選びます。
- 2 「画像選択」ダイアログで「任意のフォルダを開きます。」をクリックします。
- 3 画像をダブルクリックして選択します。
- 4 画像を配置する範囲を矩形で入力します。
ここで指定した範囲に納まるように画像が配置されます。



その他の会社ロゴの配置方法

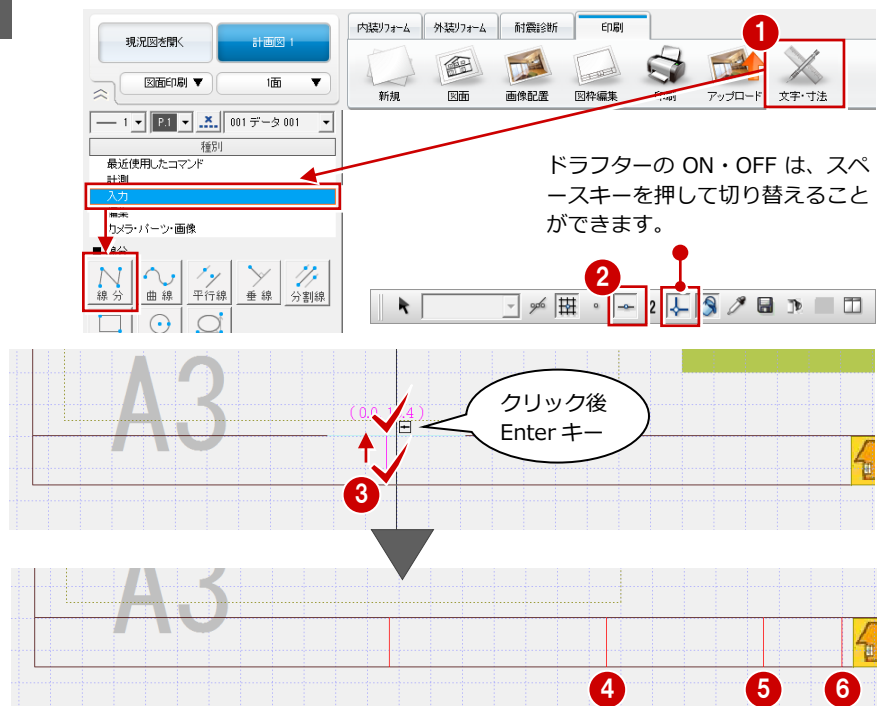
「図枠編集」の「会社ロゴ」を使って配置することもできます。こちらには、マネージャーの「初期設定（自社情報）」ダイアログの「ロゴ」で設定している画像を表示します。



5-2 図枠項目・図面の配置

線分を入力する

- 「文字・寸法」をクリックして、「入力」の「線分」を選びます。
- 「線上ピック」「ドラフター」をONにします。
- 線分の始点と終点をクリックして、Enterキーを押します。
ここでは、図枠の線上を指定して、任意の位置に入力します。
- ～6 同様に、残りの線分を入力します。



ドラフターの ON・OFF は、スペースキーを押して切り替えることができます。

図枠項目を配置する

- 「図枠編集」をクリックして、「図枠項目」を選びます。
- 図枠項目（ここでは「施主氏名」）を選びます。
- 「左右」「上下」で「中央」がONであることを確認します。
- 「文字高」を設定します。
- 配置する枠内をクリックします。
- ～8 同様に、残りの項目を配置します。
- 図枠項目の内容を表示するには、「図面」をクリックします。

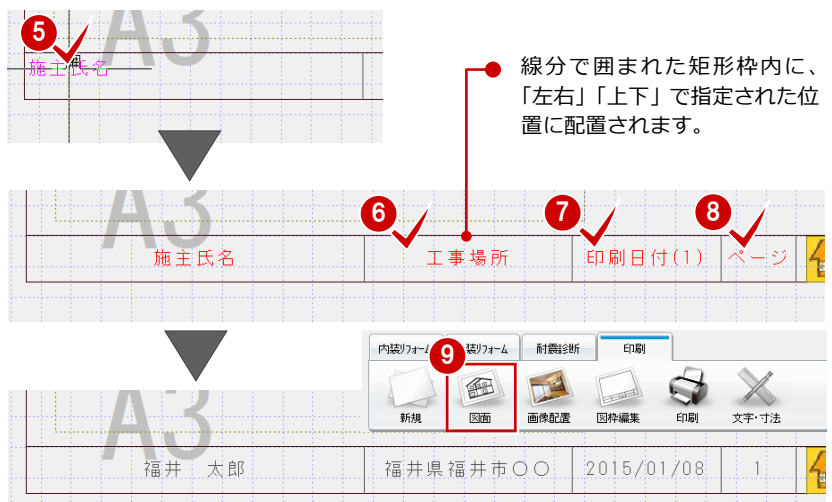


図枠項目の「補正」の設定について

「なし」: 枠の横幅に収まらないときでも、補正をしないで表示します。
「縮小」: 改行せずに枠の横幅に収まるように文字サイズを小さくします。
「改行」: 枠の横幅に収まらないときに改行します。複数の図面が配置してある場合の「図面名称」では、カンマの位置で改行します。

図枠項目の連動元

この図枠で使用されている施主氏名、工事場所、物件名は、「物件」の「物件情報」から連動します。会社名は、マネージャーの「初期設定（自社情報）」から連動します。



現況図と計画図を配置する

「図面」の「現況図面配置」をクリックして「平面図 1階」、「計画図面配置」をクリックして「平面図 1階」を配置します。

⇒ 図面の配置については、「リフォームプラン作成編」P.27 参照



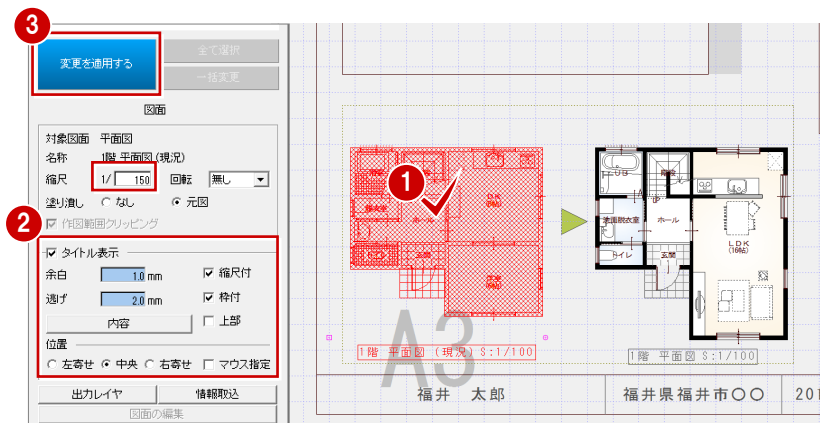
図面を配置した図枠を登録すると

図面を配置した図枠を登録しておくことで、次回、図枠の配置と同時に図面も配置されます。

配置した図面の縮尺、タイトル表示の有無などを変更するには

配置された図面を選択して、縮尺などのプロパティを変更します。

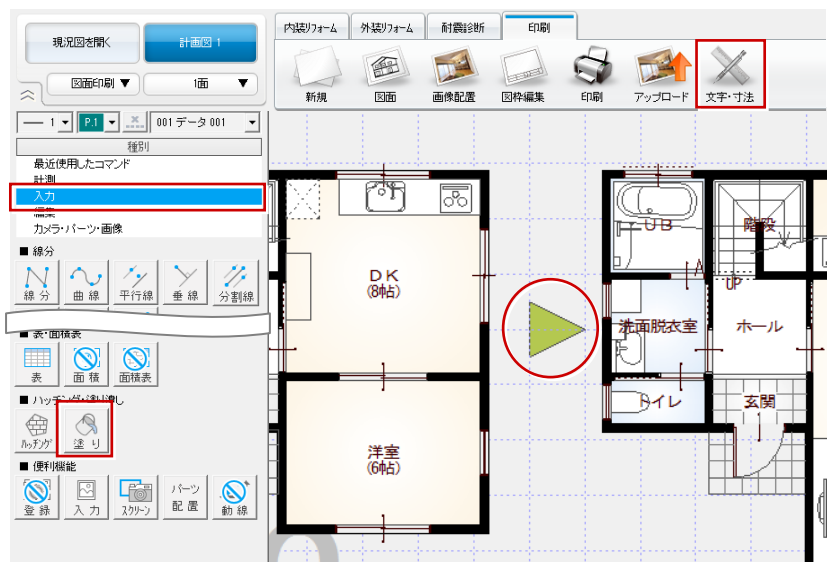
⇒ プロパティについては、「リフォームプラン作成編」P.33 参照



マークを配置する

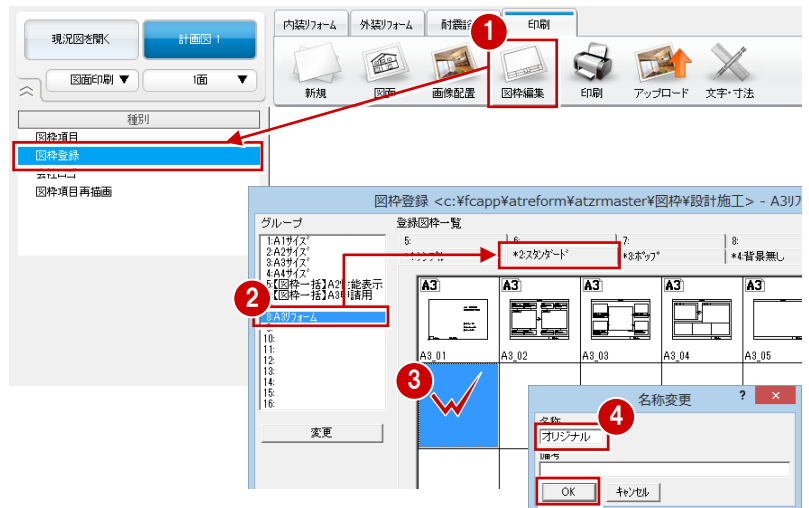
「文字・寸法」をクリックして、「入力」の「塗り」を選び、三角形の塗り潰しを入力します。

⇒ 塗り潰しの配置については、「リフォームプラン作成編」P.29 参照



図枠を登録する

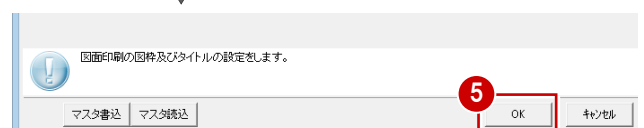
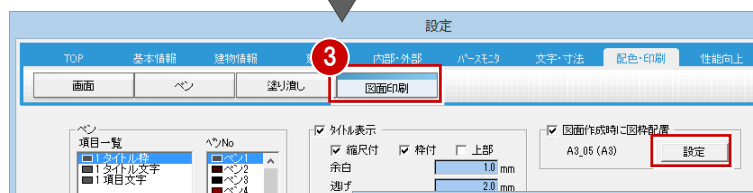
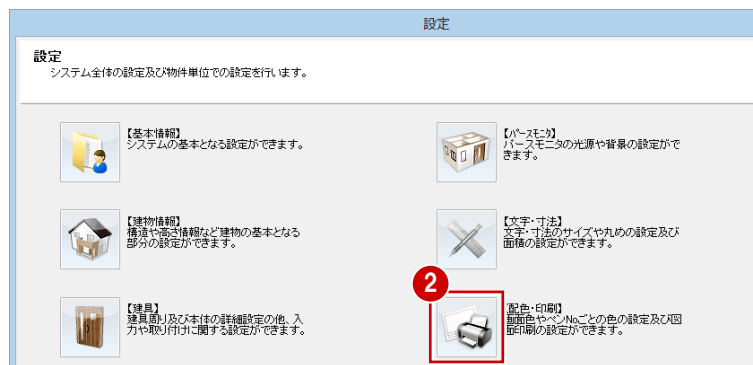
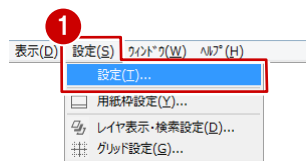
- 1 「図枠編集」をクリックして、「図枠登録」を選びます。
- 2 登録するグループ、タブを指定します。
- 3 空いている箇所をダブルクリックします。
- 4 「名称」を入力して、「OK」をクリックします。



図枠の初期値を変更する

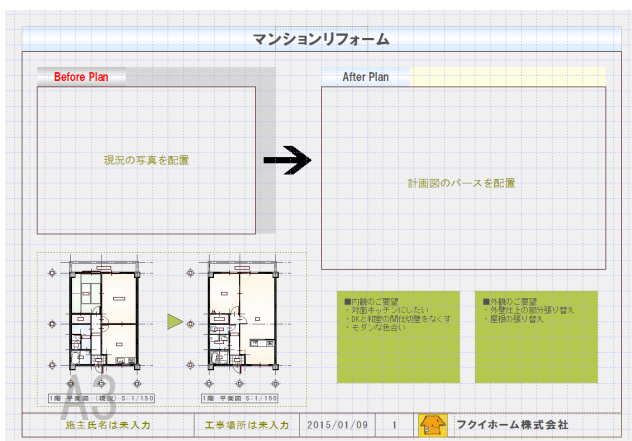
登録した図枠が図面の新規作成時に配置されるように設定を変更します。

- 1 プルダウンメニューから「設定」の「設定」を選びます。
- 2 「設定」ダイアログの【配色・印刷】を選びます。
- 3 「図面印刷」タブの「設定」をクリックします。
- 4 「図枠選択」ダイアログで登録した図枠をダブルクリックします。
- 5 「設定」ダイアログの「OK」をクリックします。



新規図面に新しい図枠を配置すると

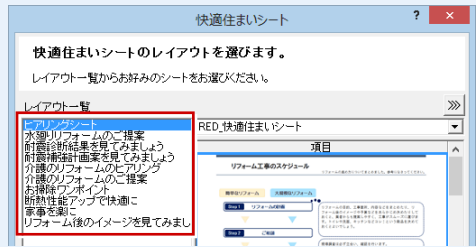
登録した図枠を他の物件で使用してみると、次図のようになります。ただし、平面図は物件によって大きさが異なるため、縮尺や移動などレイアウトの調整が必要になります。



6

快適住まいシートの紹介

リフォームエディションでは、目的に応じた快適住まいシートが用意されています。ここでは、快適住まいシート（目次は除く）を紹介します。

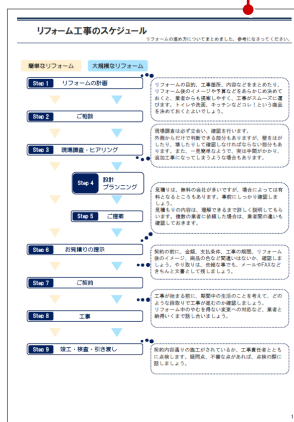


ヒアリングシート

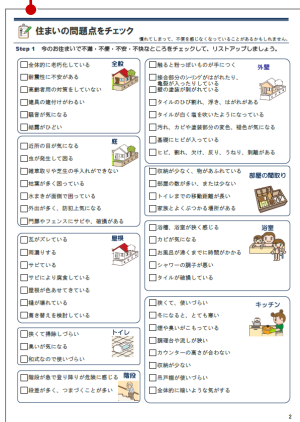


【表紙】

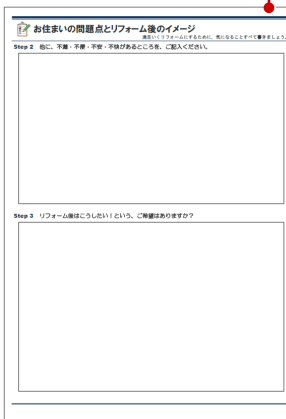
プレゼン Box「外観パースー外観パース表紙」の画像が連動します。



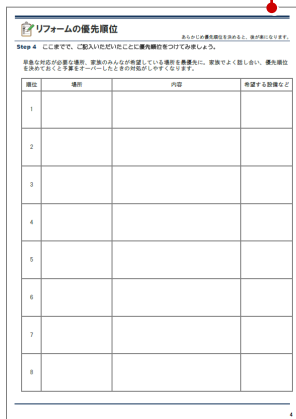
【リフォーム工事のスケジュール】



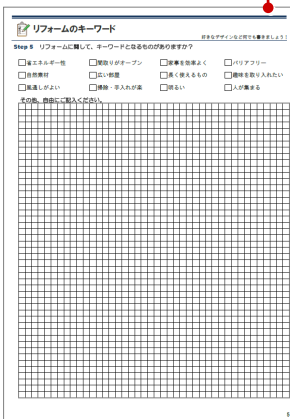
【住まいの問題点をチェック】



【お住まいの問題点とリフォーム後のイメージ】



【リフォームの優先順位】



【リフォームのキーワード】



【持ち物リスト表】

水廻りリフォームのご提案

⇒「水廻りのリフォーム編」P.39 参照

耐震診断結果を見てみましょう

⇒「リフォームエディション耐震診断」P.31 参照

耐震補強計画案を見てみましょう

⇒「リフォームエディション耐震診断」P.43 参照

介護のリフォームのヒアリング



【表紙】

プレゼン Box「外観パース - 外観パース表紙」の画像が連動します。



(連動するデータ・画像なし)

リフォームしたのに、使えない…にならないために

リフォームする目的がはっきりと定まらなければ、リフォームした後に後悔することになります。リフォームする前に、必ず目的を明確にし、その目的に合ったリフォームを行います。

Step 1 不要なものを捨てることはありますか？

Step 2 どういう生活スタイルが理想なのか、現在の生活スタイルと比べてどうですか？

Step 3 家族の希望、希望の生活スタイルは実現可能か？

Step 4 どこで寝たいのか、お風呂は？

Step 5 どのように暮らしたいのか、どのような生活スタイルが理想なのか？

Step 6 トイレが遠くて使いにくいのか？

Step 7 階段が使いにくいのか？

Step 8 緊急時の対応は？

【リフォームしたのに、使えない…にならないために】

使えるトイレにするには

「トイレ」は、人が最も多く利用する場所であり、この場所が安全で快適でなければなりません。トイレが遠くても、使いやすいようにリフォームを行うことで、生活の質を向上させることができます。

家屋内の事故を減らすために

家屋内の事故は、高齢者の生活の大きな障害となります。事故を減らすためには、家屋内の環境を整えることが重要です。

コンクリート・タイル・フローリングの補修

カーペット・フローリングの補修

照明の補修

階段の補修

【使えるトイレにするには / 家屋内の事故を減らすために】

住宅内の温度をバリアフリーに

高齢者の健康と快適な生活のために、住宅内の温度を適切に保つることが重要です。冷暖房設備の導入や、断熱材の施工など、様々な対策があります。

住宅内の色をバリアフリーに

高齢者の視力や認知能力を考慮し、住宅内の色を適切に選ぶことが重要です。視覚的な誘導や、安全な配色など、様々な対策があります。

【住宅内の温度をバリアフリーに / 住宅内の色をバリアフリーに】

介護のリフォームのご提案

⇒ P.12 参照

お掃除ワンポイント



【表紙】

プレゼン Box「外観パース - 外観パース表紙」の画像が連動します。



(連動するデータ・画像なし)

お掃除ワンポイント

毎日の掃除は、快適な生活を送るための大切なポイントです。正しい掃除方法を知り、実践することで、清潔な環境を維持することができます。

かんたんお掃除チェック

キッチン

トイレ

浴室

リビング

玄関

【お掃除ワンポイント / かんたんお掃除チェック】

掃除術 床と壁

床と壁の掃除は、室内の清潔さを保つための重要なポイントです。適切な掃除機や掃除剤を使用することで、効果的に汚れを落とすことができます。

掃除術 洗剤

洗剤の正しい使い方は、掃除の効果を最大化するために重要です。洗剤の種類や濃度、使用方法について詳しく説明されています。

【掃除術 床と壁 / 掃除術 洗剤】

断熱性能アップで快適に



【表紙】

プレゼン Box「外観パース - 外観パース表紙」の画像が連動します。



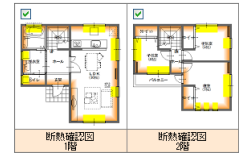
外観パース表紙



(連動するデータ・画像なし)

【断熱について / 建物全体の断熱 1階・2階】

プレゼン Box「省エネ-断熱確認図」の画像が連動します。



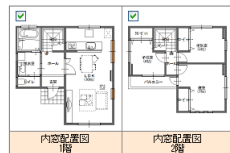
断熱確認図 1階

断熱確認図 2階



【内窓 1階・2階】

プレゼン Box「省エネ-内窓配置図」の画像が連動します。



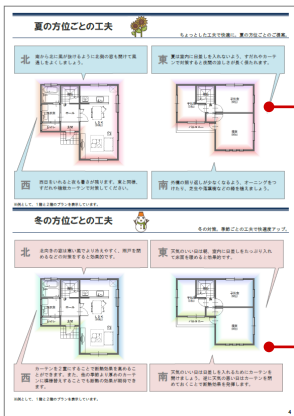
内窓配置図 1階

内窓配置図 2階



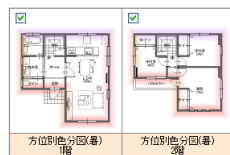
(連動するデータ・画像なし)

【夏の日差し対策(屋外) / 夏の日差し対策(室内)】



【夏の方位ごとの工夫 / 冬の方位ごとの工夫】

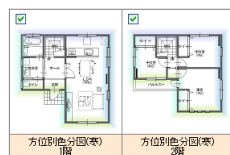
プレゼン Box「方位-方位別色分図(暑)」の画像が連動します。



方位別色分図(暑) 1階

方位別色分図(暑) 2階

プレゼン Box「方位-方位別色分図(寒)」の画像が連動します。



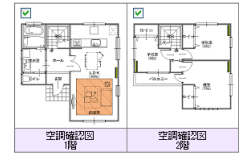
方位別色分図(寒) 1階

方位別色分図(寒) 2階



【空調機の場合 1階・2階】

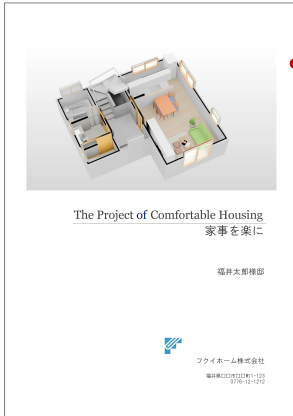
プレゼン Box「設備-空調確認図」の画像が連動します。



空調確認図 1階

空調確認図 2階

家事を楽に



【表紙】

プレゼン Box「外観パース-外観パース表紙」の画像が連動します。



【収納診断/収納フンポイント】

平面図の収納エリア、収納率が連動します。

(連動するデータ・画像なし)



【おすすめ収納/収納部屋リスト】

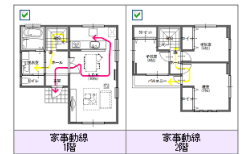
(連動するデータ・画像なし)

平面図に入力されている物入、クローゼットなど収納の部屋が連動します。

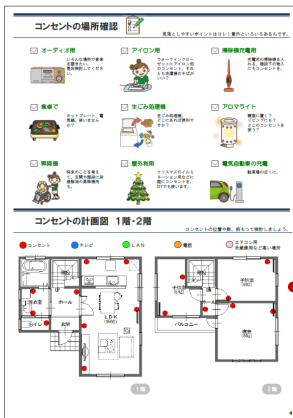


【動線の検討 1階・2階/動線の検討 3階・地下階】

プレゼン Box「家事-家事動線」の画像が連動します。



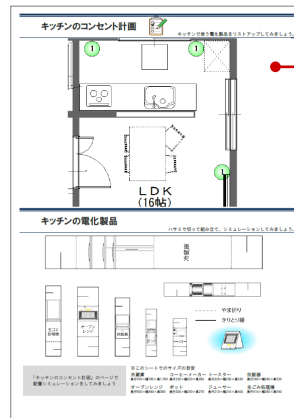
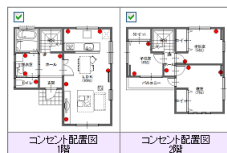
3階、地下階があれば、プレゼン Box「家事-家事動線」の画像が連動します。



【コンセントの場所確認/コンセントの計画図 1階・2階】

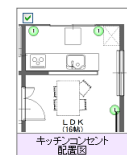
(連動するデータ・画像なし)

プレゼン Box「設備-コンセント配置図」の画像が連動します。



【キッチンのコンセント計画/キッチンの電化製品】

プレゼン Box「設備-キッチンコンセント配置図」の画像が連動します。



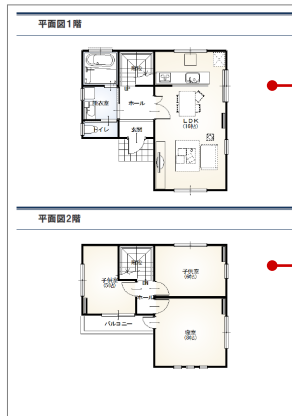
(連動するデータ・画像なし)

リフォーム後のイメージを見てみましょう



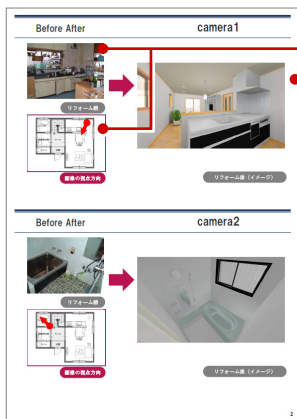
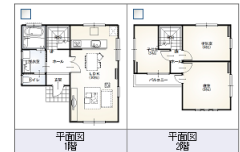
【表紙】

プレゼン Box「外観パース - 外観パース表紙」の画像が運動します。



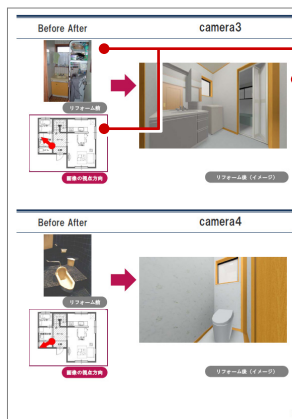
【平面図1階/平面図2階】

プレゼン Box「一般図面 - 平面図」の画像が運動します。



【Before After】

プレゼン Box「カメラ」で「快適住まいシートへ出力」が ON の画像が運動します。



【Before After】

プレゼン Box「カメラ」で「快適住まいシートへ出力」が ON の画像が運動します。



【補足】点検シートについて

すべての快適住まいシートには、「点検シート」も一緒に出力されます。なお、点検シートに連動するデータ、画像はありません。
点検スケジュールの確認、点検項目のチェックリストとしてお使いください。



【住まいの点検スケジュール 1】

【住まいの点検スケジュール 2】

【住まいの点検スケジュール 3】



【住まいの点検項目 随時】

【住まいの点検項目一覧 1~2年目①】

【住まいの点検項目一覧 1~2年目②】

【住まいの点検項目一覧 2~3年目】

【住まいの点検項目一覧 3年目以降】

－ スケジュールの年を変更するには －
右図のように「点検シート」にある和暦を変更すると、自動的に西暦が変更され、スケジュールに反映されます。



「住まいの点検項目一覧 1~2年目①」～「住まいの点検項目一覧 3年目以降」のタイトルにも反映されます。



住まいの点検スケジュール1

昭和 60年 1985年 を基準に計算しています。

点検部位	1985	1990	1995	2000	2005	2010	(年)
基礎							
布基礎		1990年	1991年				5~6年ごと
モルタル壁		1987年	1988年				2~3年ごと
タイル貼り壁							2000~2005年 15~20年後

基準となる年をご記入の上、お使い下さい。
※ 和暦の表示は削除していただいて構いませんが、西暦の記入欄は削除されませんよう、ご注意下さい。
※ この吹き出しと、年の赤枠は、印刷されません。不要な場合は、削除していただいて構いません。

住まいの点検スケジュール1

平成 23年 2011年 を基準に計算しています。

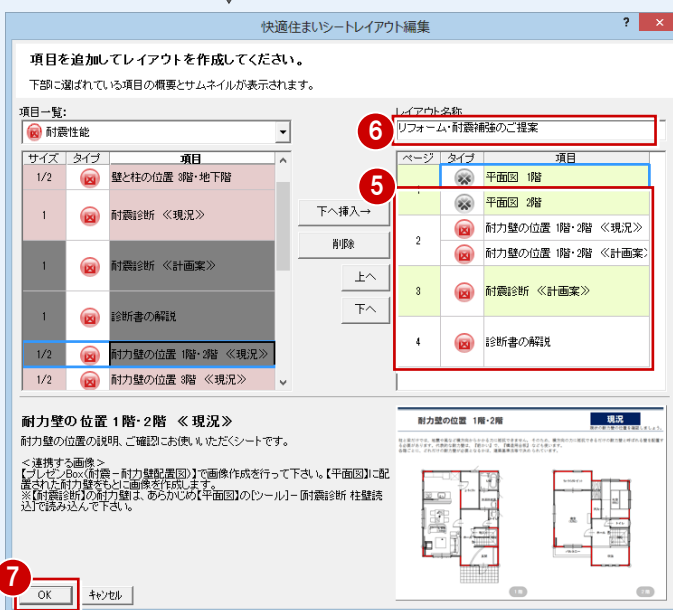
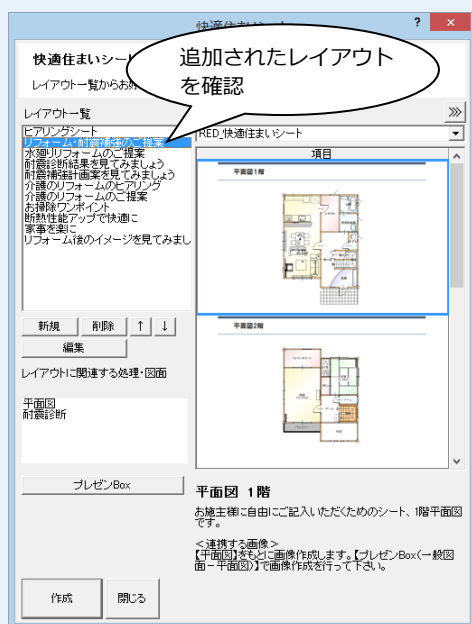
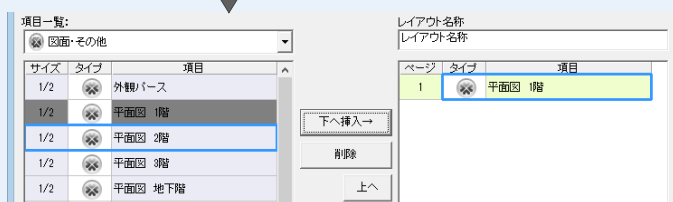
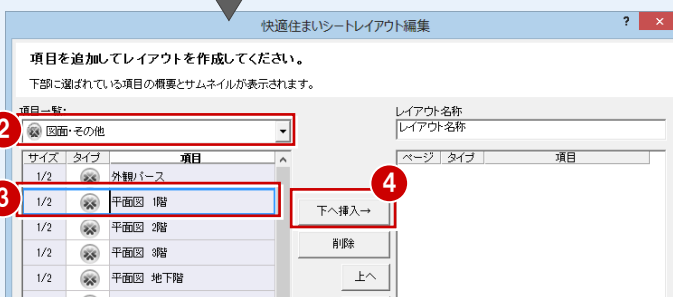
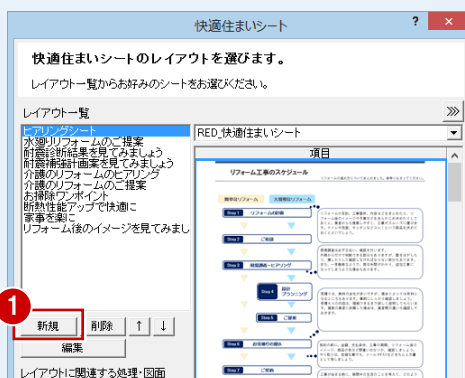
点検部位	2011	2016	2021	2026	2031	2036	(年)
基礎							
布基礎		2016年	2017年				5~6年ごと
モルタル壁		2013年	2014年				2~3年ごと
タイル貼り壁							2026~2031年 15~20年後

基準となる年をご記入の上、お使い下さい。
※ 和暦の表示は削除していただいて構いませんが、西暦の記入欄は削除されませんよう、ご注意下さい。
※ この吹き出しと、年の赤枠は、印刷されません。不要な場合は、削除していただいて構いません。

【補足】快適住まいシートのレイアウトを作成するには

快適住まいシートは、提案したい内容に合わせて項目を組み合わせることで、レイアウトを作成することができます。ここでは、新しいレイアウトを作成する方法を紹介します。

- 1 「快適住まいシート」ダイアログの「新規」をクリックします。
- 2 「項目一覧」で追加する項目タイプ（ここでは「図面・その他」）を選びます。
- 3 挿入する項目を選びます。
- 4 「下へ挿入→」をクリックします。
- 5 同様にして、項目を挿入します。ここでは、1 ページには「平面図 2 階」、2~4 ページには「耐震性能」の項目を追加しています。
- 6 「レイアウト名称」に名称を入力します。
- 7 「OK」をクリックします。



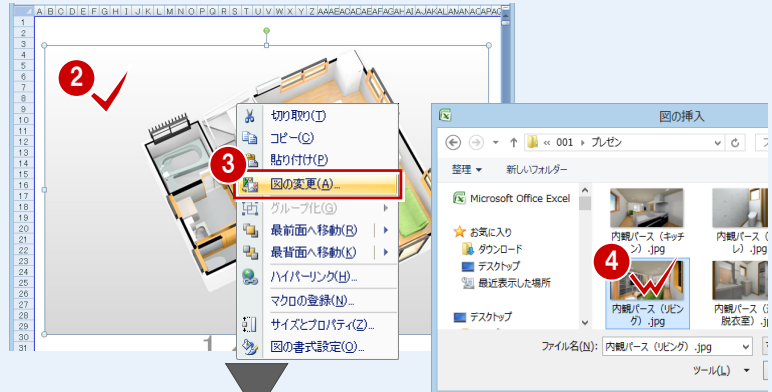
【補足】 出力された Excel データを編集するには

Excel データに出力した後に、画像を入れ替える操作、タイトルやメモ欄の文字列を編集する操作を解説します。

－ 画像を入れ替える －

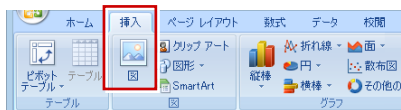
ここでは、表紙の画像を入れ替えてみましょう。

- 1 「表紙」のシートをクリックします。
- 2 入れ替える画像をクリックします。
- 3 右クリックして、「図の変更」を選びます。
- 4 入れ替える画像をダブルクリックして選択します。



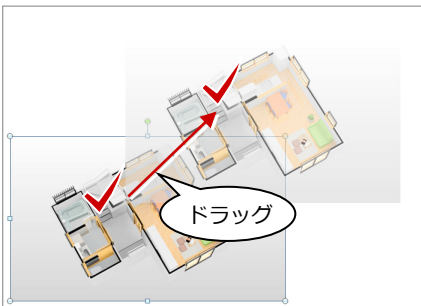
画像を追加するには

「挿入」タブをクリックして「図」を選び、挿入する画像を選びます。



画像を移動するには

画像を選択して、移動先までドラッグします。



画像のサイズ変更について

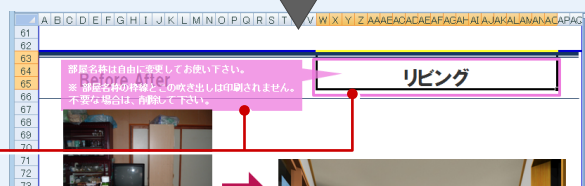
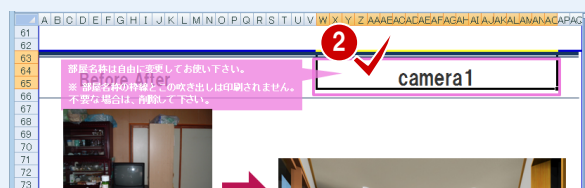
トラッカー（○）をドラッグする際、サイズを縦横比固定で変更したい場合は、右クリックして「サイズとプロパティ」を選び、「縦横比を固定する」をONにします。

※ 画像のサイズは、右クリックして「サイズとプロパティ」で設定することもできます。

－ 文字列を入力する －

ここでは、タイトルの文字列を変更してみましょう。

- 1 「印刷」のシートをクリックします。
- 2 文字列を追加・変更するセルをクリックして、文字列を入力します。



ピンク色の枠、吹き出しは印刷されません。不要の場合は削除してもかまいません。

【補足】表紙の物件名、タイトルの連動元について

表紙には、シートのタイトル、物件名、会社情報が表示されます。これらには、レイアウト名称や物件名、マネージャーで設定している自社情報が連動します。



タイトル

タイトルには、レイアウト名称が連動します (右図)。

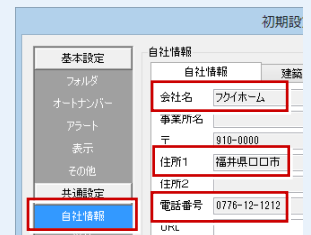
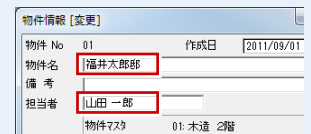
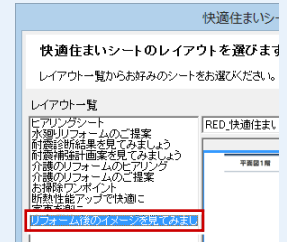
物件名

物件名、担当者には、プルダウンメニューの「物件」の「物件情報」が連動します (右図)。

会社情報

会社情報には、マネージャーの「初期設定 (自社情報)」が連動します (右図)。

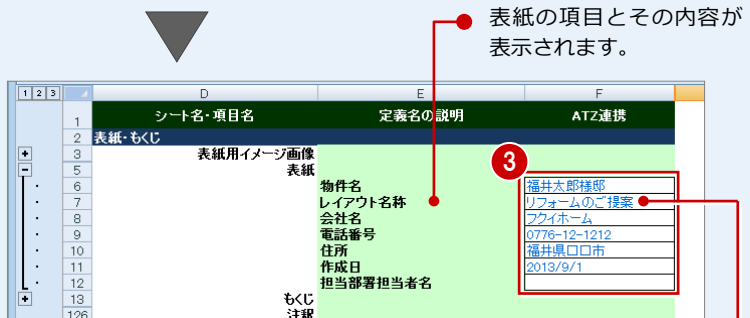
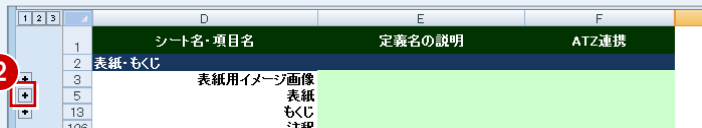
担当者



- 表紙のタイトルなどを変更する -

Excel データの出力後に、これらを変更するには次のように操作します。

- ① 「データ」のシートをクリックします。
- ② 「シート名・項目名」の「表紙」の左側にある「+」をクリックします。
- ③ 変更するセルをクリックして、文字列を入力します。
ここでは、「レイアウト名称」を変更します。
- ④ 「表紙」のシートをクリックして、内容を確認します。



※ 作成日は表示されません。

